

福祉用具に関する新型コロナウイルス感染症への
対応に関するアンケート調査報告書

令和3年7月

公益財団法人東京都福祉保健財団

目次

I 調査の目的と方法

1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
(1)調査対象及び調査項目	3
(2)調査機関	3
(3)調査票の配布方法	3
(4)回答の回収方法	3
(5)調査期間	4
(6)配布・回収結果	4
(7)回収方法ごとの回収結果	4

II 調査結果

【1】福祉用具の利用状況について

Q1 福祉用具の全般的な利用の変化	5
Q2 特定の福祉用具の利用の変化	8
Q3 問合せや質問の頻度の変化	14
Q4 居宅訪問回数の変化	19
Q5 居宅利用者へのモニタリング方法の変化	24

【2】福祉用具の取り扱いについて

Q6 福祉用具の取り扱いにおける感染症予防対策について	28
-----------------------------	----

【3】体制や環境整備について

Q7 福祉用具の感染症予防のための体制や環境整備について	35
------------------------------	----

【4】福祉用具の感染予防についての課題(Q8)

【5】これからの福祉用具の活用やあり方について(Q9)

【6】財団からの情報提供について(Q10)

III 巻末資料

1.調査票	54
2.Q8、Q9、Q10の自由記述一覧	57-110

I 調査の目的と方法

1. 調査の目的

東京都福祉保健財団では、区市町村職員や福祉用具サービス事業者を対象に、福祉用具に係る情報提供、講習会、体験講習会等を行っている。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、福祉用具の利用や取扱いについても多大な影響が生じていることが想定されるため、その内容や対応の実情を調査し、結果を当財団の今後の with コロナ時代における福祉用具の情報提供のあり方の検討資料とする。

2. 調査の方法

(1) 調査対象及び調査項目

〈調査対象〉

- ①区市町村
- ②地域包括支援センター(在宅介護支援センター含む)
- ③福祉用具貸与事業所
- ④指定介護老人福祉施設(特養)または介護老人保健施設

〈調査項目〉

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、

- ①福祉用具の利用状況
- ②福祉用具の取り扱い
- ③体制や環境整備
- ④福祉用具の感染予防についての課題
- ⑤これからの福祉用具の活用やあり方についての意見
- ⑥財団からの情報提供についての意見

(2) 調査委託機関

株式会社エイデル研究所

(3) 調査票の配布方法

依頼書及びアンケート調査用紙を同封し、当財団より郵送配布した。

(4) 回答の回収方法

- ①インターネットによる回答
- ②FAX による回答とし、インターネットによる回答は、当財団のウェブサイト「福ナビ とうきょう福祉ナビゲーション」からのアクセス、もしくは、調査票に同封した依頼書に記載した URL に直接アクセスする形で回収した。

FAX については、株式会社エイデル研究所を送信先とし、回収した。

(5) 調査期間

調査期間は、調査票の発送翌日の令和3年3月6日(土)から令和3年3月17日(水)までとした。

(6) 配布・回収結果

3月17日(水)の回収最終時点における回収数は以下の通りとなった。

◆配布・回収結果

種別	配布数	配布総数に占める種別の割合	回収数	回収率	回収総数に占める種別の割合
①区市町村	93	4.6%	40	43.0%	6.5%
②地域包括支援センター(在宅介護支援センター含む)	522	25.6%	132	25.3%	21.5%
③福祉用具貸与事業所	662	32.4%	225	34.0%	36.6%
④指定介護老人福祉施設(特養)または介護老人保健施設	766	37.5%	202	26.4%	32.9%
(種別回答無し)	-	-	15	-	2.4%
計	2043	-	614	30.1%	-

(7) 回収方法ごとの回収結果

回収した614の回答について、インターネット(Web)、FAXそれぞれの回収方法の内訳は以下の通りとなった。

◆回収方法ごとの回収結果

種別	回収数	Web	FAX	Web回答率
①区市町村	40	20	20	50.0%
②地域包括支援センター(在宅介護支援センター含む)	132	76	56	57.6%
③福祉用具貸与事業所	225	154	71	68.4%
④指定介護老人福祉施設(特養)または介護老人保健施設	202	156	46	77.2%
(種別回答無し)	15	12	3	80.0%
計	614	418	196	68.1%

次頁以降の調査結果(単純集計)における「表」と「グラフ」のルール

- ・単純回答のものは円グラフ、複数回答のものは棒グラフで表示
- ・回答結果の並びは、回答数の多い順ではなく、設問での表示順
- ・便宜上、種別名について、地域包括支援センター(在宅介護支援センター含む)は「地域包括」、福祉用具貸与事業所は「用具貸与」、指定介護老人福祉施設(特養)または介護老人保健施設は「特養・老健」と略す

II 調査結果

【1】福祉用具の利用状況について

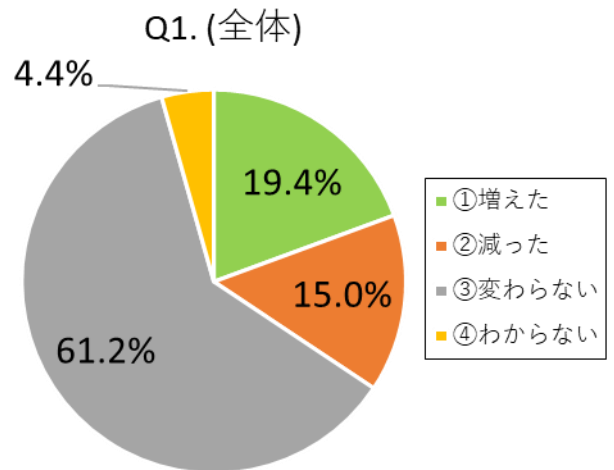
貴団体(部署)のご利用者に関し、令和2年4月から令和3年1月までの福祉用具の利用状況について、前年同時期と比して、以下のような感染症の影響がありましたか。

■Q1 福祉用具の全般的な利用(利用依頼件数、取扱量など)について変化はありましたか

【Q1. 全体】

n=614

選択肢	回答数	率
①増えた	119	19.4%
②減った	92	15.0%
③変わらない	376	61.2%
④わからない	27	4.4%

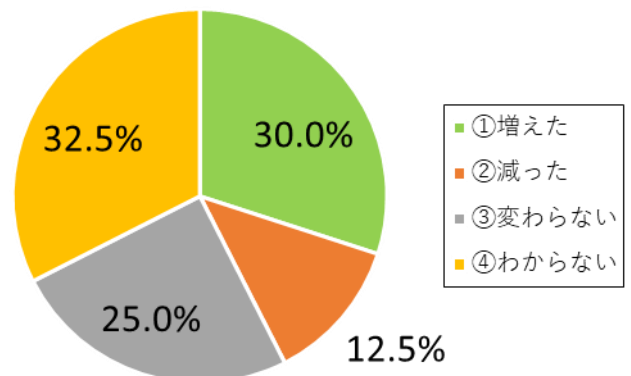


【Q1. 区市町村】

n=40

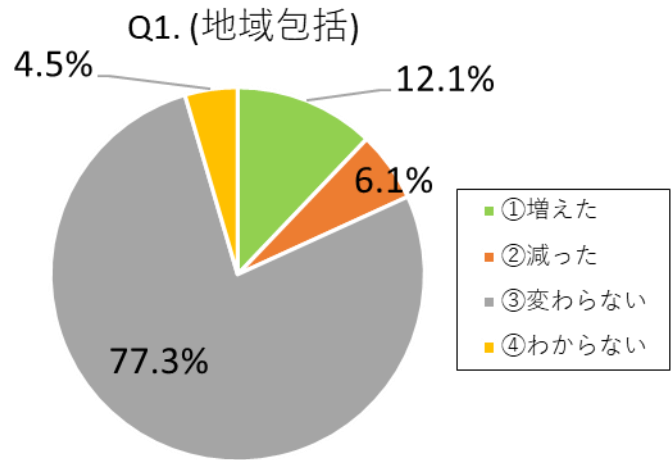
選択肢	回答数	率
①増えた	12	30.0%
②減った	5	12.5%
③変わらない	10	25.0%
④わからない	13	32.5%

Q1. (区市町村)



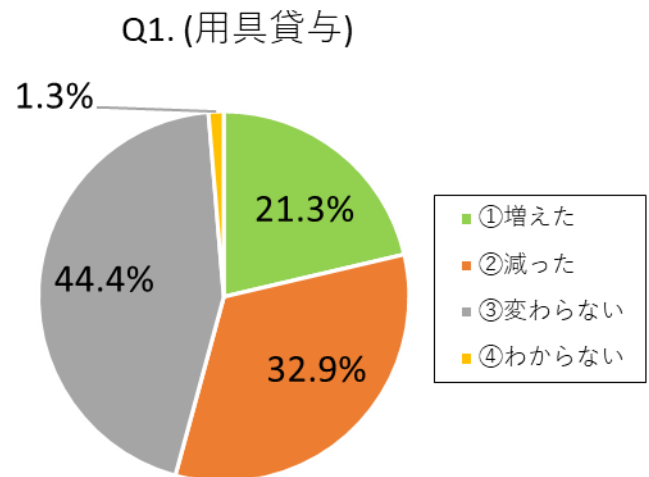
【Q1. 地域包括】 n=132

選択肢	回答数	率
①増えた	16	12.1%
②減った	8	6.1%
③変わらない	102	77.3%
④わからない	6	4.5%



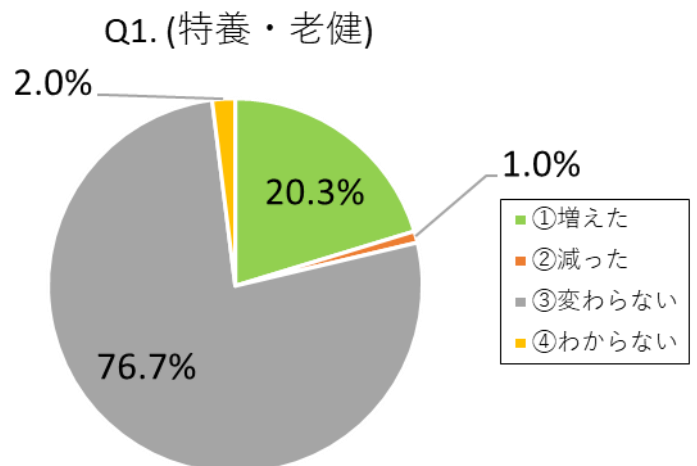
【Q1. 用具貸与】 n=225

選択肢	回答数	率
①増えた	48	21.3%
②減った	74	32.9%
③変わらない	100	44.4%
④わからない	3	1.3%



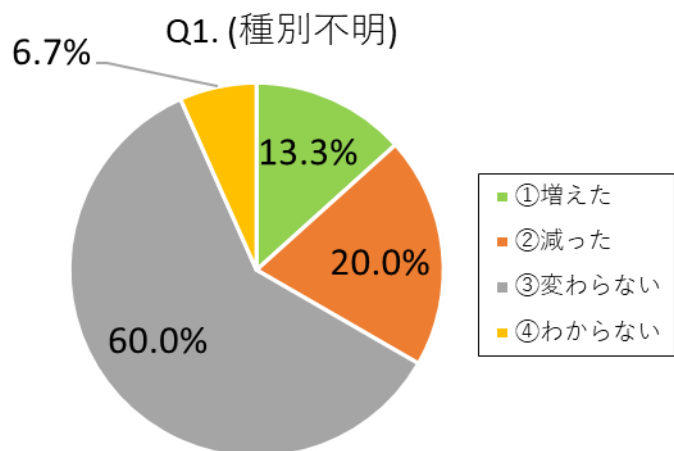
【Q1. 特養・老健】 n=202

選択肢	回答数	率
①増えた	41	20.3%
②減った	2	1.0%
③変わらない	155	76.7%
④わからない	4	2.0%



【Q1. 種別不明】 n=15

選択肢	回答数	率
①増えた	2	13.3%
②減った	3	20.0%
③変わらない	9	60.0%
④わからない	1	6.7%



<Q1 結果の傾向など>

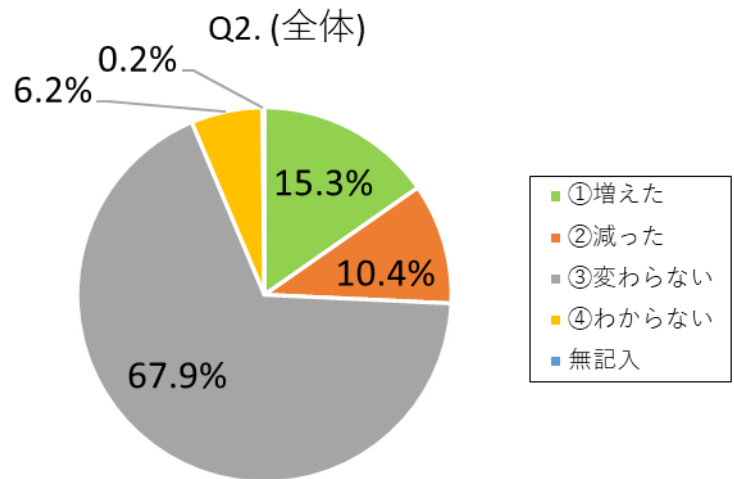
福祉用具の全般的な利用は、全体では、「変わらない」が、およそ 60%で最も多く、およそ 20%で利用が増え、15%で利用が減ったという結果となった。

種別ごとでは、「用具貸与」において、「減った」が「増えた」を上回っており、他の種別と逆の傾向となった。また、「特養・老健」において、「減った」の回答は 1.0%と他の種別と比べ、低い値となった。

■Q2 特定の福祉用具の利用について変化はありましたか

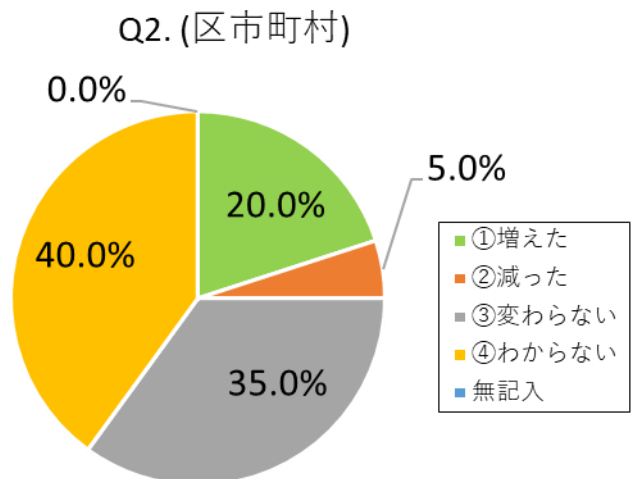
【Q2. 全体】 n=614

選択肢	回答数	率
①増えた	94	15.3%
②減った	64	10.4%
③変わらない	417	67.9%
④わからない	38	6.2%
無記入	1	0.2%



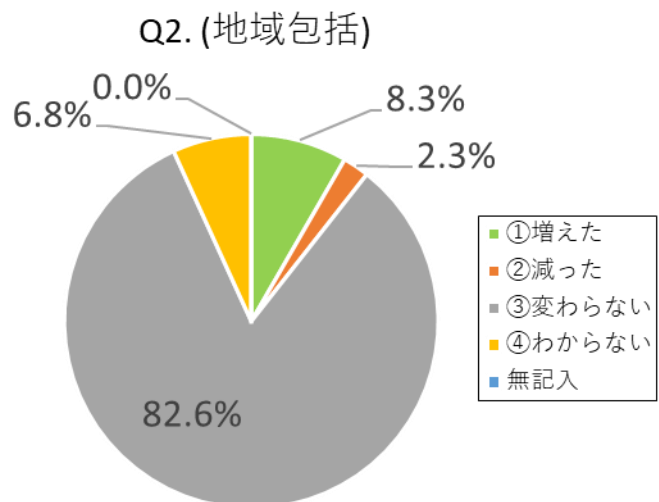
【Q2. 区市町村】 n=40

選択肢	回答数	率
①増えた	8	20.0%
②減った	2	5.0%
③変わらない	14	35.0%
④わからない	16	40.0%
無記入	0	0.0%



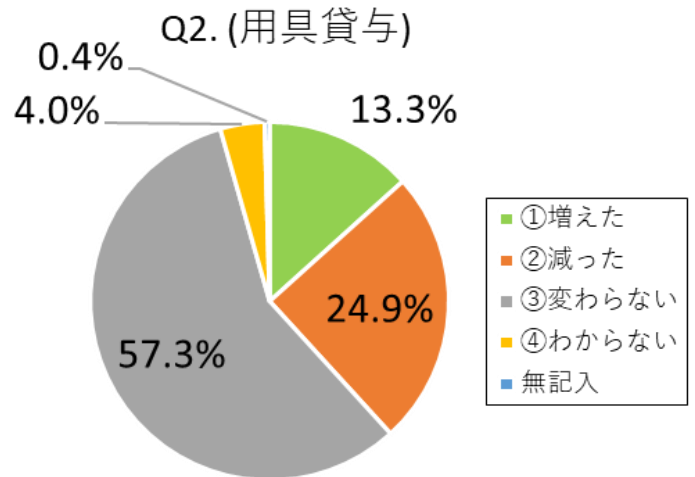
【Q2. 地域包括】 n=132

選択肢	回答数	率
①増えた	11	8.3%
②減った	3	2.3%
③変わらない	109	82.6%
④わからない	9	6.8%
無記入	0	0.0%



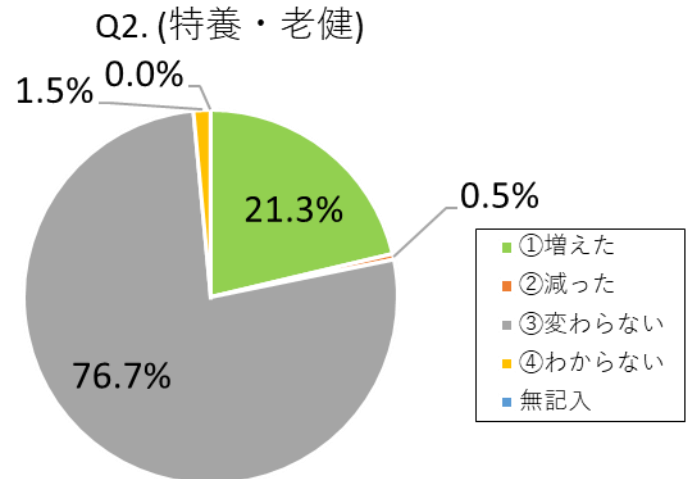
【Q2. 用具貸与】 n=225

選択肢	回答数	率
①増えた	30	13.3%
②減った	56	24.9%
③変わらない	129	57.3%
④わからない	9	4.0%
無記入	1	0.4%



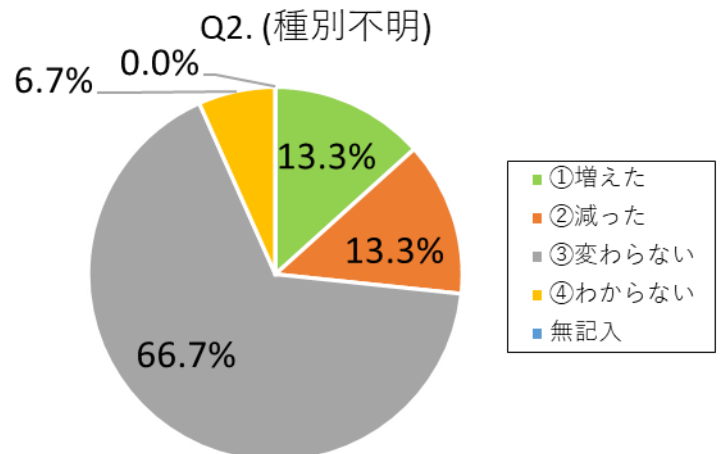
【Q2. 特養・老健】 n=202

選択肢	回答数	率
①増えた	43	21.3%
②減った	1	0.5%
③変わらない	155	76.7%
④わからない	3	1.5%
無記入	0	0.0%



【Q2. 種別不明】 n=15

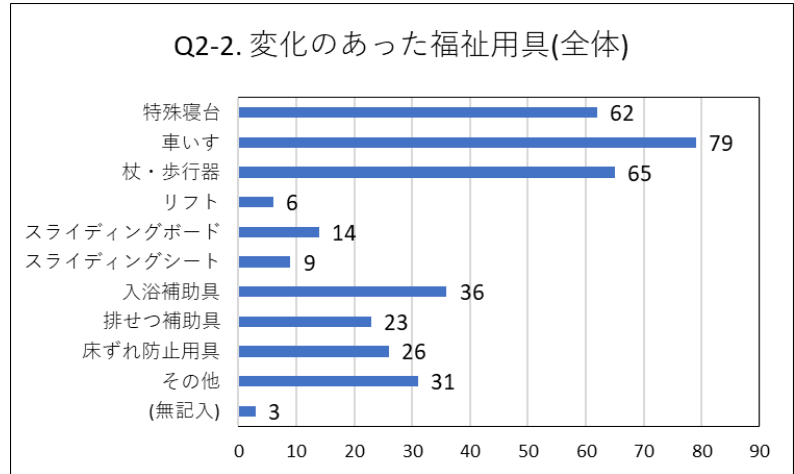
選択肢	回答数	率
①増えた	2	13.3%
②減った	2	13.3%
③変わらない	10	66.7%
④わからない	1	6.7%
無記入	0	0.0%



■Q2-2 Q2で「増えた」または「減った」と回答した方へ⇒変化のあった福祉用具は次のどれですか(複数回答可)

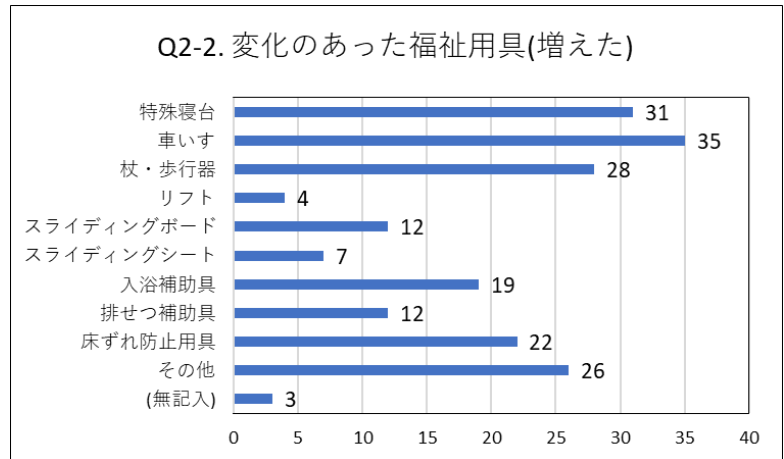
【Q2-2 全体】対象158 複数回答可

選択肢	選択数
①特殊寝台	62
②車いす	79
③杖・歩行器	65
④リフト	6
⑤スライディングボード	14
⑥スライディングシート	9
⑦入浴補助具	36
⑧排せつ補助具	23
⑨床ずれ防止用具	26
⑩その他	31
(無記入)	3



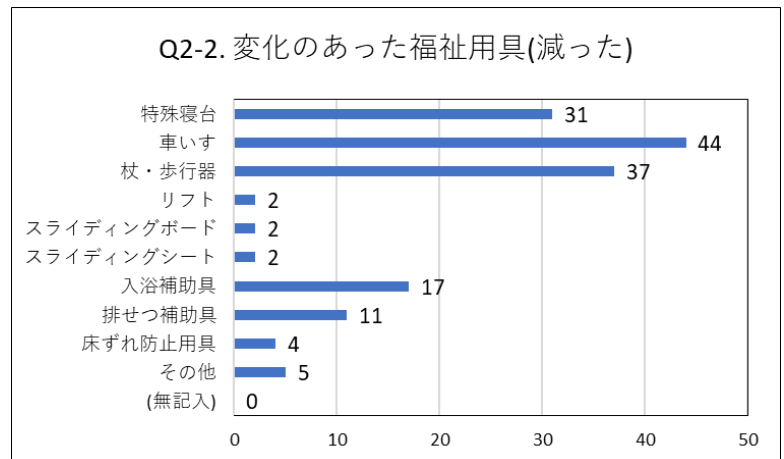
【Q2-2 増えた】対象94 複数回答可

選択肢	選択数
①特殊寝台	31
②車いす	35
③杖・歩行器	28
④リフト	4
⑤スライディングボード	12
⑥スライディングシート	7
⑦入浴補助具	19
⑧排せつ補助具	12
⑨床ずれ防止用具	22
⑩その他	26
(無記入)	3



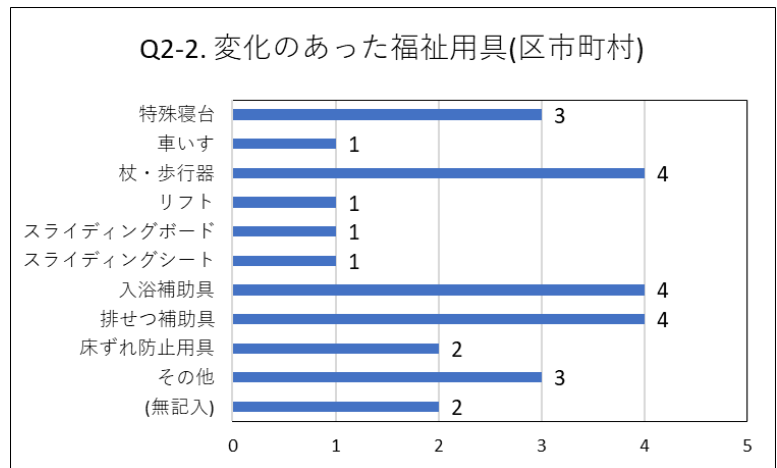
【Q2-2 減った】対象64 複数回答可

選択肢	選択数
①特殊寝台	31
②車いす	44
③杖・歩行器	37
④リフト	2
⑤スライディングボード	2
⑥スライディングシート	2
⑦入浴補助具	17
⑧排せつ補助具	11
⑨床ずれ防止用具	4
⑩その他	5
(無記入)	0



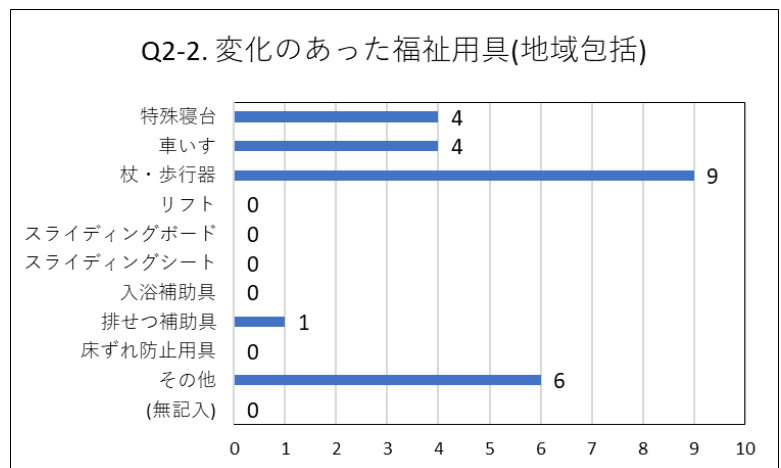
【Q2-2 区市町村】対象10 複数回答可

選択肢	選択数
①特殊寝台	3
②車いす	1
③杖・歩行器	4
④リフト	1
⑤スライディングボード	1
⑥スライディングシート	1
⑦入浴補助具	4
⑧排せつ補助具	4
⑨床ずれ防止用具	2
⑩その他	3
(無記入)	2



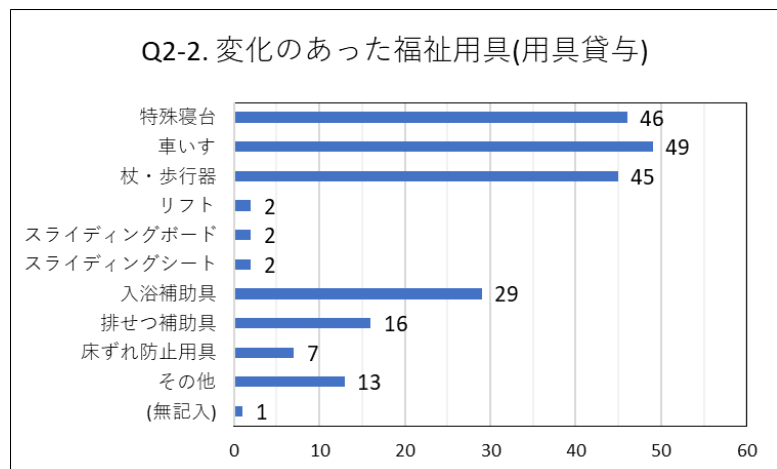
【Q2-2 地域包括】対象14 複数回答可

選択肢	選択数
①特殊寝台	4
②車いす	4
③杖・歩行器	9
④リフト	0
⑤スライディングボード	0
⑥スライディングシート	0
⑦入浴補助具	0
⑧排せつ補助具	1
⑨床ずれ防止用具	0
⑩その他	6
(無記入)	0



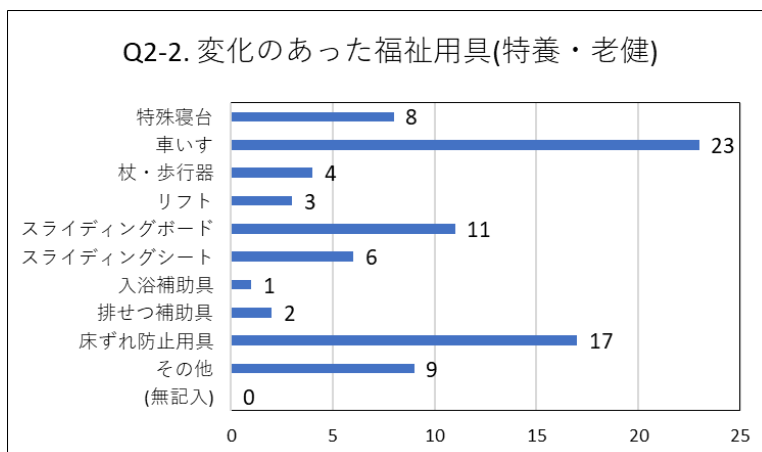
【Q2-2 用具貸与】対象86 複数回答可

選択肢	選択数
①特殊寝台	46
②車いす	49
③杖・歩行器	45
④リフト	2
⑤スライディングボード	2
⑥スライディングシート	2
⑦入浴補助具	29
⑧排せつ補助具	16
⑨床ずれ防止用具	7
⑩その他	13
(無記入)	1



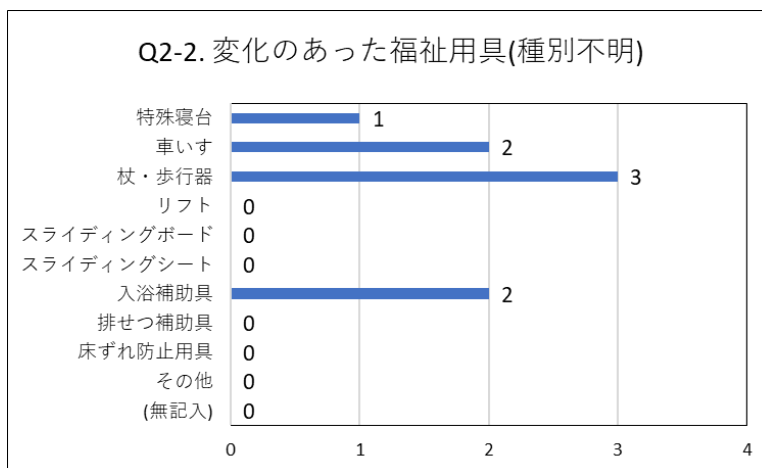
【Q2-2 特養・老健】対象44 複数回答可

選択肢	選択数
①特殊寝台	8
②車いす	23
③杖・歩行器	4
④リフト	3
⑤スライディングボード	11
⑥スライディングシート	6
⑦入浴補助具	1
⑧排せつ補助具	2
⑨床ずれ防止用具	17
⑩その他	9
(無記入)	0



【Q2-2 種別不明】対象4 複数回答可

選択肢	選択数
①特殊寝台	1
②車いす	2
③杖・歩行器	3
④リフト	0
⑤スライディングボード	0
⑥スライディングシート	0
⑦入浴補助具	2
⑧排せつ補助具	0
⑨床ずれ防止用具	0
⑩その他	0
(無記入)	0



【Q2-2 その他 全体】

福祉用具	回答数
手すり類	17
体位変換器	2
センサー類	2
ベッドテーブル	2
自費ベッド	1
多機能電動車椅子	1
スイングバー	1
車イスクッション	1
見守り機器	1
自動寝返りエアマット	1
全体的に	1
購入品の件数が減った	1

【Q2-2 その他 区市町村】

福祉用具	回答数
手すり類	2
体位変換器	2

【Q2-2 その他 地域包括】

福祉用具	回答数
手すり類	5
自費ベッド	1

【Q2-2 その他 用具貸与】

福祉用具	回答数
手すり類	10
多機能電動車椅子	1
全体的に	1
購入品の件数が減った	1

【Q2-2 その他 特養・老健】

福祉用具	回答数
センサー類	2
ベッドテーブル	2
スイングバー	1
車イスクッション	1
見守り機器	1
自動寝返りエアマット	1

【Q2-2 その他 種別不明】

福祉用具	回答数
その他 無し	-

<Q2 結果の傾向など>

特定の福祉用具の利用について、「変わらない」という回答が最も多く、「増えた」が「減った」より5ポイント高い結果となった。Q1の傾向と相似の結果となった。

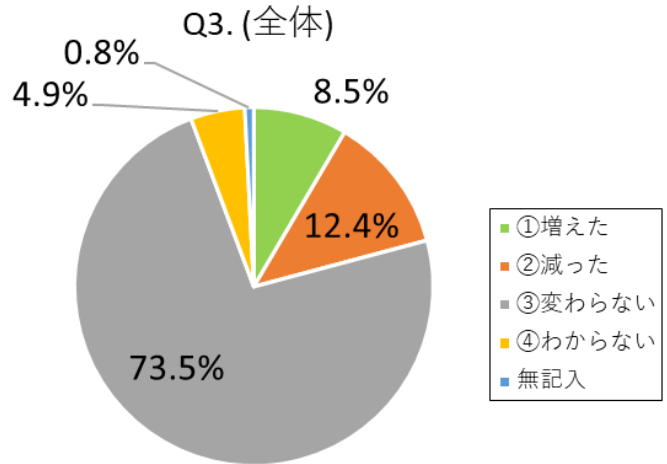
Q2-2)福祉用具ごとの状況について、①特殊寝台、②車いす、③杖、⑦入浴補助具、⑧排せつ補助具については、利用の増・減に偏りはあまりない結果となった。一方、⑤スライディングボード、⑨床ずれ防止用具は、「利用減」より「利用増」の回答者からの選択数が多く、種別としては「特養・老健」からの選択数が他と比べ多かった。

「その他の特定の用具」としては、「手すり類」が17件で最も多かった。種別でみると、「用具貸与」で10件、「地域包括」で5件、「手すり類」が挙げられた。(補足:「手すり類」は17件中14件が増加の回答で挙げられた(減少3件はいずれも「用具貸与」))

■Q3 問合せや質問(在宅利用者、施設入所者どちらでも)の頻度に変化はありましたか

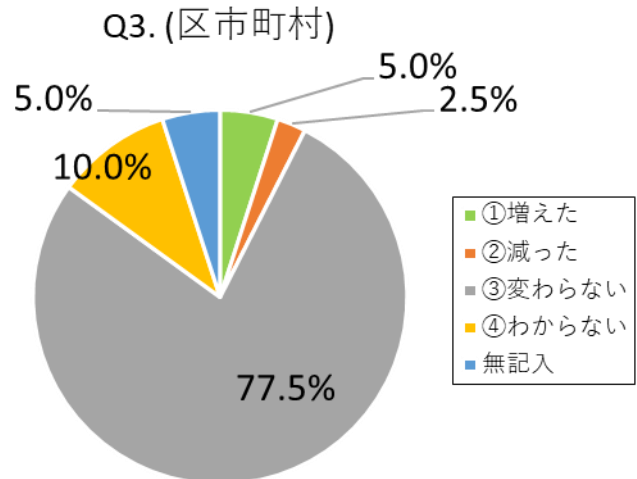
【Q3 全体】 n=614

選択肢	回答数	率
①増えた	52	8.5%
②減った	76	12.4%
③変わらない	451	73.5%
④わからない	30	4.9%
無記入	5	0.8%



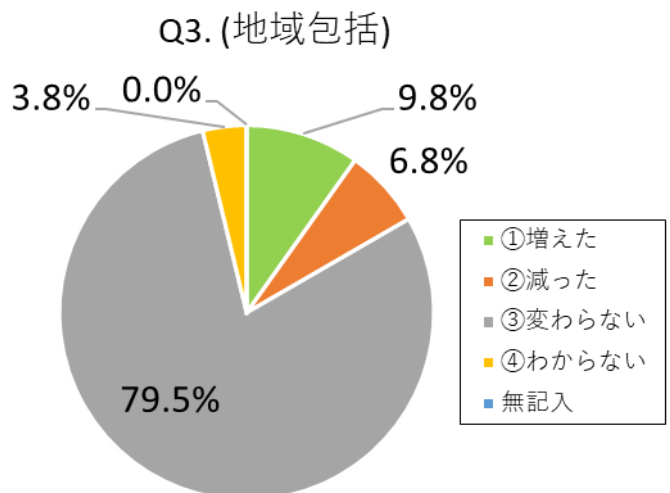
【Q3 区市町村】 n=40

選択肢	回答数	率
①増えた	2	5.0%
②減った	1	2.5%
③変わらない	31	77.5%
④わからない	4	10.0%
無記入	2	5.0%



【Q3 地域包括】 n=132

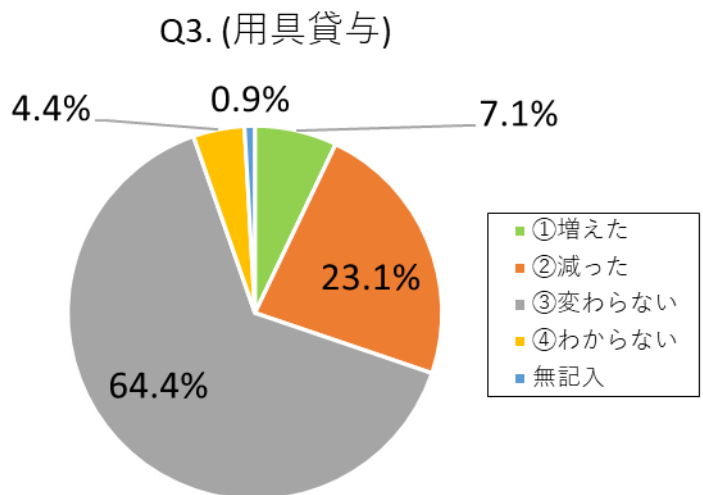
選択肢	回答数	率
①増えた	13	9.8%
②減った	9	6.8%
③変わらない	105	79.5%
④わからない	5	3.8%
無記入	0	0.0%



【Q3 用具貸与】

n=225

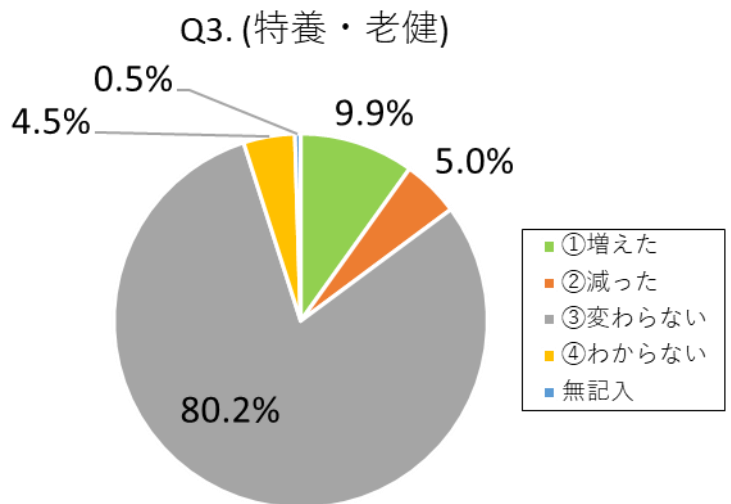
選択肢	回答数	率
①増えた	16	7.1%
②減った	52	23.1%
③変わらない	145	64.4%
④わからない	10	4.4%
無記入	2	0.9%



【Q3 特養・老健】

n=202

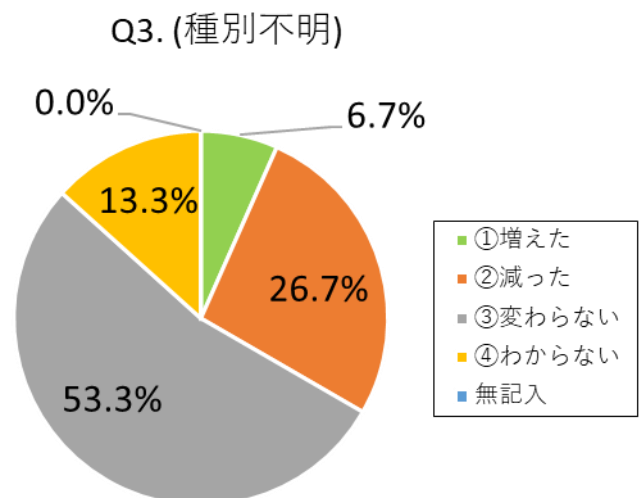
選択肢	回答数	率
①増えた	20	9.9%
②減った	10	5.0%
③変わらない	162	80.2%
④わからない	9	4.5%
無記入	1	0.5%



【Q3 種別不明】

n=15

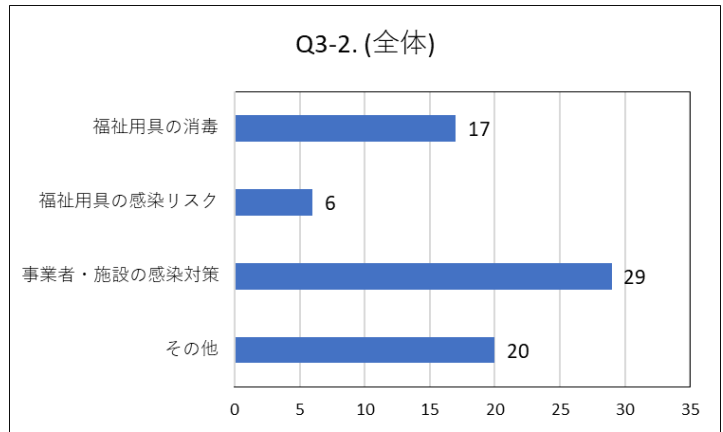
選択肢	回答数	率
①増えた	1	6.7%
②減った	4	26.7%
③変わらない	8	53.3%
④わからない	2	13.3%
無記入	0	0.0%



■Q3-2 Q3で「増えた」と回答した方へ ⇒ どのような内容ですか(複数回答可)

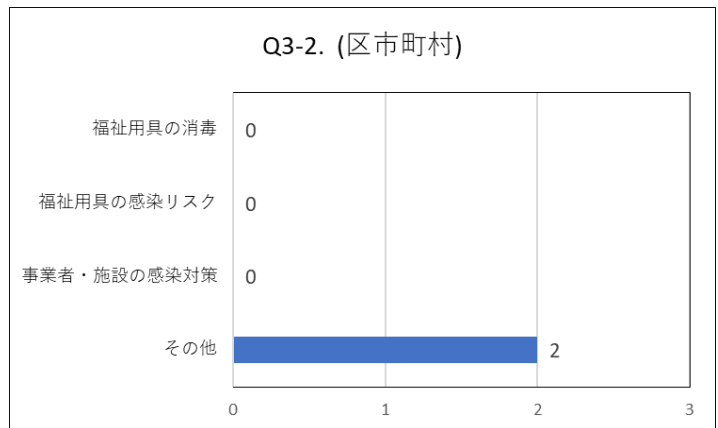
【Q3-2 全体】対象52 複数回答可

選択肢	選択数
①福祉用具の消毒	17
②福祉用具の感染リスク	6
③事業者・施設の感染対策	29
④その他	20
無記入	0



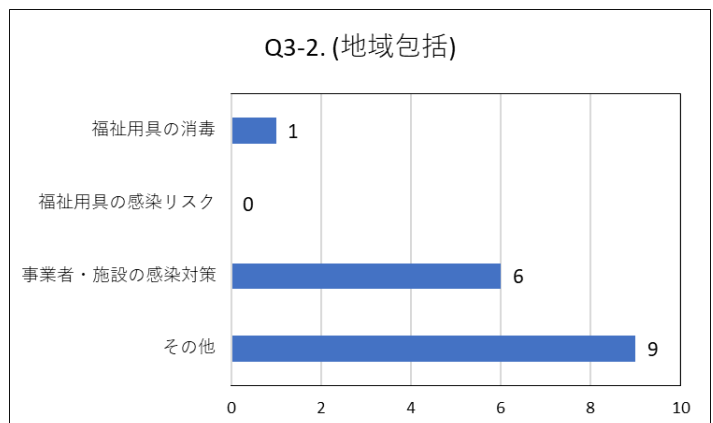
【Q3-2 区市町村】対象2 複数回答可

選択肢	選択数
①福祉用具の消毒	0
②福祉用具の感染リスク	0
③事業者・施設の感染対策	0
④その他	2
無記入	0



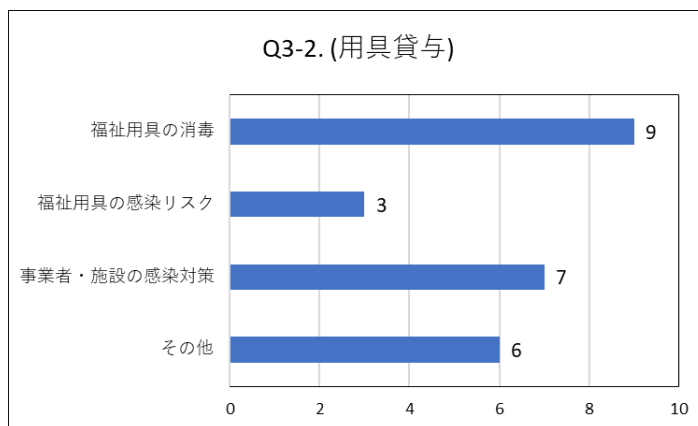
【Q3-2 地域包括】対象13 複数回答可

選択肢	選択数
①福祉用具の消毒	1
②福祉用具の感染リスク	0
③事業者・施設の感染対策	6
④その他	9
無記入	0



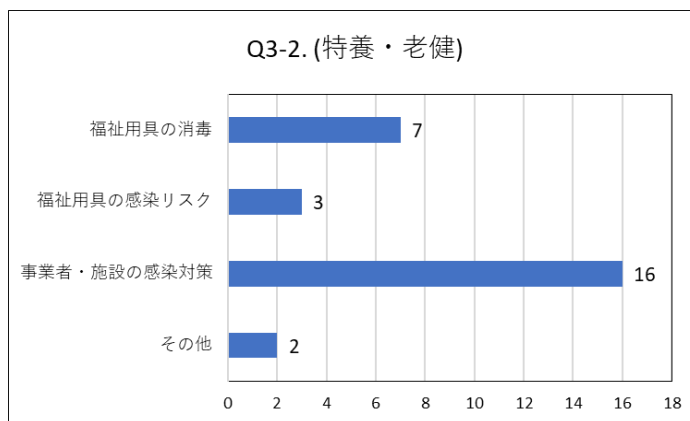
【Q3-2 用具貸与】対象16 複数回答可

選択肢	選択数
①福祉用具の消毒	9
②福祉用具の感染リスク	3
③事業者・施設の感染対策	7
④その他	6
無記入	0



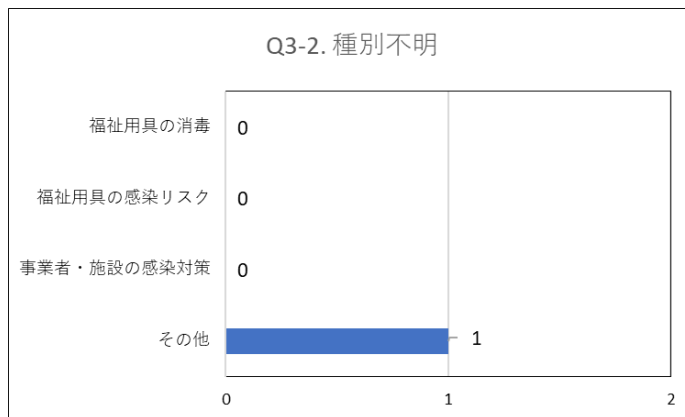
【Q3-2 特養・老健】対象20 複数回答可

選択肢	選択数
①福祉用具の消毒	7
②福祉用具の感染リスク	3
③事業者・施設の感染対策	16
④その他	2
無記入	0



【Q3-2 種別不明】対象1 複数回答可

選択肢	選択数
①福祉用具の消毒	0
②福祉用具の感染リスク	0
③事業者・施設の感染対策	0
④その他	1
無記入	0



【Q3-2 その他 記述】

種別	No	増加した問い合わせの内容
区市町村(2)	1	退院⇒在宅の方の新規利用について
	2	視覚障害者用音声式体温計
地域包括(8)	3	福祉用具の利用方法、どのように手続きしたら良いかなど
	4	新しい福祉用具の導入の相談
	5	福祉用具についての相談
	6	コロナ発生に関する他事業所への情報提供
	7	レンタルについて
	8	住宅環境の整備
	9	介護疲れ、閉じこもり、家族関係関連
	10	車いす、ポータブルトイレの短期貸出希望、歩行器の利用についての問合せ
用具貸与(6)	11	入院によるレンタル品回収の増加
	12	消毒液、体温計の販売取扱いと在庫状況について
	13	デモ依頼
	14	感染していた方が利用していた福祉用具を引き上げる時の対応方法
	15	他社が入っている福祉用具の適正等について、特に退院調整時の相談
	16	選定相談、身体状況の変化
特養・老健(2)	17	面会について
	18	利用者への福祉用具の使用適応について
種別不明(0)	-	(無し)

<Q3 結果の傾向など>

問合せや質問の頻度について、全体では、増減合わせて変化ありの回答は 20%強となっており、「減った」が「増えた」を 4 ポイント程度上回った。

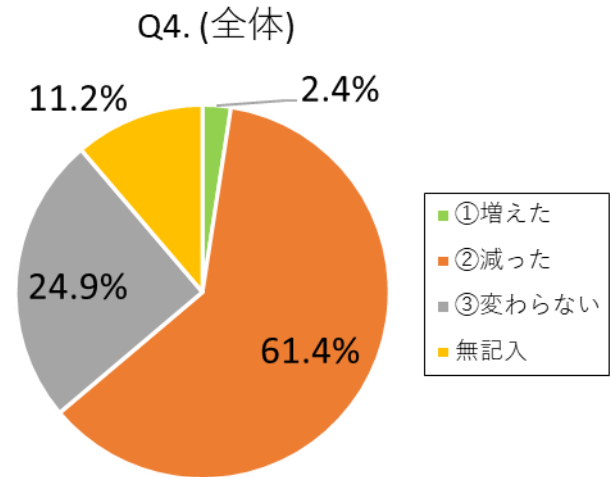
種別ごとでは、「区市町村」は増減合わせて変化ありは 7.5%で最も少なく、「用具貸与」が同 30.2%で最も高い値となった。更に、「用具貸与」は「増えた」に対して「減った」が 16 ポイント高く、増減間のポイント差も最も大きくなった。一方で、「種別不明」を除き、「用具貸与」以外の 3 種別では、「増えた」の方が高い値となった。

Q3-2)問合せが増えた内容について、福祉用具への直接的な問合せとなる①、②は合わせて 23 件の回答となった。回答元は「用具貸与」(12 件)、「特養・老健」(10 件)の 2 職種に集中した。

■Q4 居宅訪問回数に変化はありましたか

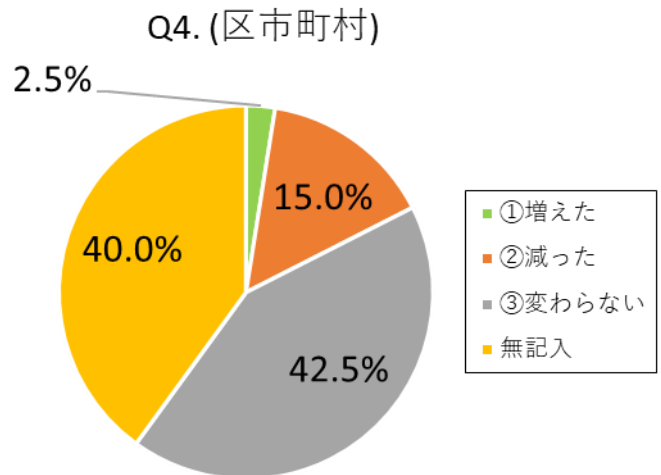
【Q4 全体】 n=614

選択肢	回答数	率
①増えた	15	2.4%
②減った	377	61.4%
③変わらない	153	24.9%
無記入	69	11.2%



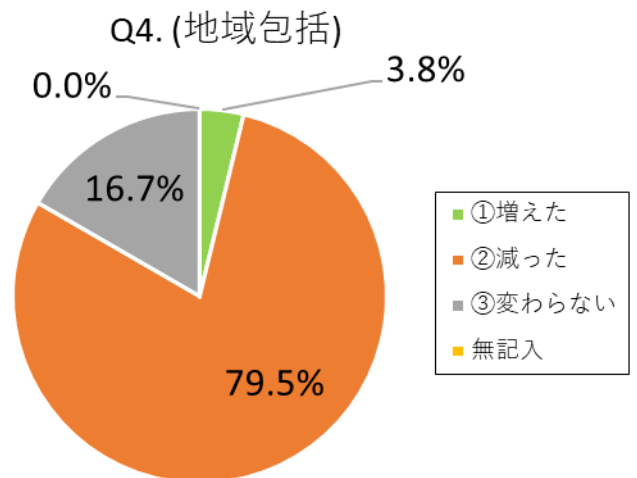
【Q4 区市町村】 n=40

選択肢	回答数	率
①増えた	1	2.5%
②減った	6	15.0%
③変わらない	17	42.5%
無記入	16	40.0%



【Q4 地域包括】 n=132

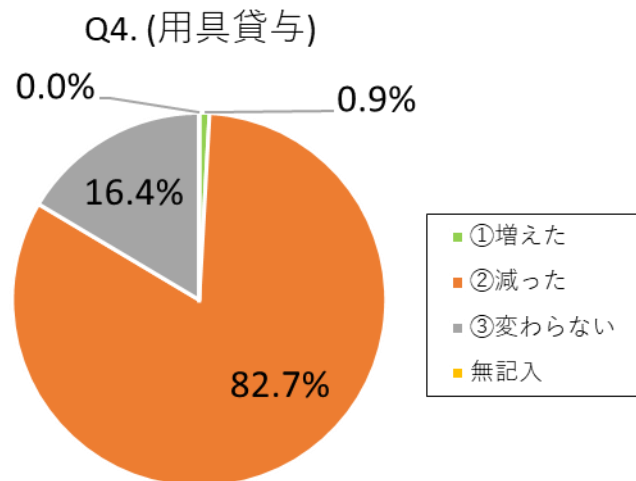
選択肢	回答数	率
①増えた	5	3.8%
②減った	105	79.5%
③変わらない	22	16.7%
無記入	0	0.0%



【Q4 用具貸与】

n=225

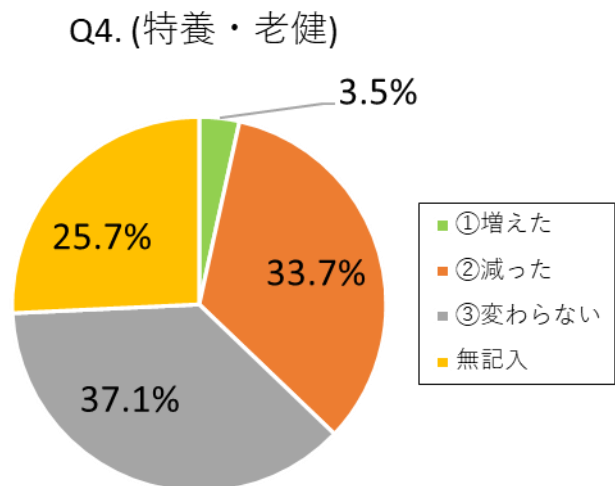
選択肢	回答数	率
①増えた	2	0.9%
②減った	186	82.7%
③変わらない	37	16.4%
無記入	0	0.0%



【Q4 特養・老健】

n=202

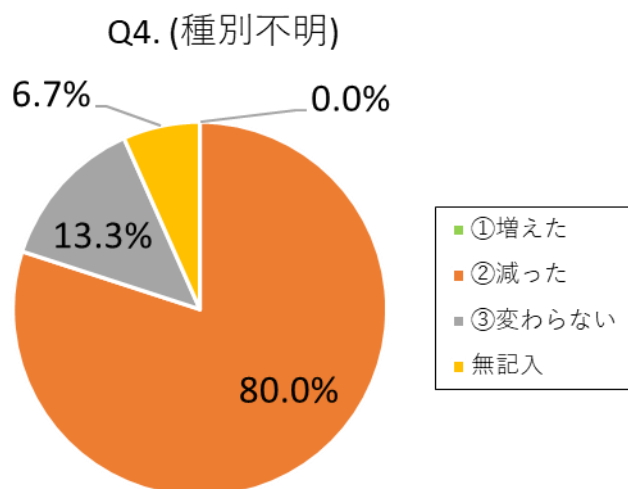
選択肢	回答数	率
①増えた	7	3.5%
②減った	68	33.7%
③変わらない	75	37.1%
無記入	52	25.7%



【Q4 種別不明】

n=15

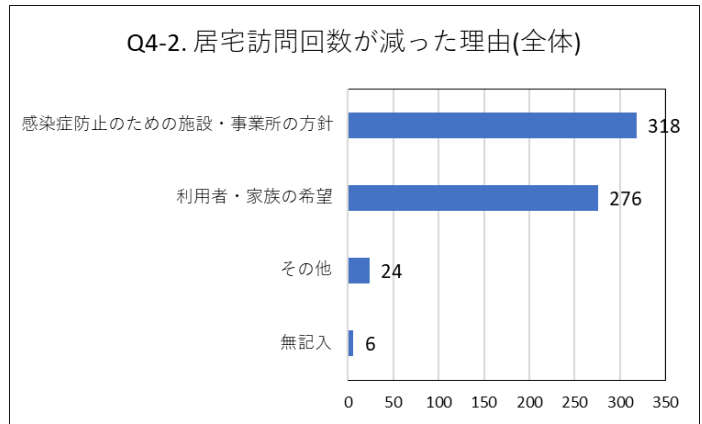
選択肢	回答数	率
①増えた	0	0.0%
②減った	12	80.0%
③変わらない	2	13.3%
無記入	1	6.7%



■Q4-2 Q4で「減った」と回答した方へ ⇒ 減った理由はどのようなことですか(複数回答可)

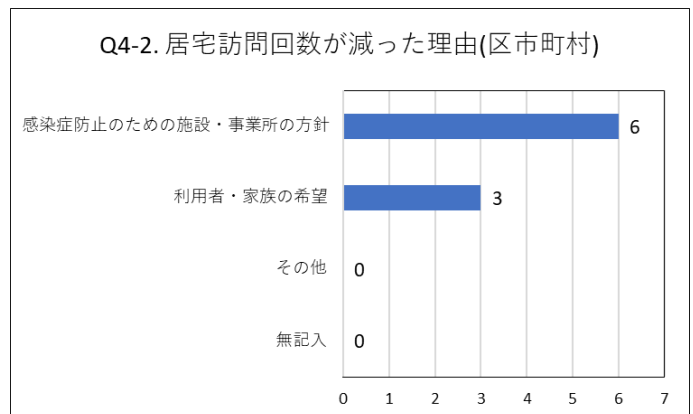
【Q4-2 全体】対象377 複数回答可

選択肢	回答数
①感染症防止のための施設・事業所の方針	318
②利用者・家族の希望	276
③その他	24
無記入	6



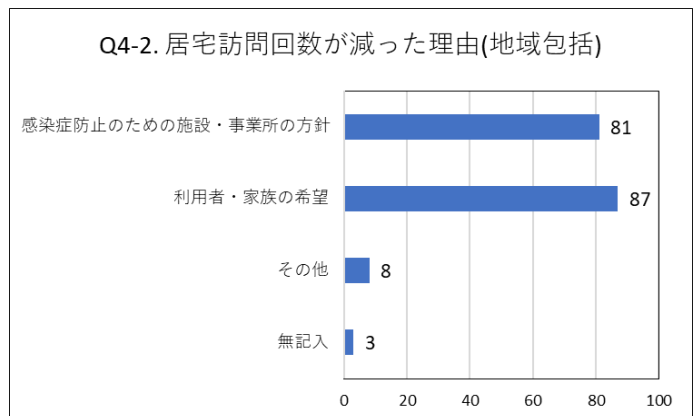
【Q4-2 区市町村】対象6 複数回答可

選択肢	回答数
①感染症防止のための施設・事業所の方針	6
②利用者・家族の希望	3
③その他	0
無記入	0



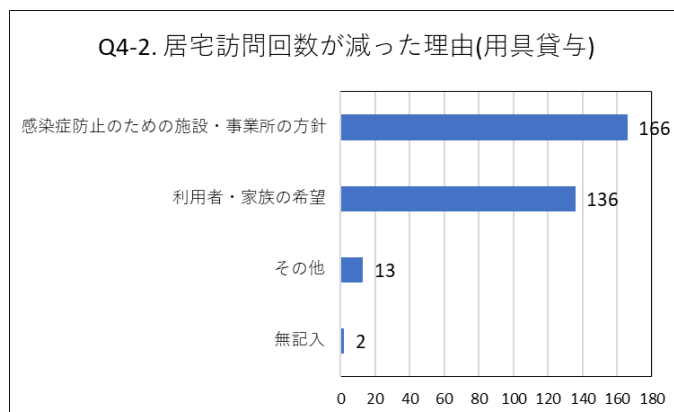
【Q4-2 地域包括】対象105 複数回答可

選択肢	回答数
①感染症防止のための施設・事業所の方針	81
②利用者・家族の希望	87
③その他	8
無記入	3



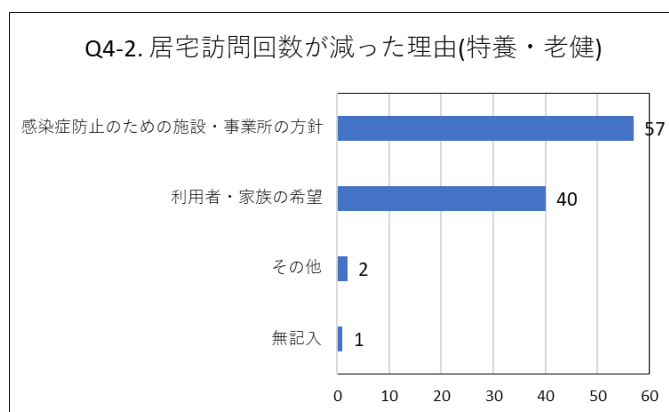
【Q4-2 用具貸与】対象186 複数回答可

選択肢	回答数
①感染症防止のための施設・事業所の方針	166
②利用者・家族の希望	136
③その他	13
無記入	2



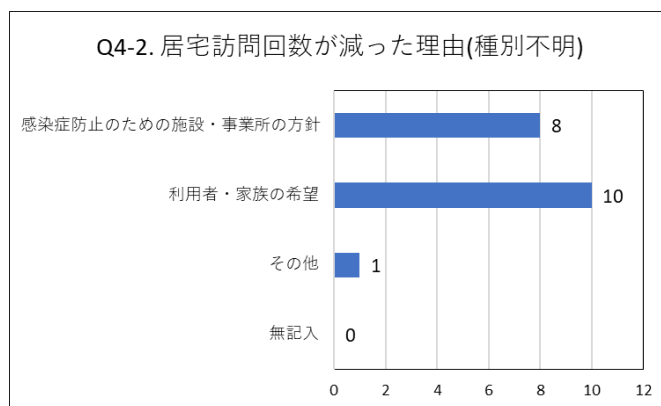
【Q4-2 特養・老健】対象68 複数回答可

選択肢	回答数
①感染症防止のための施設・事業所の方針	57
②利用者・家族の希望	40
③その他	2
無記入	1



【Q4-2 種別不明】対象12 複数回答可

選択肢	回答数
①感染症防止のための施設・事業所の方針	8
②利用者・家族の希望	10
③その他	1
無記入	0



【Q4-2 ③その他】

種別	No	居宅訪問回数が減った理由 (その他)
区市町村(0)	-	(無し)
地域包括(8)	1	感染症拡大防止のための区の方針
	2	自治体の方針による
	3	自治体から原則対面禁止の通達があったため
	4	行政の方針
	5	自治体の方針
	6	感染拡大防止の為、行政からの通知
	7	感染症拡大防止の為の保険者の方針
	8	国、区の方針(緊急事態宣言中)
用具貸与(13)	9	担当者会議の減少
	10	ケアマネからの方針
	11	少しでも人と会う回数を減らしたい等の問い合わせ等あった為
	12	当社方針
	13	居宅からの自粛要請
	14	営業先の居宅や施設が来場を禁止している
	15	担当者会議が照会FAXになった
	16	退院者が減った
	17	先方の事情
	18	2020.4月より営業自粛継続中
	19	居宅要望
	20	1人での訪問になった
21	担会が少人数で行う為照会となった	
特養・老健(2)	22	区の方針
	23	担当者会議未開催のため
種別不明(1)	24	自粛要請の為訪問制限

<Q4 結果の傾向など>

居宅訪問回数の変化について、全体では「増えた」2.4%に対して、「減った」が61.4%と、「減った」が「増えた」を59ポイント上回った。

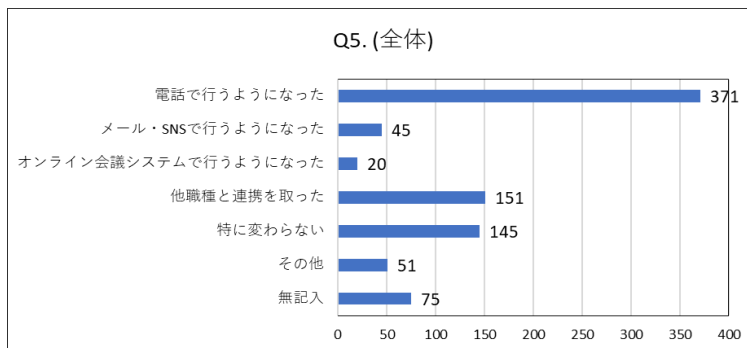
種別では、「地域包括」で79.5%、「用具貸与」では82.7%減ったという回答となった。

Q4-2)居宅訪問回数が減った理由として、事業所の方針という回答(318件)が、利用者・家族の希望という回答(276件)を42件上回った。また「その他」として、「地域包括」と「特養・老健」から「自治体や行政の方針」という回答が8件あった。

■Q5 居宅利用者へのモニタリングの方法は変わりましたか(複数回答可)

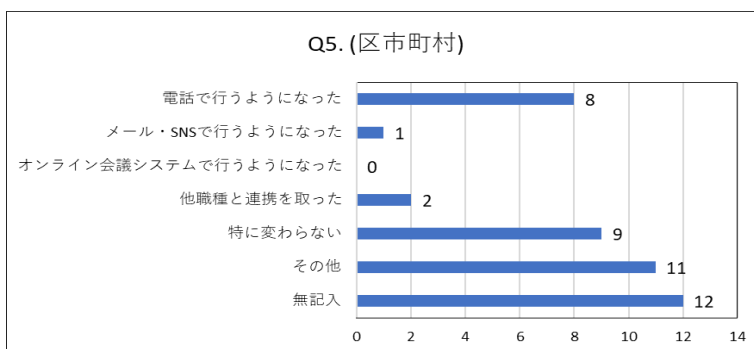
【Q5 全体】対象614 複数回答可

選択肢	回答数
①電話で行うようになった	371
②メール・SNSで行うようになった	45
③オンライン会議システムで行うようになった	20
④他職種と連携を取った	151
⑤特に変わらない	145
⑥その他	51
無記入	75



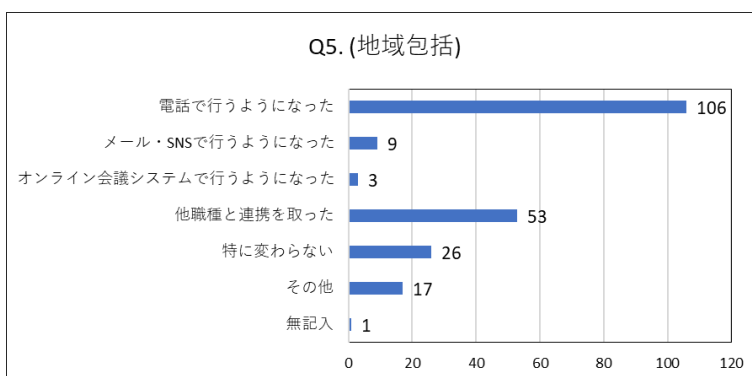
【Q5 区市町村】対象40 複数回答可

選択肢	回答数
①電話で行うようになった	8
②メール・SNSで行うようになった	1
③オンライン会議システムで行うようになった	0
④他職種と連携を取った	2
⑤特に変わらない	9
⑥その他	11
無記入	12



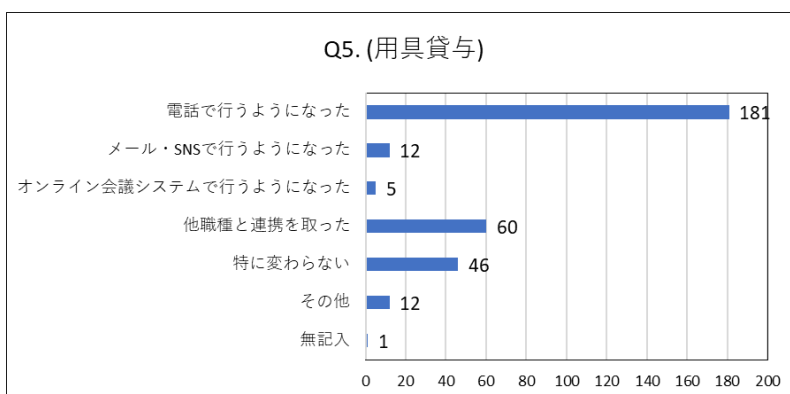
【Q5 地域包括】対象132 複数回答可

選択肢	回答数
①電話で行うようになった	106
②メール・SNSで行うようになった	9
③オンライン会議システムで行うようになった	3
④他職種と連携を取った	53
⑤特に変わらない	26
⑥その他	17
無記入	1



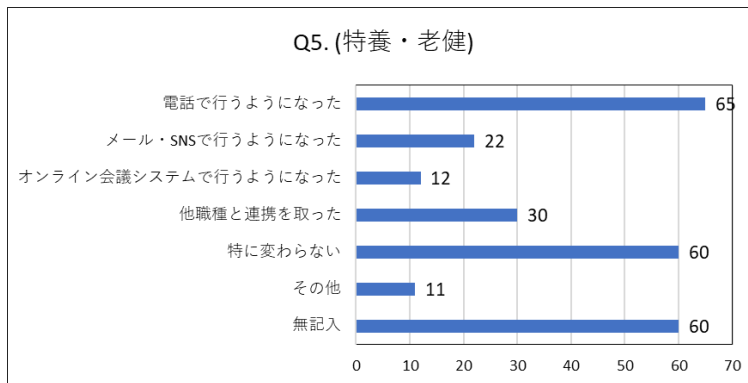
【Q5 用具貸与】対象225 複数回答可

選択肢	回答数
①電話で行うようになった	181
②メール・SNSで行うようになった	12
③オンライン会議システムで行うようになった	5
④他職種と連携を取った	60
⑤特に変わらない	46
⑥その他	12
無記入	1



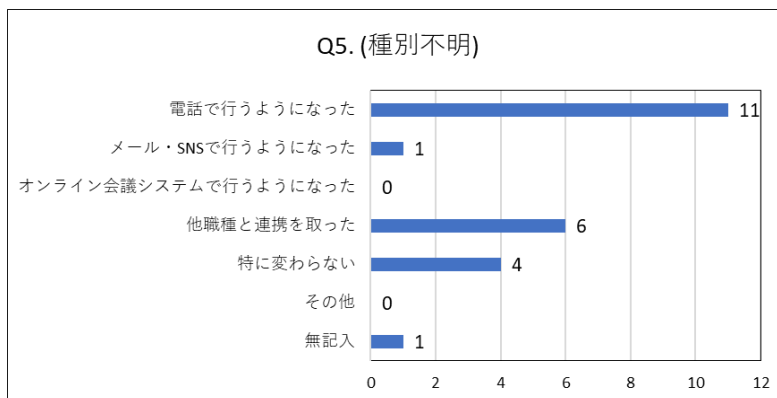
【Q5 特養・老健】対象202 複数回答可

選択肢	回答数
①電話で行うようになった	65
②メール・SNSで行うようになった	22
③オンライン会議システムで行うようになった	12
④他職種と連携を取った	30
⑤特に変わらない	60
⑥その他	11
無記入	60



【Q5 種別不明】対象15 複数回答可

選択肢	回答数
①電話で行うようになった	11
②メール・SNSで行うようになった	1
③オンライン会議システムで行うようになった	0
④他職種と連携を取った	6
⑤特に変わらない	4
⑥その他	0
無記入	1



【Q5 ⑥その他】

【Q5 「その他」記述】

種別	No	居宅利用者へのモニタリング方法の変化 「その他」の記述	
区市町村(11)	1	福祉用具そのものを取扱う部署ではありません	
	2	自治体のためモニタリングを行わない	
	3	モニタリングは事業所が行っている	
	4	市の業務外である	
	5	特に行っていない	
	6	該当しない	
	7	該当なし	
	8	該当なし	
	9	わからない	
地域包括(17)	10	訪問は毎月から2～3か月に1回に減らした	
	11	利用者の希望で対応方法を決めた	
	12	訪問の時間を短縮するために電話の回数、時間を増やした	
	13	玄関で短時間	
	14	書面(郵送)	
	15	基本訪問は変わらない	
	16	文章照合の活用が増えた(FAX)	
	17	拒否が無ければ訪問している	
	18	可能な限り訪問は継続しつつ、対策を行った。	
	19	利用者からの自粛希望がなければ通常訪問	
	20	入室せずに玄関先でモニタリングしたり、訪問滞在時間を短くようになった。	
	21	玄関先で距離をとるよう配慮することも増えた	
	22	必要時訪問	
	23	利用者の希望で訪問から電話でのモニタリングに変更することがある	
用具貸与(12)	24	利用者様からの連絡のみ対応しています	
	25	利用者の意向に合わせて行っている	
	26	郵送等	
	27	業務休止中のため不明	
	28	身体状況に合わせ適切に使用できるか確認するため基本的には訪問している	
	29	ご希望に応じて電話のみの対応	
	30	機器だけのメンテナンス	
	31	訪問中止となった	
	32	訪問しても用具の点検をできる限り外で行うなど、非接触を基本とするようになった	
	33	手紙を配布	
	34	ケアマネの聞き取りからの聞き取り	
	特養・老健(11)	35	FAXを使用
		36	通常通りの訪問にプラスTEL対応
		37	一度目の緊急事態宣言下では照会等に対応したが、以降は感染対策を行い対面で実施している
38		新規入所の事前面接は、カーテン越しでの面接のみで以前より状態確認がしづらくなった	
39		居宅モニタリングはなし	
40		特養施設の為、居宅モニタリングはありません	
41		居宅サービスを行っていない	
42		特別養護老人ホームの為、居宅利用者はいない	
43		特養の為、居宅利用者はいない	
44		特養の為、なし	
45		対象外	
種別不明(0)	-	(無し)	

<Q5 結果の傾向など>

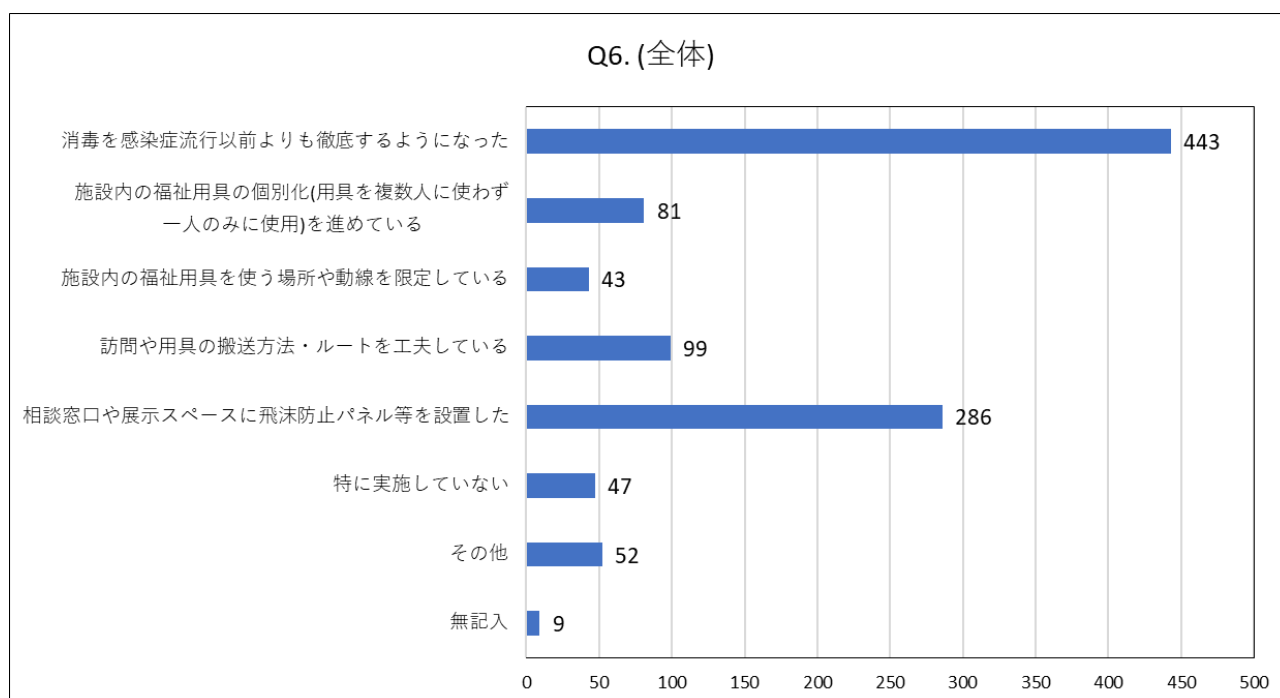
居宅利用者へのモニタリングの方法の変化について、電話での実施が 371 件で最も多く、次いで、多職種との連携(151 件)となった。メール、SNS、オンライン会議システムといったインターネットの活用は、全て合わせて 65 件という結果となった。「区市町村」と「特養・老健」からは、「モニタリングは行わない、該当しない」といったコメントが挙がった。

【2】福祉用具の取り扱いについて

■Q6 現在、貴団体(部署)において、福祉用具の取り扱いについてどのような感染症予防対策を取っていますか。(複数回答可)

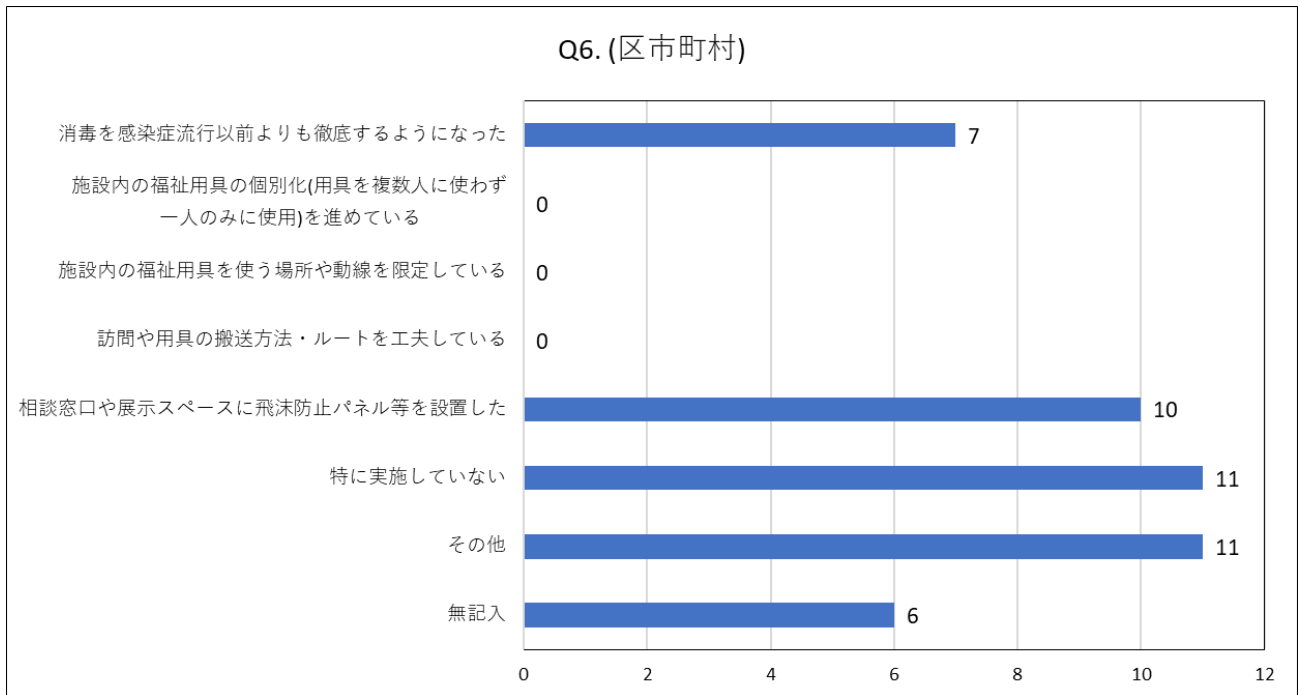
【Q6 全体】対象614 複数回答可

選択肢	回答数
①消毒を感染症流行以前よりも徹底するようになった	443
②施設内の福祉用具の個別化(用具を複数人に使わず一人のみに使用)を進めている	81
③施設内の福祉用具を使う場所や動線を限定している	43
④訪問や用具の搬送方法・ルート工夫している	99
⑤相談窓口や展示スペースに飛沫防止パネル等を設置した	286
⑥特に実施していない	47
⑦その他	52
無記入	9



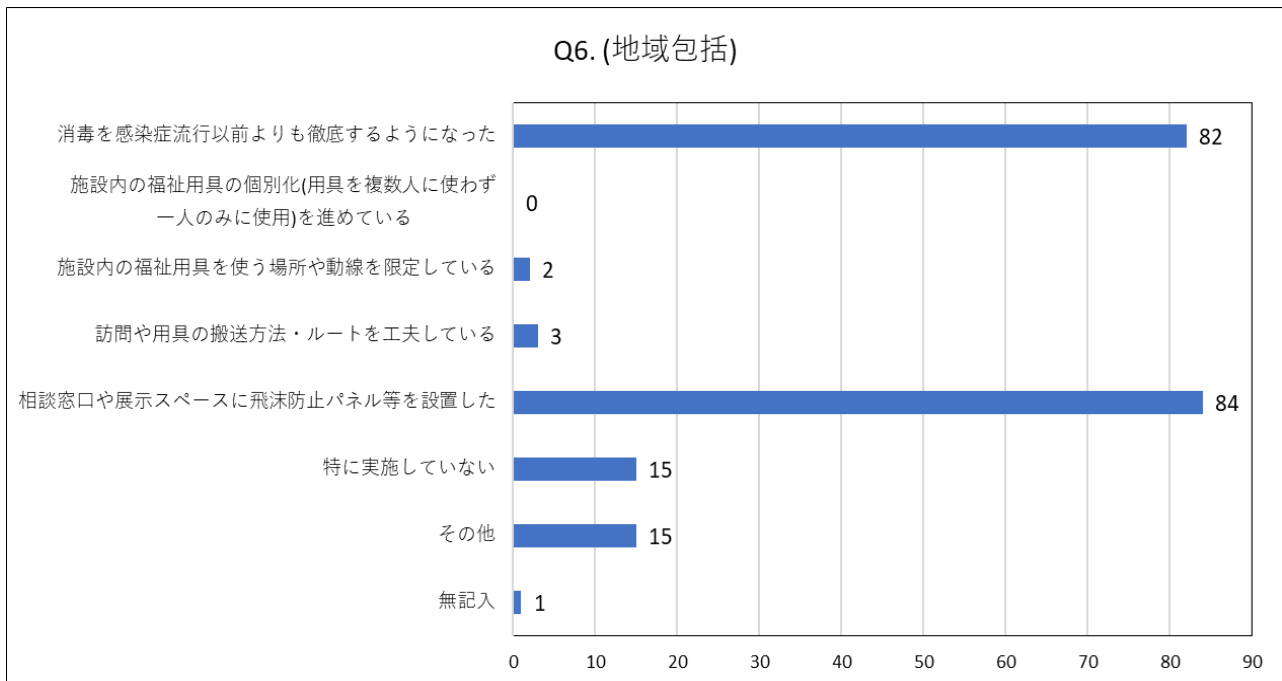
【Q6 区市町村】 対象40 複数回答可

選択肢	回答数
①消毒を感染症流行以前よりも徹底するようになった	7
②施設内の福祉用具の個別化(用具を複数人に使わず一人のみに使用)を進めている	0
③施設内の福祉用具を使う場所や動線を限定している	0
④訪問や用具の搬送方法・ルート工夫している	0
⑤相談窓口や展示スペースに飛沫防止パネル等を設置した	10
⑥特に実施していない	11
⑦その他	11
無記入	6



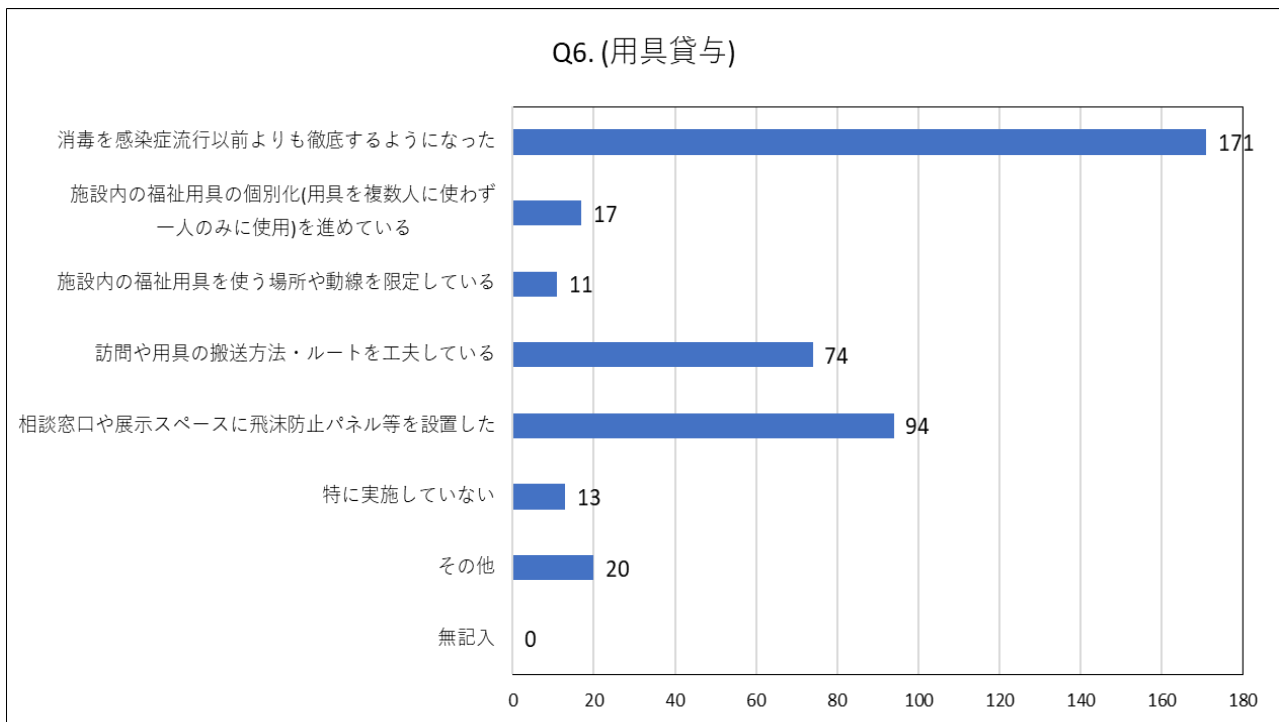
【Q6 地域包括】 対象132 複数回答可

選択肢	回答数
①消毒を感染症流行以前よりも徹底するようになった	82
②施設内の福祉用具の個別化(用具を複数人に使わず一人のみに使用)を進めている	0
③施設内の福祉用具を使う場所や動線を限定している	2
④訪問や用具の搬送方法・ルートを工夫している	3
⑤相談窓口や展示スペースに飛沫防止パネル等を設置した	84
⑥特に実施していない	15
⑦その他	15
無記入	1



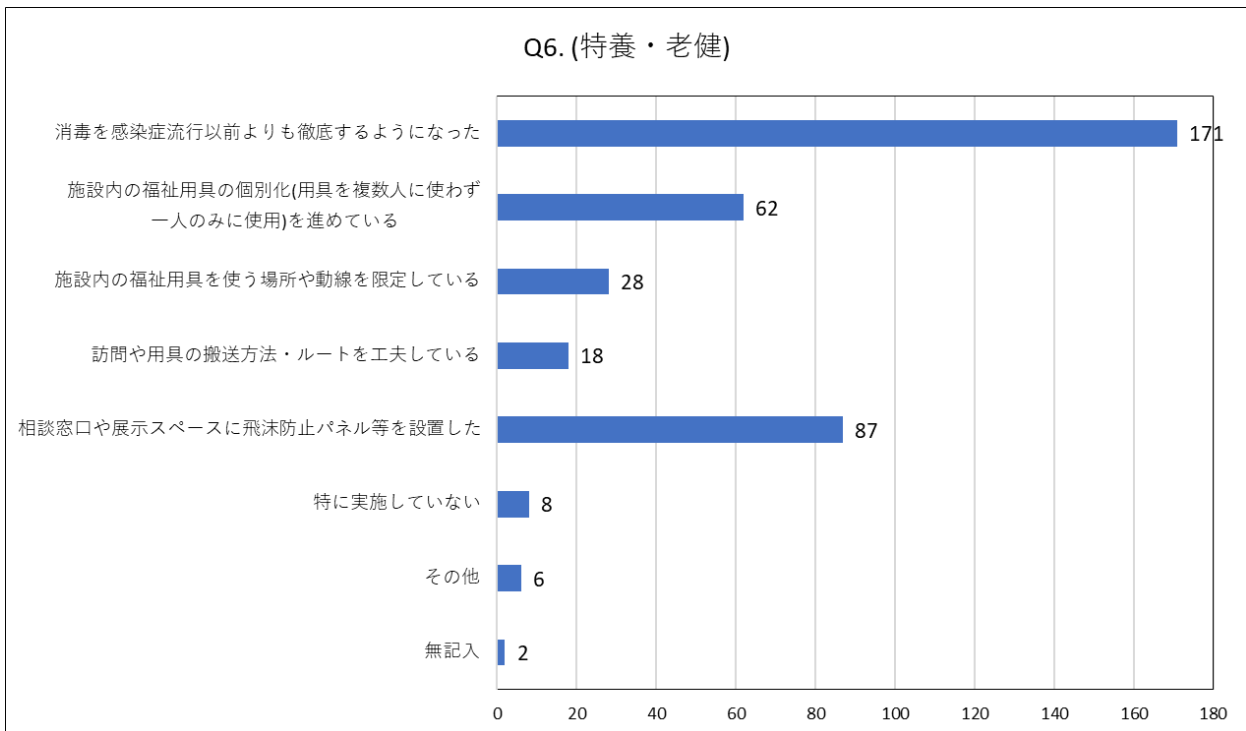
【Q6 用具貸与】 対象225 複数回答可

選択肢	回答数
①消毒を感染症流行以前よりも徹底するようになった	171
②施設内の福祉用具の個別化(用具を複数人に使わず一人のみに使用)を進めている	17
③施設内の福祉用具を使う場所や動線を限定している	11
④訪問や用具の搬送方法・ルート工夫している	74
⑤相談窓口や展示スペースに飛沫防止パネル等を設置した	94
⑥特に実施していない	13
⑦その他	20
無記入	0



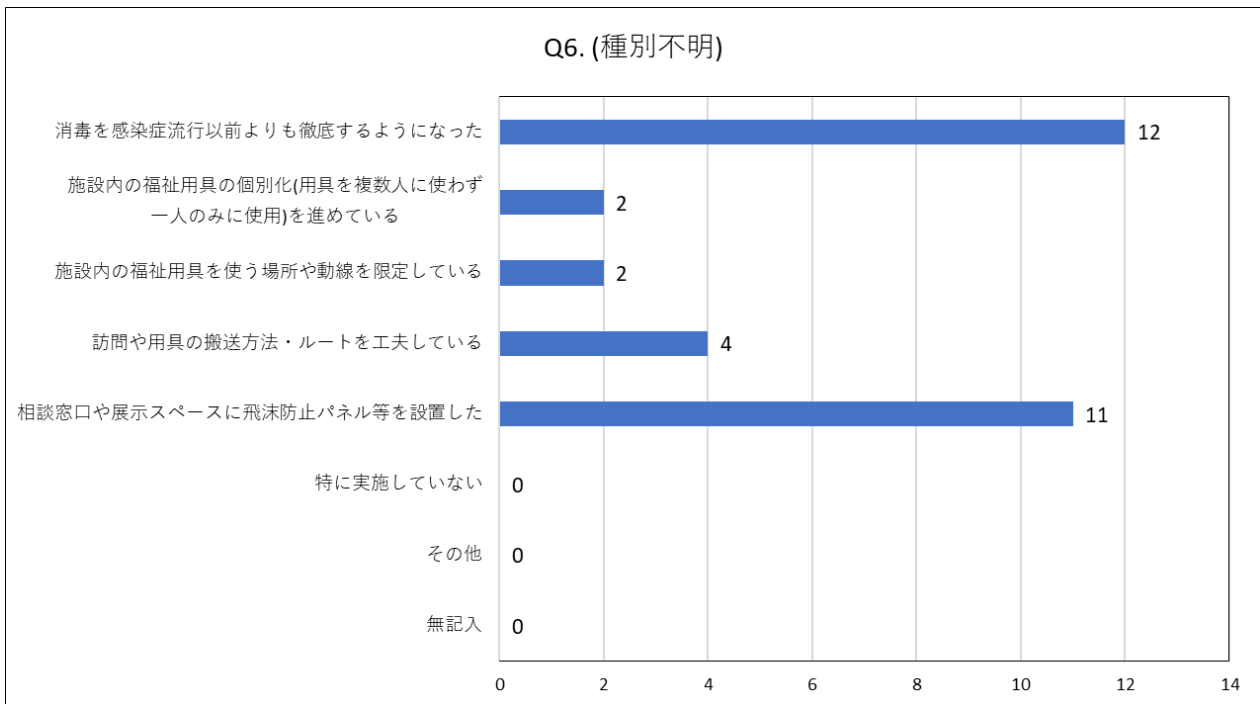
【Q6 特養・老健】対象202 複数回答可

選択肢	回答数
①消毒を感染症流行以前よりも徹底するようになった	171
②施設内の福祉用具の個別化(用具を複数人に使わず一人のみに使用)を進めている	62
③施設内の福祉用具を使う場所や動線を限定している	28
④訪問や用具の搬送方法・ルートを工夫している	18
⑤相談窓口や展示スペースに飛沫防止パネル等を設置した	87
⑥特に実施していない	8
⑦その他	6
無記入	2



【Q6 種別不明】 対象15 複数回答可

選択肢	回答数
①消毒を感染症流行以前よりも徹底するようになった	12
②施設内の福祉用具の個別化(用具を複数人に使わず一人のみに使用)を進めている	2
③施設内の福祉用具を使う場所や動線を限定している	2
④訪問や用具の搬送方法・ルートを工夫している	4
⑤相談窓口や展示スペースに飛沫防止パネル等を設置した	11
⑥特に実施していない	0
⑦その他	0
無記入	0



【Q6 その他】

種別	No	Q6 「その他」 の記述内容
区市町村(11)	1	申請窓口に飛沫防止カーテンを設置した
	2	「取り扱い無し」の類(9)
地域包括(15)	3	検温、消毒
	4	定時の換気、消毒の徹底
	5	相談後は机、イス、パネルをアルコールで消毒している
	6	相談来所者の手指消毒・検温。共用部分の2回/日消毒対応
	7	入館時の検温・手指消毒
	8	専門業者へ依頼
	9	福祉用具としてというよりは全体業務として感染対策を取り対応中
	10	「取り扱い無し」の類(8)
用具貸与(20)	11	注文のみで在庫してない、納品時は「福祉用具の個別化」を説明するようにしてます 当然ながら納品時の感染予防はしてます
	12	マスク、消毒液、状況により防護服を車載
	13	相談員の消毒を徹底し、袋等の開封のタイミング等の対応
	14	自転車通勤、空気清浄器の設置、非接触体温計の設置
	15	卸業者から直接利用者宅へ届けてますので問題ないと思います
	16	職員の健康チェックの強化
	17	検温・体調確認の実施
	18	入口部に消毒器の設置
	19	委託業者にて対応してもらっている
	20	配送者の手指消毒、マスク着用
	21	レンタル委託先（日本シューター）でも、感染症対策を取っていただいています
	22	テレワークの実施
	23	フェイスシールドでの飛沫対策
	24	卸業者との連携強化
	25	陽性の方への福祉用具搬入出
	26	「事業休止中」の類(2)
特養・老健(6)	27	エレベーター2機を特養用と短期入所用と分けた
	28	消毒する回数が増えた
	29	職員個人個人にアルコールのボトルを携帯させた
	30	消毒が可能な素材のものへ変更
	31	使用者の感染対策を徹底
	32	福祉用具の利用はありません
種別不明(0)	-	(無し)

<Q6 結果の傾向など>

福祉用具の感染症予防対策について、①消毒の徹底が 443 件で最も多く、次いで⑤飛沫防止パネルなどの設置 286 件という回答になった。「②福祉用具の個別化」については「特養・老健」から、「④訪問や用具の搬送方法・ルートを工夫している」については「用具貸与」からの回答が他と比べ、それぞれ多かった。

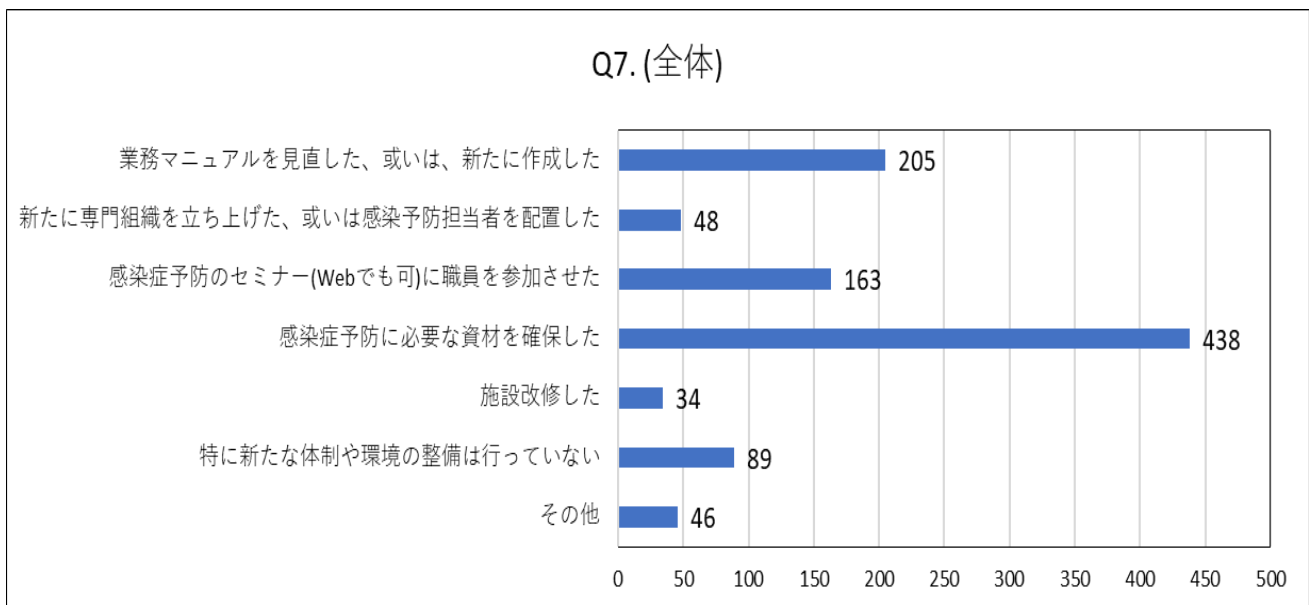
【3】体制や環境整備について

■Q7 貴団体(部署)において、令和2年4月から令和3年1月までの期間に、福祉用具の感染

症予防のために、どのような体制や環境の整備を行いましたか。(複数回答可)

【Q7 全体】対象614 複数回答可

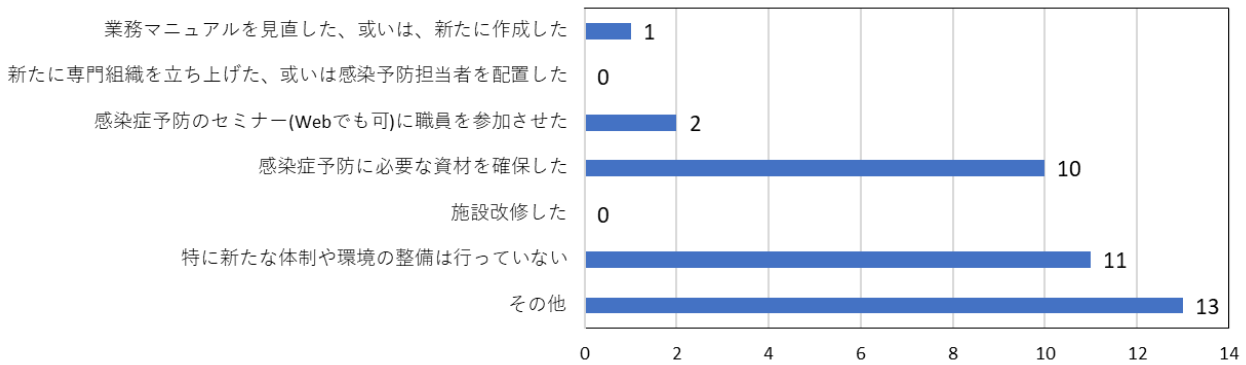
選択肢	回答数
①業務マニュアルを見直した、或いは、新たに作成した	205
②新たに専門組織を立ち上げた、或いは感染予防担当者を配置した	48
③感染症予防のセミナー(Webでも可)に職員を参加させた	163
④感染症予防に必要な資材を確保した	438
⑤施設改修した	34
⑥特に新たな体制や環境の整備は行っていない	89
⑦その他	46



【Q7 区市町村】対象40 複数回答可

選択肢	回答数
①業務マニュアルを見直した、或いは、新たに作成した	1
②新たに専門組織を立ち上げた、或いは感染予防担当者を配置した	0
③感染症予防のセミナー(Webでも可)に職員を参加させた	2
④感染症予防に必要な資材を確保した	10
⑤施設改修した	0
⑥特に新たな体制や環境の整備は行っていない	11
⑦その他	13

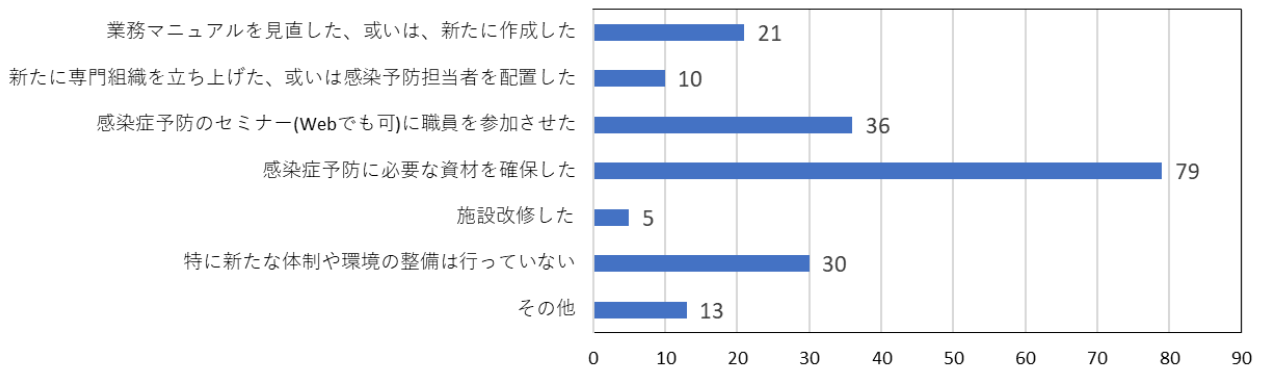
Q7.(区市町村)



【Q7 地域包括】対象132 複数回答可

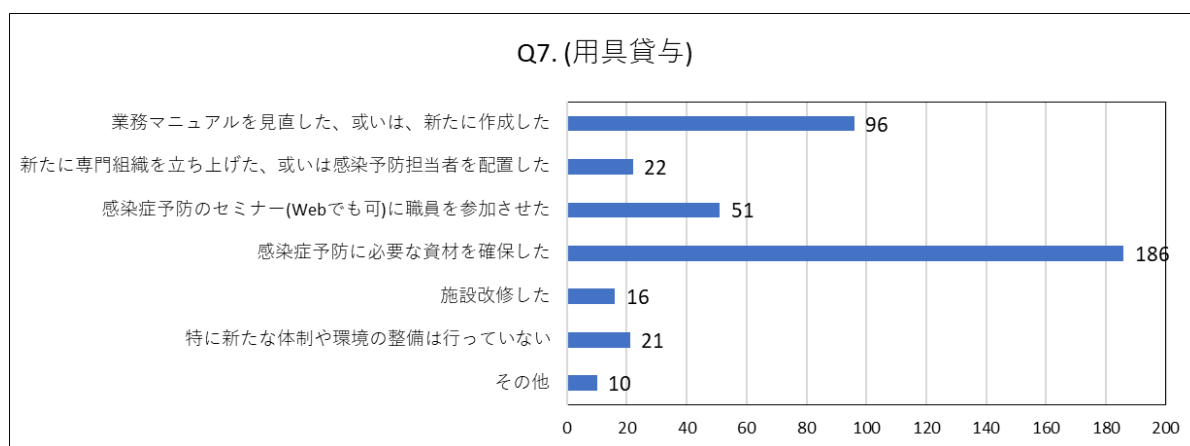
選択肢	回答数
①業務マニュアルを見直した、或いは、新たに作成した	21
②新たに専門組織を立ち上げた、或いは感染予防担当者を配置した	10
③感染症予防のセミナー(Webでも可)に職員を参加させた	36
④感染症予防に必要な資材を確保した	79
⑤施設改修した	5
⑥特に新たな体制や環境の整備は行っていない	30
⑦その他	13

Q7.(地域包括)



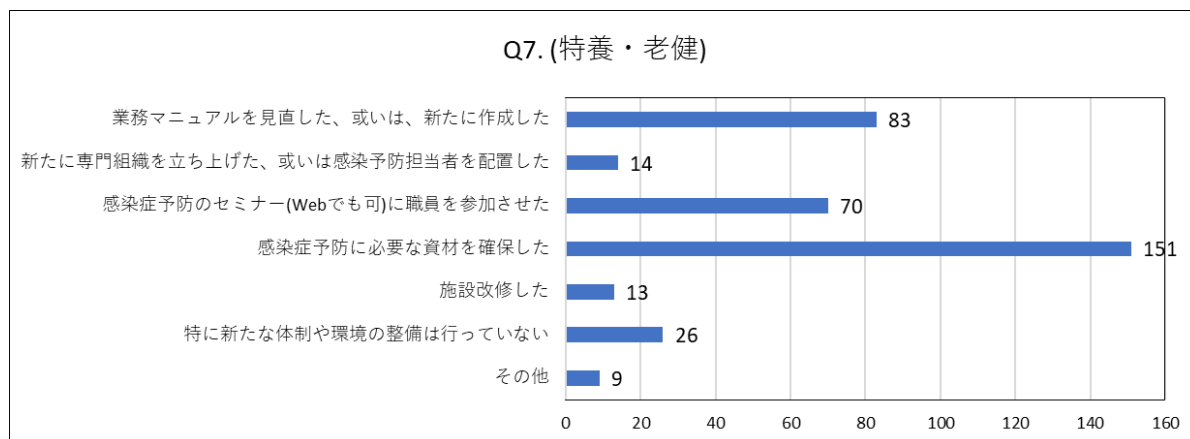
【Q7 用具貸与】対象225 複数回答可

選択肢	回答数
①業務マニュアルを見直した、或いは、新たに作成した	96
②新たに専門組織を立ち上げた、或いは感染予防担当者を配置した	22
③感染症予防のセミナー(Webでも可)に職員を参加させた	51
④感染症予防に必要な資材を確保した	186
⑤施設改修した	16
⑥特に新たな体制や環境の整備は行っていない	21
⑦その他	10



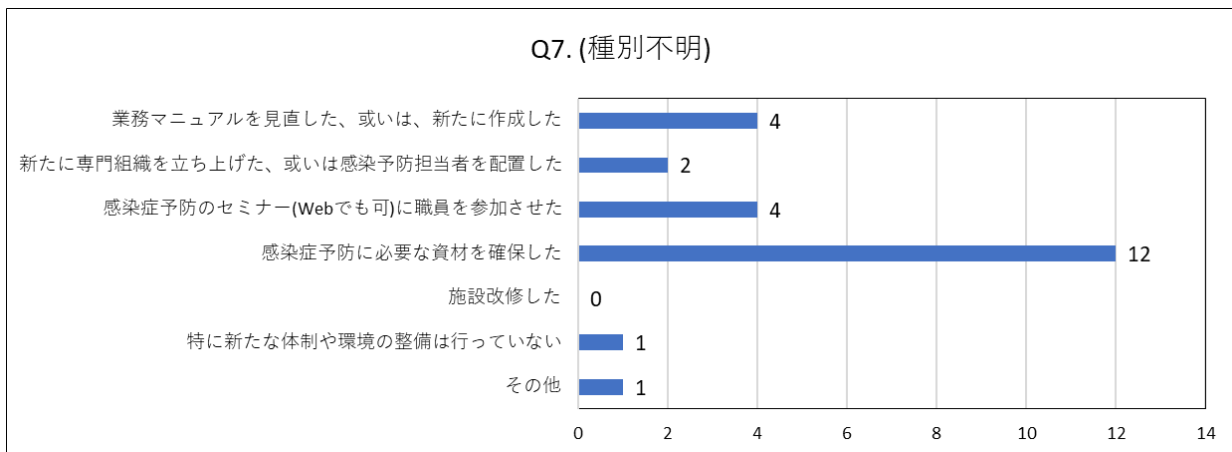
【Q7 特養・老健】対象202 複数回答可

選択肢	回答数
①業務マニュアルを見直した、或いは、新たに作成した	83
②新たに専門組織を立ち上げた、或いは感染予防担当者を配置した	14
③感染症予防のセミナー(Webでも可)に職員を参加させた	70
④感染症予防に必要な資材を確保した	151
⑤施設改修した	13
⑥特に新たな体制や環境の整備は行っていない	26
⑦その他	9



【Q7 種別不明】対象15 複数回答可

選択肢	回答数
①業務マニュアルを見直した、或いは、新たに作成した	4
②新たに専門組織を立ち上げた、或いは感染予防担当者を配置した	2
③感染症予防のセミナー(Webでも可)に職員を参加させた	4
④感染症予防に必要な資材を確保した	12
⑤施設改修した	0
⑥特に新たな体制や環境の整備は行っていない	1
⑦その他	1



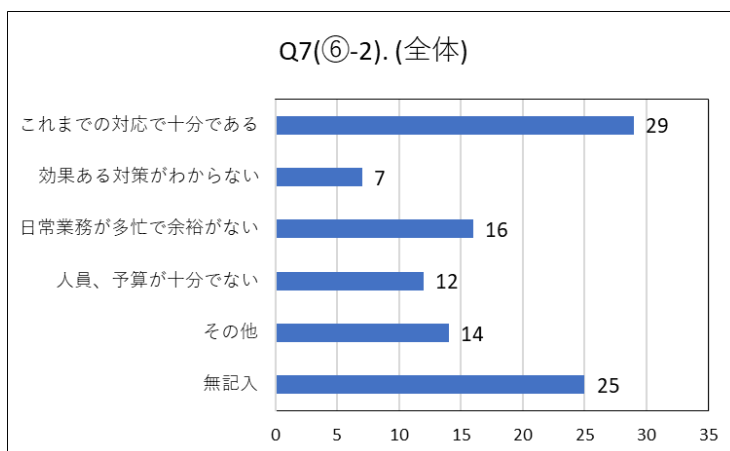
■Q7(⑤-2) Q7で「施設改修をした」を選択した方へ ⇒ どのような内容ですか

種別	No	施設改修内容
区市町村(0)	-	(無し)
地域包括(5)	1	4月開所の施設のため、昨年と比べられない
	2	飛沫予防の亚克力板設置等
	3	パーテーションの設置
	4	感染症の対策方法や歴史
用具貸与(16)	5	飛散防止の透明シートの設置
	6	事務所デスクに飛沫防止シートをつけた。
	7	飛沫パネル設置、レイアウト変更
	8	飛沫防止のアイテム
	9	飛沫防止パネル工事
	10	亚克力板等
	11	飛沫防止パネル設置
	12	飛沫防止パネル
	13	亚克力板を取り付け飛沫対策をした。
	14	亚克力板の設置
	15	パーテーション等の設置
	16	仕切りを設置し、換気口を増やした
	17	換気のため網戸設置
	18	感染拡大防止対策のための会社の運営
特養・老健(13)	19	陰圧装置を設置した
	20	陰圧装置の設置
	21	陰圧機の取り付け工事
	22	簡易陰圧装置の設置
	23	陰圧室
	24	減圧室を設置
	25	特養併設のショートステイ居室へ陰圧装置を設置した
	26	ハンドフリーの消毒器を増設、常時換気の為窓に網戸の設置
	27	正面玄関に洗面台を設置した
	28	抗菌手摺改修工事
	29	発熱センサードア
	30	スタンダードプリコーションの徹底、隔離時の対応について
	31	感染症対策(インフルエンザ、ノロウイルス、コロナウイルス)
種別不明(0)	-	(無し)

■Q7(⑥-2) Q7で「特に新たな体制や環境の整備は行っていない」を選択した方へ ⇒ どのような理由からですか(複数回答可)

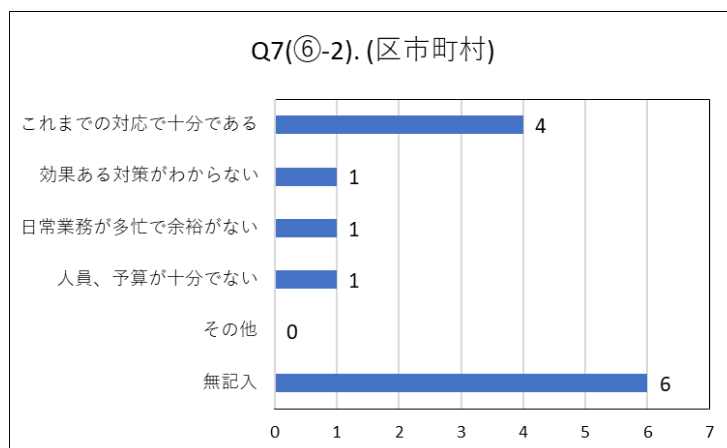
【Q7(⑥-2) 全体】対象89 複数回答可

選択肢	回答数
①これまでの対応で十分である	29
②効果ある対策がわからない	7
③日常業務が多忙で余裕がない	16
④人員、予算が十分でない	12
⑤その他	14
無記入	25



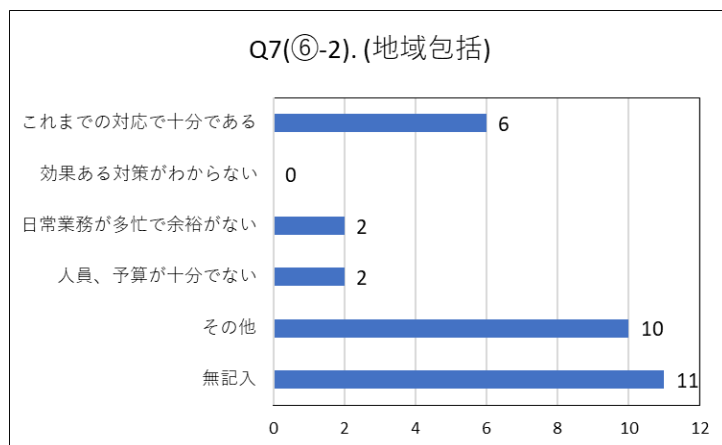
【Q7(⑥-2) 区市町村】対象11 複数回答可

選択肢	回答数
①これまでの対応で十分である	4
②効果ある対策がわからない	1
③日常業務が多忙で余裕がない	1
④人員、予算が十分でない	1
⑤その他	0
無記入	6



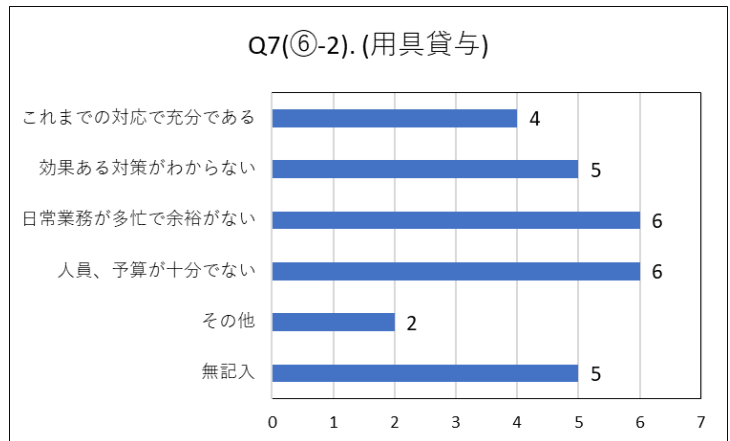
【Q7(⑥-2) 地域包括】対象30 複数回答可

選択肢	回答数
①これまでの対応で十分である	6
②効果ある対策がわからない	0
③日常業務が多忙で余裕がない	2
④人員、予算が十分でない	2
⑤その他	10
無記入	11



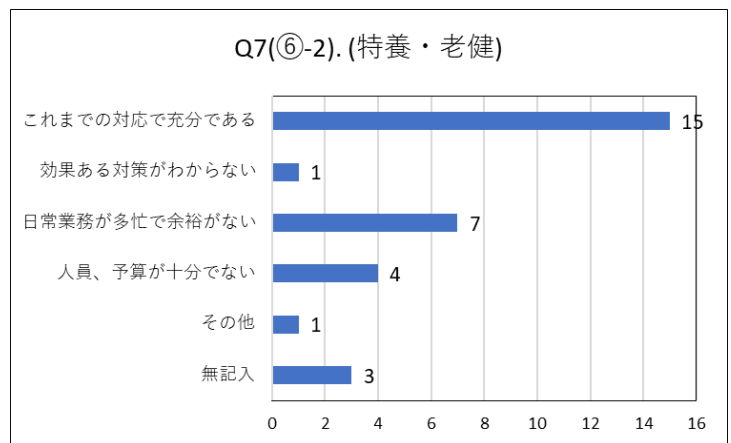
【Q7(⑥-2) 用具貸与】対象21 複数回答可

選択肢	回答数
①これまでの対応で充分である	4
②効果ある対策がわからない	5
③日常業務が多忙で余裕がない	6
④人員、予算が十分でない	6
⑤その他	2
無記入	5



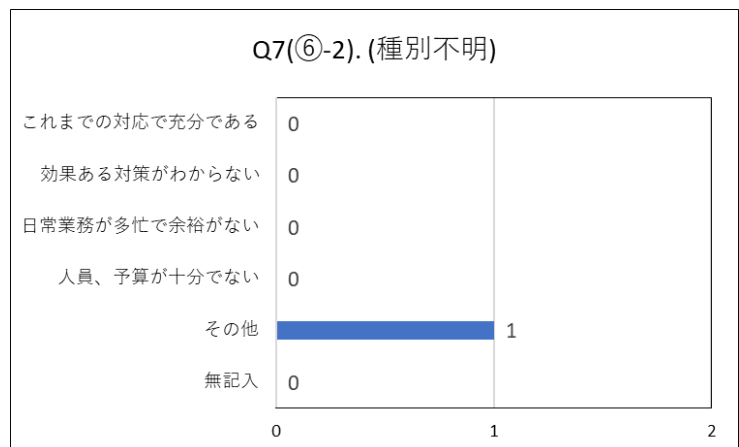
【Q7(⑥-2) 特養・老健】対象26 複数回答可

選択肢	回答数
①これまでの対応で充分である	15
②効果ある対策がわからない	1
③日常業務が多忙で余裕がない	7
④人員、予算が十分でない	4
⑤その他	1
無記入	3



【Q7(⑥-2) 種別不明】対象1 複数回答可

選択肢	回答数
①これまでの対応で充分である	0
②効果ある対策がわからない	0
③日常業務が多忙で余裕がない	0
④人員、予算が十分でない	0
⑤その他	1
無記入	0



【Q7 ⑥-2 その他】

種別	No	Q7(⑥-2)特に新たな体制や環境の整備を行っていない理由 「⑤その他」記述
区市町村(0)	-	(無し)
地域包括(10)	1	福祉用具の感染症予防のためには特に行っていない
	2	事業所として、福祉用具の展示や貸し出しなどを行っておらず、直接に福祉用具を取り扱うことがないため
	3	施設内に利用する福祉用具がない
	4	福祉用具を取り扱っていない
	5	福祉用具を取り扱っていない
	6	直接的に扱っていない
	7	福祉用具を扱っていない
	8	展示品しか扱わない
	9	直接の取り扱いがない
用具貸与(2)	10	事業休止中
	11	用具を委託しているため
特養・老健(1)	12	全体の感染予防の中で行い、福祉用具単独での感染症予防としては行っていない
種別不明(1)	13	予防対策等の整備はしたが、福祉用具の感染予防については特に限定して行っていない

【Q7 その他】

種別	No	Q7 「その他」記述
区市町村(13)	1	当区では、福祉用具貸与・販売事業者の実地指導を感染症予防のため、訪問でなく、資料を取り寄せ、電話での聞き取りを行った
	2	各種手続きを原則郵送での受付とし、窓口に来庁することなく対応可とした
	3	福祉用具の貸し出しは行っていないため 福祉用具というものにしてよいかと思うのですが、庁舎内のみの利用の車イスに関しては、庁舎管理担当部署にて消毒などを行っています
	4	感染症予防対策について情報提供等周知、相談支援等を行った
	5	「取り扱い無し」の類(8件)
地域包括(13)	6	感染対策対応を何度も確認し、周知を行った
	7	感染拡大防止として、人流抑制の観点から、出勤率を5割程度(2グループ制)へ
	8	衛生用品の整備
	9	職員の手指消毒マスクの徹底
	10	事務所内の消毒
	11	貸出用具の消毒の徹底
	12	福祉用具のためという理由だけでは行っていない
	13	感染症対策は福祉用具と別の分野と大きな区別はなく、スタンダードプリコーション+コロナ対策を組み合わせて行っています
14	「取り扱い無し」の類(5件)	
用具貸与(10)	15	勤務時間外調整管理
	16	分散出勤、在宅勤務用の備品購入、公共交通手段回避
	17	テレワークの環境整備
	18	飛沫感染パネル、在宅勤務
	19	帰所時の手指の消毒等
	20	消毒液の設置、個別に消毒液を携帯
	21	消毒剤の設置と換気の徹底
	22	消毒用品飛沫防止パネル衛生用品を揃えた
	23	店舗の内装改修し、パネルを設置できるようなカウンターを設け、飛沫による感染拡大防止を図った
	24	業務中止中のため特になし
特養・老健(9)	25	フロアー固定・個人固定
	26	以前から消毒はしていた。消毒の重要性をさらに周知し消毒を徹底するよう伝えている
	27	感染症対策周知強化
	28	共同物品の消毒
	29	感染症予防の為、アルコール噴霧器の用意等した
	30	併設病院の指導を受けた
	31	車椅子消毒の徹底
	32	福祉用具に特化した感染予防取り組みはしていない。全体としての感染予防の検討等は行っている
	33	福祉用具の利用はありません
種別不明(1)	34	オンライン研修を受講

<Q7 結果の傾向など>

感染症予防のための体制や環境の整備について、全体では④必要な資材の確保、①業務マニュアルの見直し、作成、③セミナーへの職員参加の回答数が多く、この傾向は、区市町村を除く3種別でも同様となった。区市町村では、④必要な資材の確保と⑥特に新たな環境の整備は行っていないが回答として多かった。

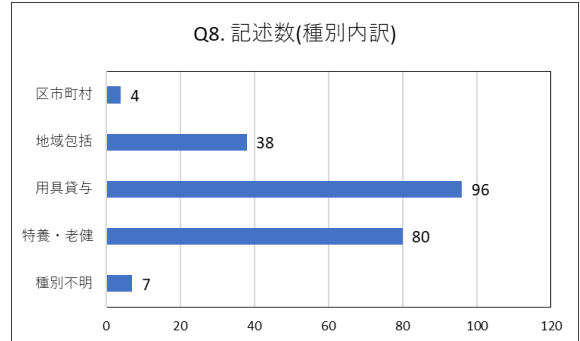
Q7-⑤-2)施設改修の内容について、「用具貸与」では「飛沫防止パネルの設置」、「特養・老健」では「陰圧装置の設置」という答えが複数あった。

Q7-⑥-2)特に新たな体制や環境の整備を行っていない理由として、「その他」、「無記入」を除くと、「用具貸与」以外の種別は、「これまでの対策で十分である」が最も多い回答となった。「用具貸与」は、「③日常が多忙で余裕がない」と「④人員、予算が十分でない」の回答が最も多く、次いで「②効果ある対策がわからない」の順となった。

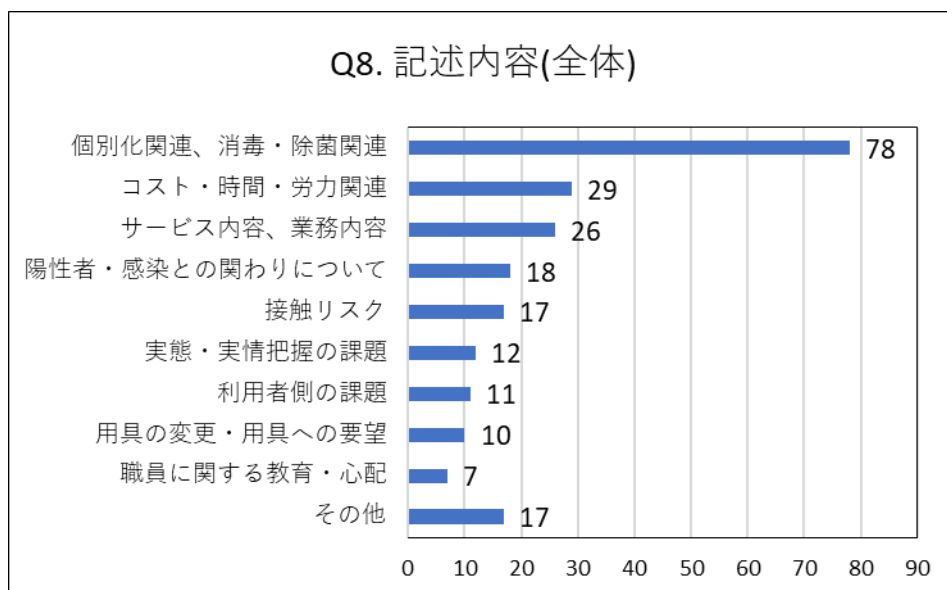
【4】福祉用具の感染予防についての課題

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえで課題がありましたら、お書きください。

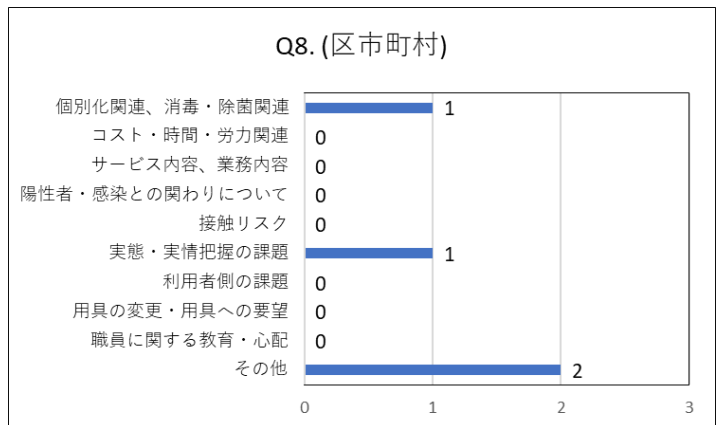
Q8記述数（種別内訳）（225）	記述数	割合
区市町村	4	1.8%
地域包括	38	16.9%
用具貸与	96	42.7%
特養・老健	80	35.6%
種別不明	7	3.1%



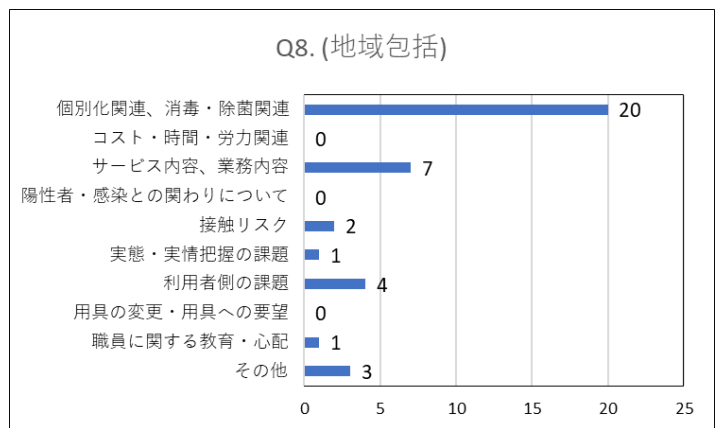
Q8記述内容(区分)（全体）（225）	記述数
個別化関連、消毒・除菌関連	78
コスト・時間・労力関連	29
サービス内容、業務内容	26
陽性者・感染との関わりについて	18
接触リスク	17
実態・実情把握の課題	12
利用者側の課題	11
用具の変更・用具への要望	10
職員に関する教育・心配	7
その他	17



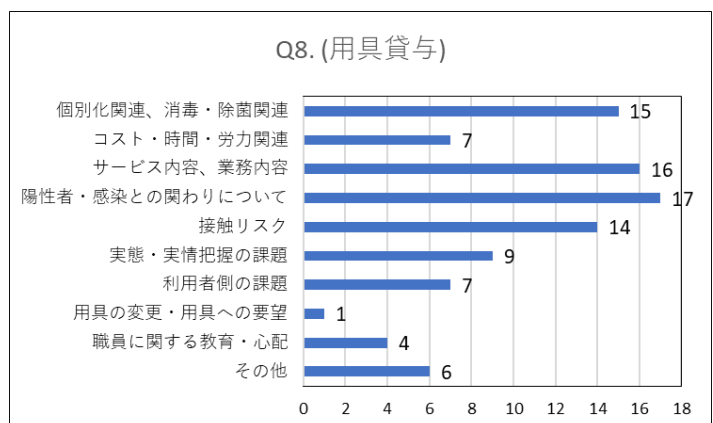
Q8記述内容(区分) (区市町村) (4)	記述数
個別化関連、消毒・除菌関連	1
コスト・時間・労力関連	0
サービス内容、業務内容	0
陽性者・感染との関わりについて	0
接触リスク	0
実態・実情把握の課題	1
利用者側の課題	0
用具の変更・用具への要望	0
職員に関する教育・心配	0
その他	2



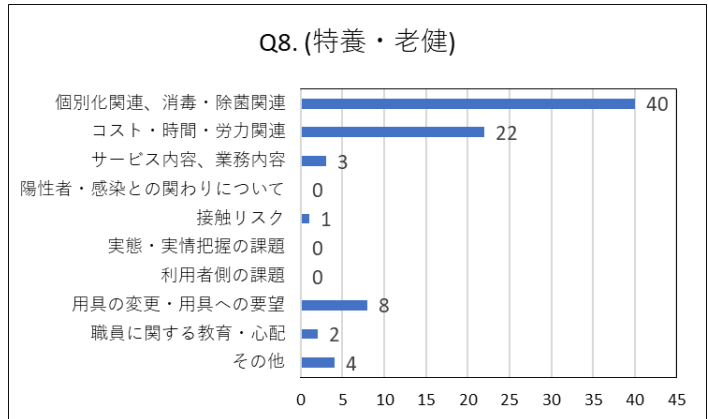
Q8記述内容(区分) (地域包括) (38)	記述数
個別化関連、消毒・除菌関連	20
コスト・時間・労力関連	0
サービス内容、業務内容	7
陽性者・感染との関わりについて	0
接触リスク	2
実態・実情把握の課題	1
利用者側の課題	4
用具の変更・用具への要望	0
職員に関する教育・心配	1
その他	3



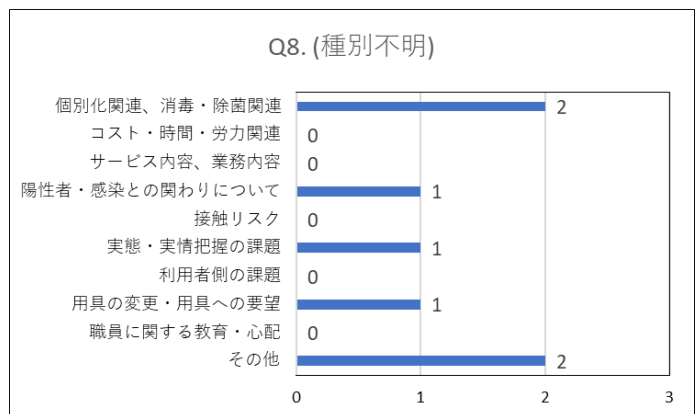
Q8記述内容(区分) (用具貸与) (96)	記述数
個別化関連、消毒・除菌関連	15
コスト・時間・労力関連	7
サービス内容、業務内容	16
陽性者・感染との関わりについて	17
接触リスク	14
実態・実情把握の課題	9
利用者側の課題	7
用具の変更・用具への要望	1
職員に関する教育・心配	4
その他	6



Q8記述内容(区分) (特養・老健) (80)	記述数
個別化関連、消毒・除菌関連	40
コスト・時間・労力関連	22
サービス内容、業務内容	3
陽性者・感染との関わりについて	0
接触リスク	1
実態・実情把握の課題	0
利用者側の課題	0
用具の変更・用具への要望	8
職員に関する教育・心配	2
その他	4



Q8記述内容(区分) (種別不明) (7)	記述数
個別化関連、消毒・除菌関連	2
コスト・時間・労力関連	0
サービス内容、業務内容	0
陽性者・感染との関わりについて	1
接触リスク	0
実態・実情把握の課題	1
利用者側の課題	0
用具の変更・用具への要望	1
職員に関する教育・心配	0
その他	2



<Q8 結果の傾向など>

福祉用具の感染症予防に取り組むうえでの課題について、全体で 225 件の記入があった。

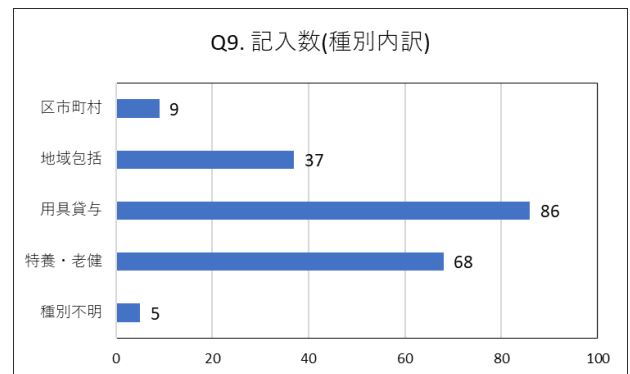
種別では「用具貸与」、「特養・老健」、「地域包括」の順で記入数が多かった。記入内容について、「特養・老健」は消毒や労力関連の内容、地域包括は消毒関連の内容に偏ったのに比べ、「用具貸与」は広い範囲からの課題が記入された。

【5】 これからの福祉用具の活用やあり方について

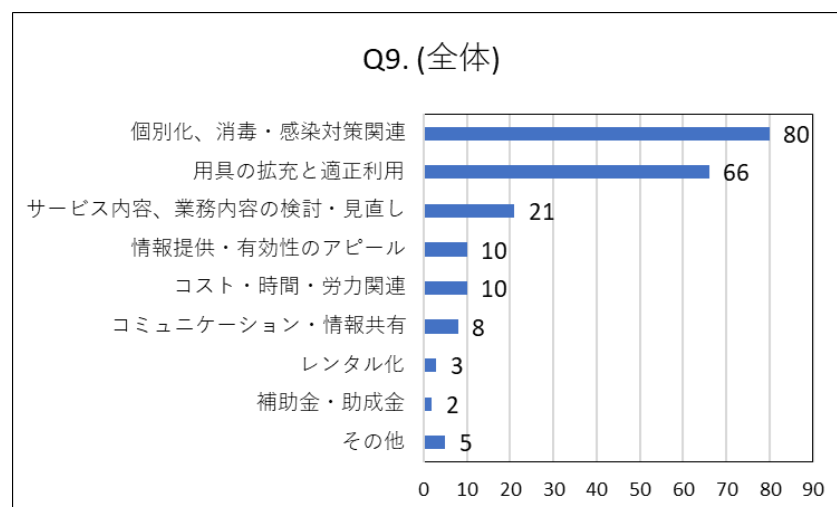
■Q9 「with コロナ時代」を見据えて、これからの福祉用具の活用やあり方について重要だ

と考えていることがありましたら、御自由にお書きください。

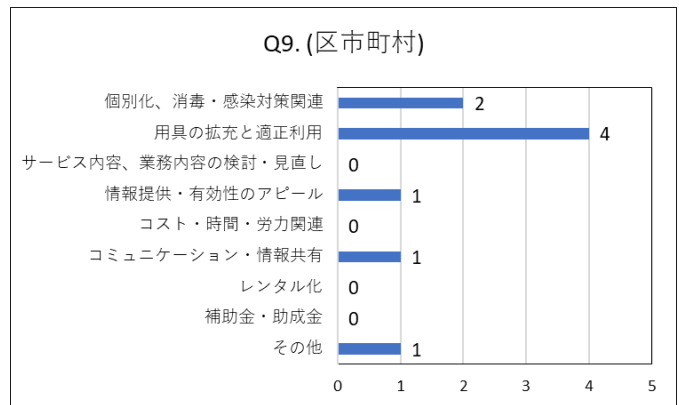
Q9記述数(種別内訳) (205)	記述数	割合
区市町村	9	4.4%
地域包括	37	18.0%
用具貸与	86	42.0%
特養・老健	68	33.2%
種別不明	5	2.4%



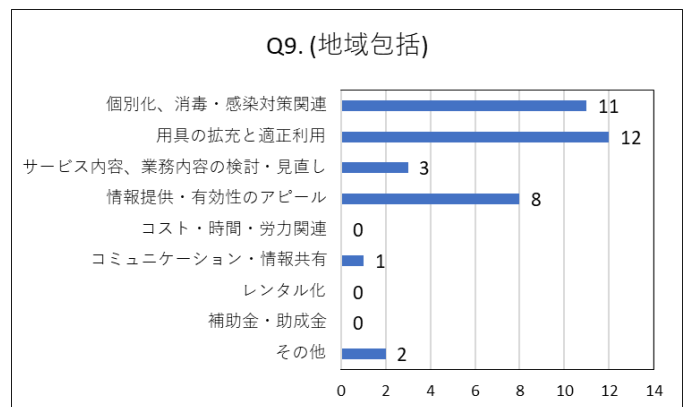
Q9記述内容(区分) (全体) (205)	記述数
個別化、消毒・感染対策関連	80
用具の拡充と適正利用	66
サービス内容、業務内容の検討・見直し	21
情報提供・有効性のアピール	10
コスト・時間・労力関連	10
コミュニケーション・情報共有	8
レンタル化	3
補助金・助成金	2
その他	5



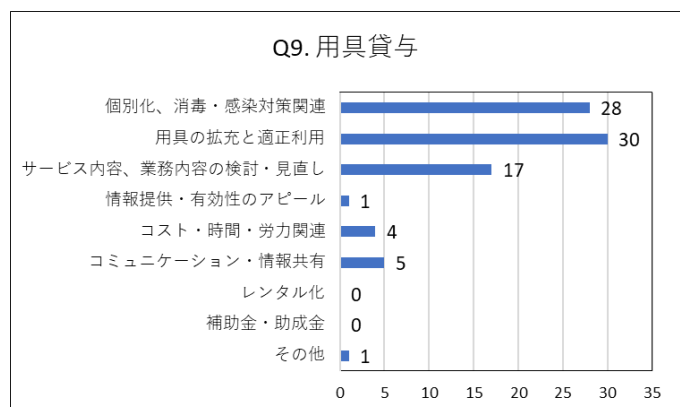
Q9記述内容(区分) (区市町村) (9)	記述数
個別化、消毒・感染対策関連	2
用具の拡充と適正利用	4
サービス内容、業務内容の検討・見直し	0
情報提供・有効性のアピール	1
コスト・時間・労力関連	0
コミュニケーション・情報共有	1
レンタル化	0
補助金・助成金	0
その他	1



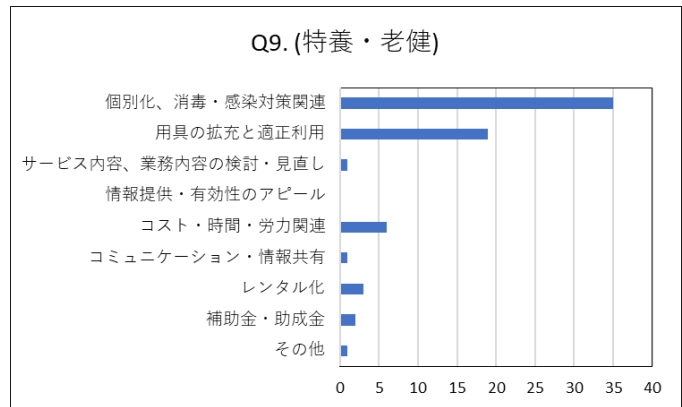
Q9記述内容(区分) (地域包括) (37)	記述数
個別化、消毒・感染対策関連	11
用具の拡充と適正利用	12
サービス内容、業務内容の検討・見直し	3
情報提供・有効性のアピール	8
コスト・時間・労力関連	0
コミュニケーション・情報共有	1
レンタル化	0
補助金・助成金	0
その他	2



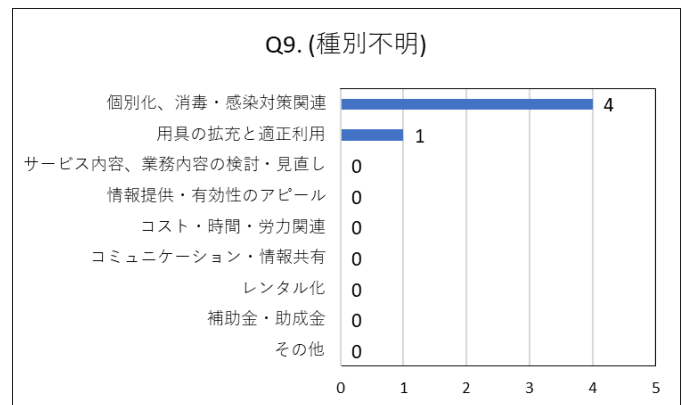
Q9記述内容(区分) (用具貸与) (86)	記述数
個別化、消毒・感染対策関連	28
用具の拡充と適正利用	30
サービス内容、業務内容の検討・見直し	17
情報提供・有効性のアピール	1
コスト・時間・労力関連	4
コミュニケーション・情報共有	5
レンタル化	0
補助金・助成金	0
その他	1



Q9記述内容(区分) (特養・老健) (68)	記述数
個別化、消毒・感染対策関連	35
用具の拡充と適正利用	19
サービス内容、業務内容の検討・見直し	1
情報提供・有効性のアピール	0
コスト・時間・労力関連	6
コミュニケーション・情報共有	1
レンタル化	3
補助金・助成金	2
その他	1



Q9記述内容(区分) (種別不明) (5)	記述数
個別化、消毒・感染対策関連	4
用具の拡充と適正利用	1
サービス内容、業務内容の検討・見直し	0
情報提供・有効性のアピール	0
コスト・時間・労力関連	0
コミュニケーション・情報共有	0
レンタル化	0
補助金・助成金	0
その他	0



<Q9 結果の傾向など>

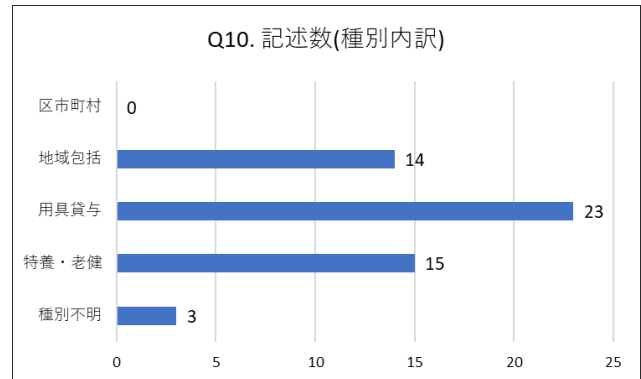
Q9) 「with コロナ時代」を見据えて、これからの福祉用具の活用やあり方における重要な点について、全体で 205 件の記入があった。

記入数は Q8 と同様、「用具貸与」、「特養・老健」、「地域包括」の順が多かった。記入内容について、こちらも Q8 同様、消毒、感染対策関連の記入が最も多かったが、今後、福祉用具の需要が高まっていくことを想定している記入も多く、「用具の進化と、正しい利活用」、「福祉用具の有効性のアピール」といったことを重要だとする記入も一定数あった。

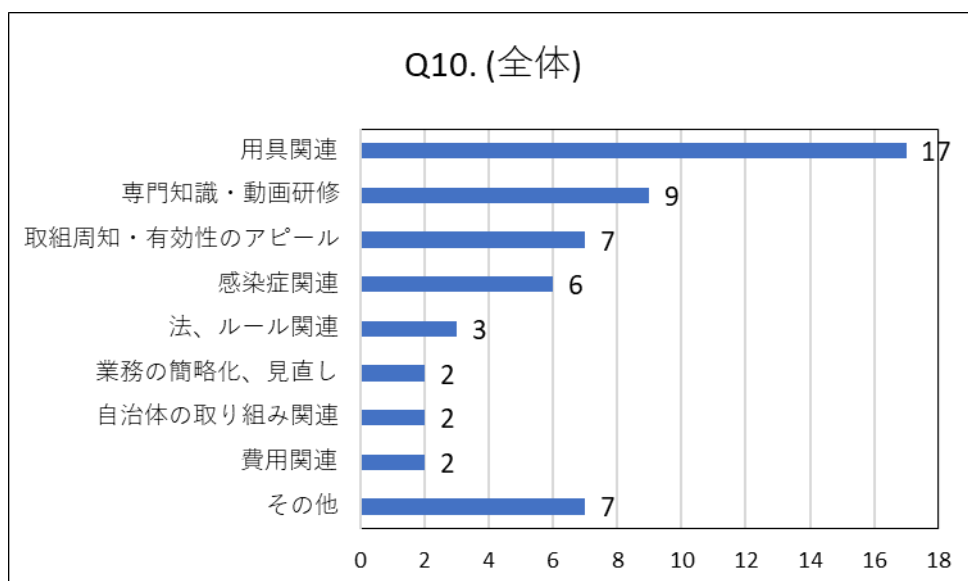
【6】財団からの情報提供について

■Q10 当財団では、福祉用具に関する様々な情報提供を行っています。今後、都民や事業者の方々に提供すると役立つと思われる情報がありましたら、御記入ください。感染症対策に関する内容でもそれ以外でも結構です。

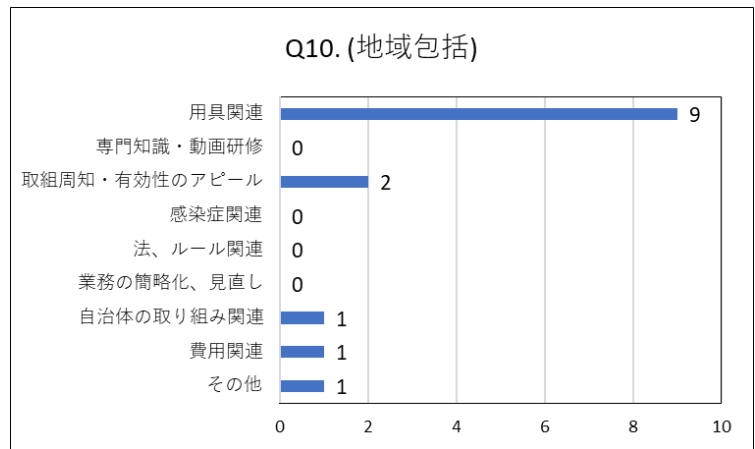
Q10記述数(種別内訳) (55)	記述数	割合
区市町村	0	0.0%
地域包括	14	25.5%
用具貸与	23	41.8%
特養・老健	15	27.3%
種別不明	3	5.5%



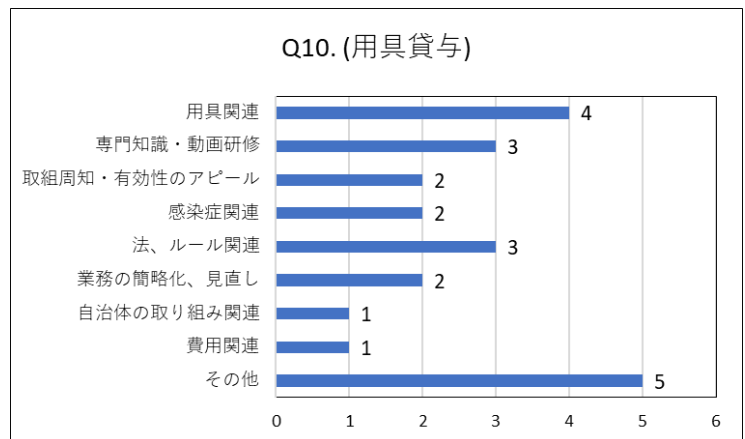
Q10記述内容(区分) (全体) (55)	記述数
用具関連	17
専門知識・動画研修	9
取組周知・有効性のアピール	7
感染症関連	6
法、ルール関連	3
業務の簡略化、見直し	2
自治体の取り組み関連	2
費用関連	2
その他	7



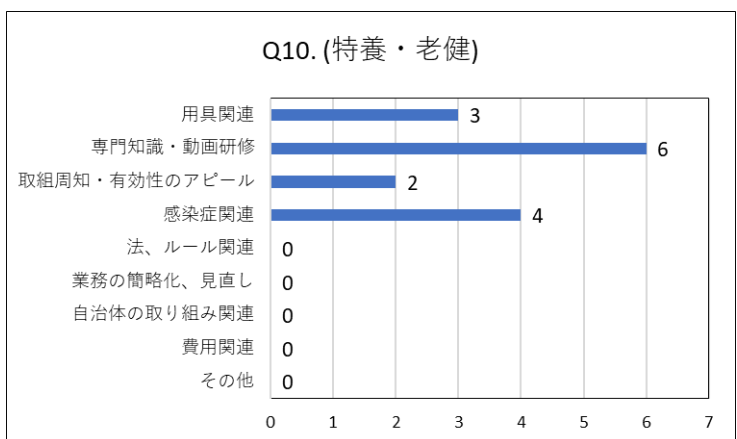
Q10記述内容(区分) (地域包括) (14)	記述数
用具関連	9
専門知識・動画研修	0
取組周知・有効性のアピール	2
感染症関連	0
法、ルール関連	0
業務の簡略化、見直し	0
自治体の取り組み関連	1
費用関連	1
その他	1



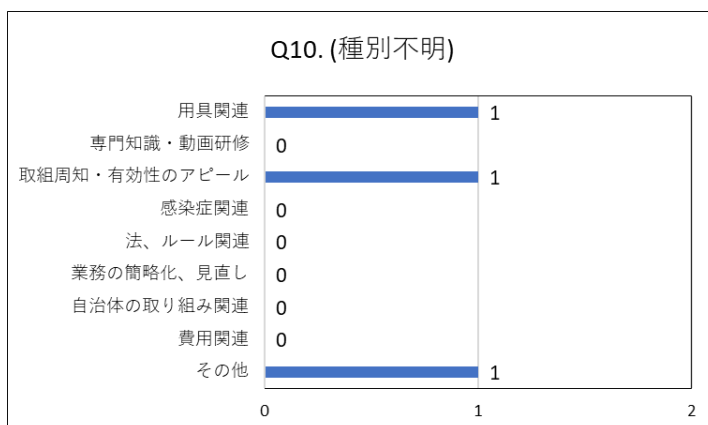
Q10記述内容(区分) (用具貸与) (23)	記述数
用具関連	4
専門知識・動画研修	3
取組周知・有効性のアピール	2
感染症関連	2
法、ルール関連	3
業務の簡略化、見直し	2
自治体の取り組み関連	1
費用関連	1
その他	5



Q10記述内容(区分) (特養・老健) (15)	記述数
用具関連	3
専門知識・動画研修	6
取組周知・有効性のアピール	2
感染症関連	4
法、ルール関連	0
業務の簡略化、見直し	0
自治体の取り組み関連	0
費用関連	0
その他	0



Q10記述内容(区分) (種別不明) (3)	記述数
用具関連	1
専門知識・動画研修	0
取組周知・有効性のアピール	1
感染症関連	0
法、ルール関連	0
業務の簡略化、見直し	0
自治体の取り組み関連	0
費用関連	0
その他	1



<Q10 結果の傾向など>

財団からの情報提供で役立つものについては、全体では用具そのものの情報が最も多い回答となった。また、合計は7件であるが、取組周知や有効性のアピールについては記入のあった種別全てから、役立つと思われる情報として挙げられた。「特養・老健」では、知識や学びにつながる情報提供が役立つ情報として6件、挙げられた。

■アンケート発送、回収、集計作業全体を通して

今回のアンケートの回収率は約30%となった。比較的短期間で、30%の回収率に至った要因として、Web回答を可能とした点が挙げられる。

今回、回答者のおよそ2/3がWebでの回答を選択した。Webでの回答回収は回収後の集計作業の時間短縮、集計時の転記ミスの発生防止といった効果にもつながる。今回の実施期間の中で、アクセスできないという問い合わせが1件あったが、それも含め、アクセスや回答入力で大きな混乱は発生しなかったと思われる。

現時点では、FAXの方が、回答しやすいという事業者も一定数あると思われるため、Webへの一本化はすぐにはできないかもしれないが、発生する課題を改善しながら、徐々にでも、アンケート調査のデジタル化が進んでいくと良いように思う。

III 巻末資料

1.調査票(依頼書 A4 サイズ、全3頁)

【アンケート調査用紙 1/3】


福祉用具に関する新型コロナウイルス感染症への対応に関するアンケート調査

アンケート調査御回答要領 以下のいずれかの方法で御回答ください。

1 インターネットによる回答

(1) URL : <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/tokyochiiki/yougu2020/>

(2) 「福ナビ とうきょう福祉ナビゲーション」⇒「福祉用具について」⇒「福祉用具トップへ」⇒お知らせ「アンケートの回答はこちらから」

(3) QRコード  (1)~(3)共通 ユーザーID : fukushi
パスワード : zaidant2020

2 FAXによる回答 FAX番号 **03-3234-4644** (送信間違いに御注意ください)

貴団体(部署)の種別をお教えてください。(該当する番号に○を付けてください)

ご所属種別	1 区市町村	2 地域包括支援センター	3 福祉用具貸与事業所
	4 指定介護老人福祉施設(特養)または介護老人保健施設		

【1】福祉用具の利用状況について

貴団体(部署)のご利用者に関し、令和2年4月から令和3年1月までの福祉用具の利用の状況について、前年同時期と比して、以下のような感染症の影響がありましたか。該当する番号に○をつけてください。

Q1 福祉用具の全般的な利用(利用依頼件数、取扱量など)について変化はありましたか ① 増えた ② 減った ③ 変わらない ④ わからない
Q2 特定の福祉用具の利用について変化はありましたか ① 増えた ② 減った ③ 変わらない ④ わからない
Q2-2 Q2で①または②と回答した方へ ⇒ 変化のあった福祉用具は次のどれですか(複数回答可) ① 特殊寝台 ② 車いす ③ 杖・歩行器 ④ リフト ⑤ スライディングボード ⑥ スライディングシート ⑦ 入浴補助用具 ⑧ 排せつ補助用具 ⑨ 床ずれ防止用具 ⑩ その他 ()
Q3 問合せや質問(在宅利用者、施設入所者どちらでも)の頻度に変化はありましたか ① 増えた ② 減った ③ 変わらない ④ わからない
Q3-2 Q3で①と回答した方へ ⇒ どのような内容ですか(複数回答可) ① 福祉用具の消毒 ② 福祉用具の感染リスク ③ 事業者・施設の感染対策 ④ その他 ()
Q4 居宅訪問回数に変化はありましたか ① 増えた ② 減った ③ 変わらない
Q4-2 Q4で②と回答した方へ ⇒ 減った理由はどのようなことですか(複数回答可) ① 感染症拡大防止のための施設・事業所の方針 ② 利用者・家族の希望 ③ その他 ()

(続き)

(FAX 番号 03-3234-4644)

【アンケート調査用紙 2/3】

Q5 居宅利用者へのモニタリングの方法は変わりましたか(複数回答可) ①電話で行うようになった ②メール・SNSで行うようになった ③オンライン会議システムで行うようになった ④他職種と連携を取った ⑤特に変わらない ⑥その他 ()

【2】 福祉用具の取り扱いについて

Q6 現在、貴団体(部署)において、福祉用具の取り扱いについてどのような感染症予防対策を取っていますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1 消毒を感染症流行以前よりも徹底するようになった
2 施設内の福祉用具の個別化(用具を複数人に使わず一人のみに使用)を進めている
3 施設内の福祉用具を使う場所や動線を限定している
4 訪問や用具の搬送方法・ルートを工夫している
5 相談窓口や展示スペースに飛沫防止パネル等を設置した
6 特に実施していない
7 その他 ()

【3】 体制や環境整備について

Q7 貴団体(部署)において、令和2年4月から令和3年1月までの期間に、福祉用具の感染症予防のために、どのような体制や環境の整備を行いましたか。該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

1 業務マニュアルを見直した、或いは、新たに作成した
2 新たに専門組織を立ち上げた、或いは感染予防担当者を配置した
3 感染症予防のセミナー(Webでも可)に職員を参加させた
4 感染症予防に必要な資材を確保した
5 施設改修をした
5-2 5に○をつけた方へ ⇒ どのような内容ですか ()
6 特に新たな体制や環境の整備は行っていない
6-2 6に○をつけた方へ ⇒ どのような理由からですか(複数回答可) ①これまでの対応で十分である ②効果ある対策がわからない ③日常業務が多忙で余裕がない ④人員、予算が十分でない ⑤その他 ()
7 その他 ()

(続き)

(FAX 番号 03-3234-4644)

【アンケート調査用紙 3/3】

【4】福祉用具の感染予防についての課題

Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえで課題がありましたら、お書きください。

[]

【5】これからの福祉用具の活用やあり方について

Q9 「with コロナ時代」を見据えて、これからの福祉用具の活用やあり方について重要だと考えていることがありましたら、御自由にお書きください。

[]

【6】財団からの情報提供について

Q10 当財団では、福祉用具に関する様々な情報提供を行っています。今後、都民や事業者の方々に提供すると役立つと思われる情報がありましたら、御記入ください。感染症対策に関する内容でもそれ以外の内容でも結構です。

【御参考：当財団ホームページ / 福ナビ とうきょう福祉ナビゲーション 福祉用具トップ】

<http://www.fukushizaidan.jp/203fukushiyougu/index.html>

http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/kiki/hukusikiki_menu.html

[]

アンケートは以上です。御協力どうもありがとうございました。

お手数ですが、3月17日(水)までにインターネットまたはFAXにて御回答下さい。

III 巻末資料

2.Q8、Q9、Q10 自由記述一覧

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【個別化、消毒・除菌関連】(78件)

No.	記述内容	種別
1	消毒の徹底	1区市町村
2	消毒を利用者にも指導する。指導してほしい。	2地域包括
3	使用ごとの消毒。	2地域包括
4	消毒。	2地域包括
5	自社での福祉用具、特に入浴関係については個別対応ができないものについての消毒。	2地域包括
6	施設の場合でしたら、更に徹底が必要だと思いますが、在宅では個別にアルコールなどで定期的に消毒するなどの指導が必要かもしれません。	2地域包括
7	消毒の徹底。	2地域包括
8	車イス使用前後の消毒の徹底。	2地域包括
9	車いす等貸出品の感染症対策は、燻蒸設備が無い中で、返却時に次亜塩素酸水の噴霧、乾燥、清拭を行っているが、完全な対策になっているか不安が残る。(貴財団の車いす歩行車など外出用具の除菌方法は確認済み)	2地域包括
10	消毒を徹底させる。	2地域包括
11	展示貸出し備品の、貸出す際、引き上げの際の消毒を、より徹底していく。	2地域包括
12	複数人が同じ福祉用具を利用する際の感染症予防対策をどのようにしていくか。	2地域包括
13	レンタル品の福祉用具の消毒方法を各福祉用具業者から周知して頂けると幸いです。	2地域包括
14	消毒を行いながら感染予防を図っていく。	2地域包括
15	複数人数で使用した際の消毒の徹底	2地域包括
16	センターで一時貸し出しをしている車いすの消毒に気をつかうようになった。	2地域包括
17	福祉用具に触る人は限定されるが、それでも適宜消毒等の対策は必要と思います。	2地域包括
18	特に福祉用具にこだわらず、感染予防に使用したものは消毒する事の徹底が一番の取り組みになると思います。	2地域包括
19	新規の福祉用具貸与相談時に、消毒などの感染症対策を充分に行っているか不安の声がありました。	2地域包括
20	貸出用具の消毒方法。	2地域包括
21	救急時の対応用の車いすとトイレ内に見本として手すりを設置している。 利用後の消毒(次亜塩素酸)はかかさず、感染症対策に努めている。	2地域包括
22	用具搬入時の基本的なマスク・消毒等の徹底をする。	3用具貸与
23	アルコール消毒を多くした。	3用具貸与
24	特定福祉用具選定時に持っていくデモ品の消毒を徹底してからお客様宅へ持っていつている。※レンタル品は以前より消毒をし、袋に詰めて持っていつている。	3用具貸与
25	事業者の大小により対応は多少異なると思いますが、予防については充分すぎるほど気をつけてやります。	3用具貸与
26	完全な感染リスク0は難しいが、少しでもリスクを少なくできるように卸し業者の倉庫の衛生管理を徹底する。	3用具貸与
27	現在行っている、感染対策(消毒等)の継続を周知徹底する事。	3用具貸与

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【個別化、消毒・除菌関連つづき】(78件)

No	記述内容	種別
28	貸し出した後の用具の除菌が、独居や寝たきりの場合に対応が難しいのではないかと思う	3用具貸与
29	一日に複数件ご自宅をまわる時がありますので、入る前と出た時の消毒の徹底と車内の除菌。	3用具貸与
30	弊社は高齢者日常生活用具給付事業の給付事業者として、お客様へ新品未使用品を納品しておりますが、コロナウイルスが流行してからは納品前に消毒作業など今まで以上に気をつけるようになりました。お客様へ納品してからは、お客様自身で消毒作業などをしなくてはならないので、そこまでフォローしきれないのが現状です。	3用具貸与
31	各社員、業務中はマスクを着用し、外出から戻る際は手洗い・消毒を徹底している。	3用具貸与
32	貸出前・引上げ後の消毒の徹底。	3用具貸与
33	用具の搬入や搬出時の人員および用具の消毒の徹底。	3用具貸与
34	大掛かりな装置を使用せずにきちんと消毒ができる方法を確認したい。主に訪問点検などでの措置に使用したい。	3用具貸与
35	複数人で使用する場合などの消毒、清潔をどう保っていけばよいか。	3用具貸与
36	用具の納品時は、消毒済みの用具を袋のままお届けする。回収時も同様。訪問時は必ず体温測定・手指消毒をする。	3用具貸与
37	感染予防の為、個々の対応の為、個数の確保が必要	4特養・老健
38	個別に使用できるような数量の確保、それに伴うスペースの確保	4特養・老健
39	利用を固定にするので台数が足りなくなった。	4特養・老健
40	福祉用具自体の値段が高いため、個別に購入するのも限界があり十分な数をそろえるのは難しいと感じた。また、外出やレクなどの外部刺激の機会も減少したことにより、認知機能の低下を少なからず全員がきたしており、不穏や危険行動も多くセンサーなど感染に関係ない福祉用具での出費も増えている。	4特養・老健
41	できる限り、本人に合ったものを個人で使用していくようにすれば、感染のリスクを軽減できるが、施設入所者の福祉用具は施設で用意するため、個人にあったものを専用で貸し出しするほどの余裕がない。	4特養・老健
42	消毒の徹底、個別化の強化	4特養・老健
43	次亜塩素酸やアルコールでの消毒が適さない用具がある。 1つの機械を多利用者でシェアしなければならない事がある。	4特養・老健
44	用具類の消毒が必須となっているが、材質によっては劣化のスピードを速めてしまったり、機器の故障の原因にならないか疑問を感じる。用具の個別化が利用者への費用負担増にもなるのではないか。	4特養・老健
45	福祉用具の個別使用は困難な為、使いまわすことになるが消毒が不十分な場合がある。	4特養・老健
46	消毒方法の複雑化(次亜塩素酸ナトリウム使用不可のものへの対応)。 用具、機器数の確保。	4特養・老健
47	個別化・感染対策の徹底	4特養・老健
48	福祉用具の個別利用の推進 福祉用具の清潔維持 定期的な清掃と消毒実施に向けての体制構築。	4特養・老健
49	個別に使用する為、ある程度数を揃える必要があること。 消毒に次亜塩素酸が使えないものもあり、適した消毒液を用意すること。	4特養・老健
50	福祉用具(共有)の消毒方法について調べる必要がある	4特養・老健
51	福祉用具の定期的な消毒 消毒管理の担当について	4特養・老健
52	用具の消毒に関して、アルコールで消毒すると曇ってしまう等のもこともあり、色々検討し、対応しています。	4特養・老健

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【個別化、消毒・除菌関連つづき】(78件)

No	記述内容	種別
53	今回のアンケートをみて、リフト、スライドボード等にもアルコール消毒などの対応が必要なのか、考えさせられた(現在は毎回の消毒はしていない) 触る職員は手指消毒を徹底している。福祉用具にも毎回の消毒は必要なのだろうか・・・。	4特養・老健
54	福祉用具の清潔を保てるように管理をしていく。	4特養・老健
55	アルコール消毒の徹底	4特養・老健
56	消毒の周知徹底をいかに進めていくか	4特養・老健
57	施設内で共用利用するものでは、スライディングシートなどあります。消毒の徹底を行っています。個別に準備することは現実的ではないと思われます。	4特養・老健
58	消毒の種類と頻度。	4特養・老健
59	消毒。	4特養・老健
60	全てにおいて清潔を保持することは、感染防止対策につながるため、生活していくうえで不可欠な福祉用具の点検とメンテナンスを徹底していくこと。	4特養・老健
61	施設の場合、特定の福祉用具多数のご入居者で使用する事が多いため、使用後のアルコール消毒を徹底する必要があります。	4特養・老健
62	入居者様が共有で使用しているものに関して消毒など、感染予防対策徹底をすること。	4特養・老健
63	各福祉器具共に消毒対策の検討等。	4特養・老健
64	例えば車椅子介助でも複数人を連続して介助する場面がある。現時点では職員各々が「ワンケア・ワン手洗い、消毒」を実施していくしかないが、介護の状況としては困難な場合がある。	4特養・老健
65	消毒剤などの安定的な確保。	4特養・老健
66	移乗リフトなどの大型の機器については現状さほど消毒などに意識が向いていないと思われます。フロア内の手で触れる箇所の消毒や職員の手洗いうがいなどはしっかり行っていると思いますが、こうした機器も消毒について実施するようにはしていく必要があると思います。	4特養・老健
67	複数名が使う福祉用具についての簡易的な消毒に関して、どの程度まで実施すれば良いのか迷うときがある。	4特養・老健
68	使用後は消毒をするように習慣化したい。ルーチン業務で一日が終わってしまっていて、新しい事への取り組みが難しい。福祉用具の管理をする職員を決めたほうがよいのか検討する。	4特養・老健
69	スライディングボードや床壮行式リフトも個人限定ではなく共同で使用しているため、汚染時の消毒や細目な交換が追い付いていない。	4特養・老健
70	都度消毒という方法以外に、よりよい消毒、感染症予防法があればよい。	4特養・老健
71	定期的な消毒、清掃の実施が欠かせない。	4特養・老健
72	福祉用具利用毎の消毒の手間の増加。	4特養・老健
73	今までより、こまめに消毒を行うことにより通常業務が疎かにならないよう人員整備が必要。	4特養・老健
74	ベッド等の福祉用具の消毒作業に職員の手が取られてしまう。	4特養・老健
75	通院などから戻ってきた際に、車いすの消毒をすべきなのか考えましたが、そこまでは出来ず、ハンドル部分程度、消毒をしています。	4特養・老健
76	複数人に同一用具を使用することは、減らせても、無くす事はできません。やはり原点は使用後の消毒などかと思いますがどこまでやれば適切かが、わからないので業務量は増えている状況です。どこかで、どこまでやれば適切という線引きがあるといいのかなと感じてしまいます。	4特養・老健
77	意識の低下することなく、消毒をこまめに行い感染予防を行う。	5種別不明
78	消毒液による製品の劣化が気になります。	5種別不明

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【コスト・時間・労力関連】(29件)

No	記述内容	種別
1	月に100件以上訪問することもあるため、感染対策に限界がある。	3用具貸与
2	限界がある。お金がかかりすぎる	3用具貸与
3	納品・回収など消毒等に掛かる費用負担が大きい。	3用具貸与
4	人員や時間の確保の為資金が必要。	3用具貸与
5	福祉用具納品時(梱包してあるものも現地開封後)、引き上げ時に消毒をするので、納受品に時間がかかるようになった。感染者宅の緊急のレンタル上げを受けにくくなった。しばらく日数をおいて引上げをしている。	3用具貸与
6	商品スペースの確保	3用具貸与
7	感染予防対策に今まで以上に時間を使い、通常業務に支障が出ないか心配です。	3用具貸与
8	汚染時の取扱いに手間がかかること	4特養・老健
9	日常的に多くの人に触れる手すりやドア等は消毒を実施できているが、福祉用具にまでは手がまわらない状況にある。	4特養・老健
10	マンパワーの問題もあり、全てに完全に手を伸ばすことは難しいため、必須な点、方法を見極めていく必要がある。	4特養・老健
11	限られた用具数で使い回さざるを得ない。	4特養・老健
12	感染予防のためには共有物を減らすことが大切だが、予算の関係もあり、多くの用具を揃えることが困難であり、どうしても共有してしまう事がある。	4特養・老健
13	消毒の手間時間がかかる 職員に周知しても実践が不十分に感じている。	4特養・老健
14	通常業務にさらに消毒などの追加的業務が発生することは職員配置上の問題から困難である。	4特養・老健
15	福祉用具消毒、洗浄時の代替用具	4特養・老健
16	福祉用具を複数の利用者が使用した場合、その都度消毒をすることになるため、通常より時間がかかること、それから消毒をすることで用具がはやく傷むのではないかと考える。	4特養・老健
17	予算等の関係上、共有することが多い。(個人専用にはできない)	4特養・老健
18	福祉用具の消毒に係る時間と手間が介護職員の負担になっている。	4特養・老健
19	洗浄・消毒の負担が軽減できればと思います。	4特養・老健
20	都度消毒を実施しており、業務量が増大。	4特養・老健
21	入所施設のため、機器の種類によっては一つのを複数の入所者に使いまわすことがありましたが、コロナ禍では、その都度、消毒をしなければならない手間を考え、できるだけ入所者固定で使用しています。しかし、入所者の状態像変化や重度化に伴い、福祉機器も多様なものが必要となり、それを入所者人数分そろえるのは、経営状態を圧迫しています。	4特養・老健
22	予防のための消毒等にかかる時間、物資、労力等が大変(人物金)	4特養・老健
23	定期的に福祉用具の清掃を行いたいが、人力的に困難である。	4特養・老健
24	感染対策物品高騰による費用の増大	4特養・老健
25	限られた個数の中で感染予防に取り組む難しさがある。必要な個数を準備するためには、予算と保管スペースに課題がある。	4特養・老健
26	完全な個別対応品には、購入の費用不足 消毒の手間がかかる	4特養・老健
27	車いすの個別化が望ましいが予算の関係で難しい。	4特養・老健
28	予防策を継続するうえでのコストの増。	4特養・老健
29	購入費用や収納場所の問題。	4特養・老健

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【サービス内容、業務内容】(26件)

No.	記述内容	種別
1	当包括ではターミナルや臨時短期利用、購入までの期間利用への無償貸し出しを行ってきたが、ニーズはあるものの管理体制や役割から今後行う必要があるのか疑問。	2地域包括
2	包括からのデモ品貸し出しは極力控えるようにしている。	2地域包括
3	訪問回数が減っている中で効果的に安全に用具利用が出来るモニタリング方法。さらに他事業所との連携が必要。	2地域包括
4	直接、肌に当たる物品については専門業者へ依頼している。消毒後までは貸し出しが出来ない状況であり、在庫の確保が難しい。	2地域包括
5	施設内の手すりや椅子テーブルなども、基本一人の相談が終了したら消毒します。その分、時間と手間はかかります。相談業務が込み合ってくると待ち時間等も長くなり、相談者に負担がかかります。感染症予防のためとご理解はいただいております。	2地域包括
6	福祉用具のアンケートであるので、いたしかたなく思いつつも、福祉用具という点でとらえず、全体像として取り組む必要があると思います。別にコロナがあることで用具が壊れやすくなる、などではないので。	2地域包括
7	飛沫防止のパーテーション設置など安心して相談して下さるように対応を行っていますが、充分かが不安は続いている。	2地域包括
8	「感染症対応ガイド」にしたがい、対策をきちんと実行することで感染症リスクを最小限に抑えていく。	3用具貸与
9	利用者が逝去された際、新型コロナに感染していた可能性がある場合の回収手順などが明確でない。例)“事業所判断で逝去から2週間は回収しない”など	3用具貸与
10	モニタリングは、基本電話対応としているが、往訪と同様不在や聞き取りにくさ等があり、相当時間がかかっているのが現状。コロナ前後に関係なく事業所に負担がかかる大きな要因である。モニタリングには相当のコストがかかっており、無償での義務化は机上の論理と考えられる。福祉用具事業採算を考えるうえでの最大のネックかと思われ、早期に法改正を望む。	3用具貸与
11	弊社、人手が足りず、営業部が用具の手配・配送・ご利用者様への設置を行っているため、ご高齢の方やご家族・ケアマネージャーに移さない体制や個々の体調管理の徹底が課題です。	3用具貸与
12	デモ品の取り扱い範囲の限定。特にポータブルトイレのデモはリスクが高く(コロナ以外にも)、営業手法として実施している事業所もあるが適切ではないと考える。条例で禁止にした方が良い。	3用具貸与
13	訪問時または帰社時の手洗いうがいの励行、手指消毒の徹底、蜜を避ける、長時間滞在をしない、訪問時の時間帯をずらす。	3用具貸与
14	福祉用具が必要だけど、本人家族では必要と判断できないケース。今までは様々な職種が訪問をし聴聞・アセスメントの中で必要性を理解してもらっていたが、現状ケアマネ自身も訪問が出来ておらず、気付いた時には今すぐに用具が必要ととにかく急ぎ案件が増大している。何とか利用者とは簡易で繋がれるツール開発を期待します。	3用具貸与
15	通勤時の訪問	3用具貸与

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【サービス内容、業務内容つづき】(26件)

No.	記述内容	種別
16	訪問時の感染対策、回収後の社内消毒、点検は電話だけでの実施は困難。	3用具貸与
17	福祉用具での感染予防とは？福祉用具からコロナウイルスが発生しているわけではないので、身の回りのものと同じく、利用者本人、利用者に係る者がどのように除菌等の感染予防しているかによるのではないのでしょうか。車椅子や杖、歩行車なども靴や上着などと同じく屋外で使用したのであれば除菌スプレーや相応の除菌をしていただかなくては菌を屋内に持ち込んでしまうと思います。福祉用具とくくるのではなく身の回りのものと同じく感染リスクを下げる対応をすべてにさせていただかなくてはけません。	3用具貸与
18	メーカー等と相談し、コロナ感染の方の福祉用具の引取りのマニュアル等が必要と感じました。	3用具貸与
19	コロナ感染も含め、感染症に対する情報交換	3用具貸与
20	回収で在宅に伺う際に手指消毒や手袋と予防・感染拡大防止は講じているが、決まったマニュアルがないため、正解がわからない。	3用具貸与
21	施設内などで不特定多数の方々が使用する場合は、感染リスクが高いと感じる。	3用具貸与
22	モニタリング訪問等、不可視の事象であり、安全性を判断しづらい	3用具貸与
23	訪問は、避けられないので、予防対策をしても濃厚接触になってしまうことも避けられないので、徹底してもおわりもなくこれであるのか不安になることがあります	3用具貸与
24	ユニットが閉鎖した場合、福祉用具や感染キットを配備するが、どれだけ足りなくなるか不明(まだ事案がないため)。	4特養・老健
25	清掃についてのマニュアルはありますが、感染症対策としてはありませんので、事例などができると参考にできると思います。	4特養・老健
26	特殊入浴おける感染症対策について。	4特養・老健

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【陽性者・感染との関わりについて】(18件)

No.	記述内容	種別
1	感染した際に、他の職員を含め、どのようにフォローしていくか。	3用具貸与
2	従業員がコロナに感染したときの手順について。	3用具貸与
3	社員の感染予防対策はできる限り行っているが、最近になって、利用者が退院後感染が判明したり、訪問リハビリのスタッフの感染により利用者が濃厚接触者になった事例が出ている。担当社員が感染はせずとも、出勤を控えたりしたので、業務をカバーするために大変だった。福祉用具は訪問して対応しないわけにはいかないので、感染しないように気をつけるしかない。	3用具貸与
4	コロナ感染されてしまったお客様の所に、情報が届かないまま訪問してしまうケースがある。 コロナ感染されてしまったお客様のレンタルされていた商品を引き上げる際、何日後訪問すれば安全性が保てるか。	3用具貸与
5	実際に訪問した後にお客様がPCR検査⇒陽性と出て現場の対応で苦勞したり、濃厚接触者になったりして精神的に疲れる。	3用具貸与
6	陽性者の解約引取商品の取り扱い方法	3用具貸与
7	コロナ罹患者への納品対応。退院時の検査にて陰性確認しない以上、エビデンスで証明されていても訪問したくないのが本音。	3用具貸与
8	感染利用者にレンタルいただいていた福祉用具の回収方法について。	3用具貸与
9	濃厚接触者の定義(基準)が曖昧。濃厚接触者(疑義)が発生している施設への搬入・搬出。	3用具貸与
10	感染者が利用した用具の引き揚げ手順	3用具貸与
11	罹患した利用者が利用していた福祉用具がどの程度感染リスクがあるか科学的根拠がないので、対応に苦慮する。	3用具貸与
12	解約引き上げ時には、コロナ感染者ではないことを確認して引上げ。	3用具貸与
13	感染者が利用していた用具の取り扱いについて、他引取品と車両混在を避けたり、洗浄消毒工場への直送を実施しており、必要以上に時間、コストがかかっている。	3用具貸与
14	感染され、契約終了となった利用者の用具回収の方法について。	3用具貸与
15	現状、手洗い・消毒・マスク・グローブ等の対応でも十分に予防可能と判断している部分があります。ただ、陽性患者様のお宅訪問等の際はどこまでの徹底が適切かが分りきっていない部分があります。特に、感染による死亡後の引き上げについてどの程度の期間をあければ問題がないのか、即日引き上げを希望される場合可能であれば防護服にて対応したいのですが、お客様も周りの目が為、完全防護服での対応の厳しさもあります。現状はある程度の期間をあけて対応出来ておりますが、その部分が社内として課題になっております。	3用具貸与
16	コロナ罹患者様の情報が少ない場合にこちら側の防止ができない。	3用具貸与
17	熱発された利用者宅への搬入出の見極め。	3用具貸与
18	コロナ患者が使用したベッドなどのレンタル品回収について統一されたガイドラインが必要。(作業者の安全のため重装備で訪問させたいが、本人や家族に説明しづらいため)	5種別不明

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【接触リスク】(17件)

No.	記述内容	種別
1	頻繁な来所による営業は避けていただきたい。	2地域包括
2	サービス担当者会議、搬入出、モニタリング等、利用者と対面する機会が多いため、感染予防のより強化が大切だと考えます。	2地域包括
3	納品、引取時の利用者や家族に接触する時の対策。	3用具貸与
4	物流なので人手が動くことになります。	3用具貸与
5	リモートでは不可能な業務(納品等)なので、日常生活で常に意識する。	3用具貸与
6	訪問している、滞在している(出来る)時間等、明確な数字等無い為、不安に感じる利用者もあり、今後のモニタリングや相談時間が課題と感じる。	3用具貸与
7	利用者様宅への訪問。こちら側は感染対策を行っているが、利用者様が行っていないケースをどうするか。	3用具貸与
8	極力、密の回避。	3用具貸与
9	感染症対策のため定期モニタリングの実施が難しい。	3用具貸与
10	モニタリングは基本電話で行う。訪問の際は消毒やマスクの感染予防徹底。複数での訪問は避け、なるべく少人数での訪問。	3用具貸与
11	利用者宅で商品を試したりするのが長時間になるため検討中。	3用具貸与
12	長時間のご訪問滞在は避ける。	3用具貸与
13	サービス担当者会議などの簡略化を考えたい。	3用具貸与
14	特に新規の利用者の場合、自宅の現地調査などは欠くことはできないため、感染予防対策をしっかりとったうえで訪問するように心がけている。病院への搬入出は必ずエントランスで行うようにしている。	3用具貸与
15	フィッティングなどは利用者直に話さなければならないので、持ちこむリスクや、感染するリスクが高まる。	3用具貸与
16	デモ商品をお持ちしたときに利用者の方が直接触れてしまう機会が多い。毎回手指消毒していただいてから触れていただくが、時間のロスが大きい。デモの機会を減らしたいが、パンフレットだけの説明だと利用者の理解ができず難しい。	3用具貸与
17	設置型リフトなど、業者によるメンテナンス、点検があり、どうしても外部から施設へ入っていただく機会が出てくる。外部からの感染を防止していく為、業者の方の感染有無には注意が必要である。また、共有でのスライディングボード等は個別に用意し対応が必要である。個別で用意できていない事あり、購入の検討をしていく。	4特養・老健

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【実態・実情把握の課題】(12件)

No.	記述内容	種別
1	福祉用具展示場の展示品を毎日消毒しているが、完全に防止できているのかわからない。電話やオンライン等でモニタリングをする場合、十分に利用状況等を把握できない。	1区市町村
2	リハビリ病院の家屋調査の行い方検討。 入院中の利用者の状況を家族が面会できないので把握できていない。 オンラインで本人の様子が確認できるようにしてほしい。	2地域包括
3	難聴の方への用具の説明やコミュニケーションがとりづらくなった(耳のそばで大きな声が出せない)	3用具貸与
4	在宅訪問(福祉用具の納入、引き上げ)の際に、個人情報の保護等により、ご利用者が感染状況(感染した、感染していない)が掴めないケースがあるが、こちらから確認を取ることが憚られることがあるので、連携先の関係者には情報共有がされる必要がある。もし、情報共有がない場合は当社だけでなく、卸業者にも大きな負担をかけてしまう。個人情報の保護と情報共有は契約書の中でもきちんと記載しているが、このようなケースに対して、積極的に質問することが容易でない気がします。	3用具貸与
5	福祉用具の回収時に、ご利用者様が感染しているかどうかの確認ができない場合がある。	3用具貸与
6	貸与品回収時の対応について感染者の疑いがあるかどうかの確認が難しい場合がある。	3用具貸与
7	福祉用具は利用者にとって日常生活の必需品なので、メンテナンスや修理対応は重要である。身体の接触を避けるために用具のみへの対応となりがちだが、利用者の直接の声を聴けないことは本来の福祉サービスの目標を達成できない。コロナ禍の中で、これをどのように解決するかが課題である。	3用具貸与
8	コロナ禍の中、訪問を控えるために用具の点検ができていない状況がある。	3用具貸与
9	利用者宅など訪問回数が減るため不具合などの早期発見が遅れないか心配である。 正確なアセスメントが取れないことがある。	3用具貸与
10	体調不良で福祉用具が必要になった時、利用者宅訪問前に体調の聞き取りが十分にできているか分からないことが不安でもあり課題でもあると考える。	3用具貸与
11	訪問機会が減り、利用者や家族との細かなやり取りができなくなった。	3用具貸与
12	自宅への訪問を控えてほしいとの依頼から、実態の把握が難しく、実際は生活に困りができていても、対応ができない自宅もある。	5種別不明

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【利用者側の課題】(11件)

No.	記述内容	種別
1	杖や歩行器を利用し、外出を楽しまれていた方々が、コロナ感染を恐れ外出しなくなり、体力、筋力が低下してきている。	2地域包括
2	家族同居が居る利用者の場合、共用の場所で使用する福祉用具の(例:トイレの手すり、浴室内手すり等) 消毒方法や、感染予防の対応は家族の生活習慣等で様々である。	2地域包括
3	福祉用具貸与している利用者の一部が、新型コロナウイルス感染症に過敏になっていて、貸与している用具の点検作業をずっと拒んでいる。	2地域包括
4	在宅では、ご本人・ご家族の感染対策に関する、知識や理解力に格差がある。	2地域包括
5	マスクをしていると話がよく聞こえなかったり、顔が見えない不安感がある様子。	3用具貸与
6	利用者へ納品・回収の際、熱があるか等お聞きするが、利用者によっては、ウソをつき、のちのち熱があったなどの報告をうけるケースなどがある。従業員に感染させない為には訪問時にウソをつかれると感染リスクが高まるのでどうしたらいいかが課題。	3用具貸与
7	コロナによる直接訪問できる方と、感染を警戒して訪問ができない方がでている。	3用具貸与
8	利用者様や利用者様家族がマスクを着けていないことが多い。そっと促すが気付かないことが多い。	3用具貸与
9	お客様のレンタルに対する(消毒)偏見	3用具貸与
10	全ての方ではなかったのですが、業者の出入りによる感染を危惧される方がいらっしたので、実際に用具の確認ができない事に対してどのようにすることが良いか検討していきたい。	3用具貸与
11	PCRを受けず疑いのある利用者からの商品引取や、疑いのある利用者と接触した職員の安全確保について、日々悩みながら判断している。	3用具貸与

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【用具の変更、用具への要望】(10件)

No.	記述内容	種別
1	抗ウイルスの機能を備えた用具の開発。	3用具貸与
2	清掃、消毒が行いやすい構造だとありがたいです。	4特養・老健
3	車いすや歩行器などの洗浄や消毒を行う機械があるとよいと思います。	4特養・老健
4	消毒しやすい器具の普及。	4特養・老健
5	福祉用具を購入する際、値段があまり変わらないのであれば、抗菌機能のある福祉用具を選択すると思う。	4特養・老健
6	個別使用が全員に行き渡ればよいとは思いますが、身体機能の衰えなどから使用機種の変更などが生じた際に、在庫を抱える余裕が無いので、安価なレンタルができればよいのかもしれない。	4特養・老健
7	車いすの消毒がしづらい型が多数あり、今後は感染予防を考えた車いすに変えていかなければならないと思った。	4特養・老健
8	アルコール消毒が可能な材質への変更(プラスチック、布などの素材では変色をきたす)。	4特養・老健
9	消毒には限界があるため車椅子など丸洗いできるものが今後必要になると思います。	4特養・老健
10	デイケアにおける入浴支援に対し、家庭環境に適應できる福祉用具の検討・導入を早急に進める必要を感じている。	5種別不明

【職員に関する教育、心配】(7件)

No.	記述内容	種別
1	職員への意識づけ。	2地域包括
2	情報共有、職員へのフォロー(心、体、待遇)。	3用具貸与
3	従業員の定期的PCR検査を実施する。	3用具貸与
4	福祉用具に関しては「触る」ことを避けることができないので、消毒しやすい素材や、抗菌素材のニーズが高まるのではないかと考えています。	3用具貸与
5	コロナ禍での精神面の疲労から社員の不安、士気軽減の対策。	3用具貸与
6	どんなことも習慣だと思うので、従事者の教育が課題	4特養・老健
7	福祉用具の消毒方法の説明や感染症予防に対する理解を福祉用具を提供する側からされる側へしっかり説明することが必要だと思う。	4特養・老健

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(記述内容ごと)

【その他】(17件)

No.	記述内容	種別
1	高齢者への感染は重度化するリスクが高いので、細心の注意を払う必要がある。	1区市町村
2	福祉用具そのものを取扱う部署ではありません	1区市町村
3	事業者さんがよく取り組んでくれています。	2地域包括
4	感染症予防と言っても、様々な種類や自宅内で利用する用具と外出時に利用するもので、その取扱いに違いが出てくるため、それぞれのマニュアルを整備していくとなると膨大な量になるものと思われ、むしろ感染予防の取り組みが大変になってしまう可能性があるものだと懸念しています。	2地域包括
5	この地域では、福祉用具レンタルに際し、感染症を心配する声は全くないため、課題は特 にない。	2地域包括
6	ベッドなどの搬入の際に業者さんも以前からの方なので十分やってくれました。	3用具貸与
7	感染経路を把握する。	3用具貸与
8	レンタル商品に関してはその都度消毒管理している為、コロナ以前から安心して使用でき ていると思う。	3用具貸与
9	オゾンも使っているが、福祉機器展ではオゾンは認められてないようだがどうしてだろう か。	3用具貸与
10	行政と事業所との連携が取りにくいように思いました。	3用具貸与
11	迅速で正確な情報収集と情報共有のためのシステムを作り、感染症の予防、拡大防止につ なげられるようにしたいと関係事業者とともに考えております。	3用具貸与
12	専門的な相談や、入院できるコロナ病床のバックアップ	4特養・老健
13	車椅子などは補助金に適用されないことに困っている。	4特養・老健
14	施設内で台数に限りがある福祉用具を使用している場合、感染予防のために使い回しがで きず困ったことがあった。(汚染等で洗濯し数日使用できない、台数に余剰がない)。	4特養・老健
15	介護に於いての1ケア1手洗い、消毒、マスク、ゴーグルの徹底が強化される中、福祉用具 についてはそれに比べ徹底的な徹底はされていません。福祉用具の数に限りがあるので、複 数の利用者に活用している現状です。今後、感染対策や衛生面を考えると改めて取り組ま なくてはいけない課題です。	4特養・老健
16	福祉用具事業所に任せており、対策をしている事業所を聞かれた時には伝えている。	5種別不明
17	倉庫での保管 デモ対応品の増加。	5種別不明

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【個別化、消毒・感染対策関連】(80件)

No	記述内容	種別
1	接触感染を防ぐため、使用後に消毒すること。	1区市町村
2	人の手洗いと同様に福祉用具もアルコール消毒等を徹底する必要がある。	1区市町村
3	徹底したコロナ対策。	2地域包括
4	訪問時のマスク着用等の感染症対策。	2地域包括
5	居宅に関してはリースを勧めている。 施設は車イス、杖等、個別で使用するものは個別化。	2地域包括
6	感染予防の徹底。	2地域包括
7	消毒対応等の徹底かと・・・。	2地域包括
8	抗菌対策や手入れや掃除のしやすさなどが求められていくと思う。	2地域包括
9	清潔が保てるか(掃除のしやすさやコンパクトにすることで室内で管理がしやすい等)。	2地域包括
10	他人が使ったモノに対して、敏感にとらえる人が出てくる。貸与の用具については、一定の消毒・洗浄の基準がはっきりしていた方が良いと思われる。	2地域包括
11	貸出用の物品の数量を限定すること。消毒の取り扱いについて責任者を設け、職員間での周知徹底すること。そのことに対し、予算が生じるため、予算計上すること。	2地域包括
12	抗菌されていると安心です。	2地域包括
13	適宜消毒や、大勢の人が触らないように個人に限定して利用するなど、利用の仕方は、感染症予防以外、普段でも参考になると思います。	2地域包括
14	選定や申込み、契約等を出来るだけ1度に出来るようにし、なるべく訪問の回数を減らす。	3用具貸与
15	ITでのやりとり、担会も良いと考えました。 研修も同様です。	3用具貸与
16	事業所内での身体、用具の消毒の徹底。 利用者宅訪問前後の手、用具の消毒の徹底。	3用具貸与
17	Web電話での現地確認。	3用具貸与
18	アルコール消毒。	3用具貸与
19	弱者対象なので、家庭訪問が全てと思うので、我が社は小さい事業所のため、Q8の通り(予防について、充分すぎるほど気をつけてやること)です。	3用具貸与
20	抗菌作用のある用具の開発。	3用具貸与

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【個別化、消毒・感染対策関連つづき】(80件)

No	記述内容	種別
21	抗菌・抗ウイルス製品の普及。	3用具貸与
22	定期モニタリングの際にしっかりとした衛生面の管理も欠かさず行っていく必要がある。	3用具貸与
23	利用者さんには、レンタル商品お届けの際に、用具の洗浄、消毒済の事を充分伝える必要あり。でないと、他人の使用したものを嫌がる人もいます。	3用具貸与
24	貸与品の感染に対する安全性を確保する事。	3用具貸与
25	福祉用具に関しては「触る」ことを避けることができないので、消毒しやすい素材や、抗菌素材のニーズが高まるのではないかと考えています。	3用具貸与
26	感染防止の徹底。	3用具貸与
27	点検時などベッド下や用具を触るので、相手に不快感を与えない程度に、マスク等感染予防と、点検時に簡易的な消毒・除菌を行う。	3用具貸与
28	予防の徹底。	3用具貸与
29	感染症が流行しているからと言って必要な福祉用具を導入しないわけにはいきません。ご利用者・事業所共に感染防止の意識をしっかりと持ちお互いに、うつさない・うつらないようしていかなければならない。	3用具貸与
30	今まで行ってきたことは、コロナだけでなく免疫力や抵抗力の低い、ご利用者様にとっては必要なことなので、続けることが重要。	3用具貸与
31	納品時の密、用具の除菌を徹底すること。	3用具貸与
32	レンタルではなく、一人ひとりが自身の福祉用具を持つことが理想です。ですが、それも難しいこともあると思います。利用される方が気持ちよく使えるように、消毒作業を徹底することはもちろん、レンタルの場合は、一緒にアルコールウェットティッシュなどをお渡しするというのも一つの手かな、と考えます。	3用具貸与
33	ご利用者様と接する機会が多いので出来る限り感染予防に気を付ける。	3用具貸与
34	材質の見直し。抗菌・メンテナンス。	3用具貸与
35	福祉用具使用方法の説明だけにとどまらず、消毒アピールも併せてきちんと行っていく必要があると考えます。	3用具貸与
36	除菌消毒等のできる様、備品は準備。	3用具貸与
37	今後も感染症対策でご利用者宅、事務所に入るときは必ず手指の消毒とマスクの着用を徹底する。	3用具貸与
38	マスク着用や消毒等、今迄の対策を続ける事でコロナ以外の感染も防げる。	3用具貸与
39	マスク着用と体温の確認。訪問前の除菌も必要。また福祉用具もしっかり梱包しコロナが付着しないようにする。	3用具貸与
40	今までにも、いろんな商品に「抗菌」がついていますが、福祉用具ではあまり目にしません。アルコール消毒も大変必要ですが、アルコールによる肌荒れに悩む方も多いため、少しでも減らしていけるとよいなと思います。	3用具貸与

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【個別化、消毒・感染対策関連つづき】(80件)

No	記述内容	種別
41	高齢者・疾患がある方が主なご利用者なので、コロナにならない・うつさない。が重要と考えます。	3用具貸与
42	各福祉用具の消毒方法のマニュアルがあったら便利だと思います。	4特養・老健
43	消毒しやすい、洗浄しやすい構造だと助かる。	4特養・老健
44	車イスの隙間の清掃がなかなかできないので、対応を考えてもらいたい。	4特養・老健
45	全てが消毒可能な材質であることを望みます。	4特養・老健
46	消毒のしやすさ。	4特養・老健
47	何より使い回しは感染の恐れが大です。個別化を強化していこうと思います。	4特養・老健
48	消毒や清掃しやすい形態や材質だと使用しやすく、衛生的にも良いと思う。	4特養・老健
49	共有ではなく、個別での使用が望ましいが、共有であっても個別であっても適宜消毒が必須と考えられる。	4特養・老健
50	在宅は個別使用ですが、施設内では物品によっては共用使用になるものがあります。消毒の徹底以外に、抗ウイルスか何か有効な対策があればと思います。	4特養・老健
51	目に見える形(消毒を行うと一時的にその場所の色が変わる等)消毒を行ったことがわかること。	4特養・老健
52	今以上に用具の個別化が必要。ICT、IoT化が進んでいく過程の中で、職員だけでなく利用者にも分かりやすい機器であってほしい(便利すぎて使いにくい、繊細過ぎて故障が多いなど)。人との接点を残しつつ感染予防ができる機器の活用が望ましいと思う。	4特養・老健
53	用具の個別化(自分専用)や用具の使用前後の手指・用具の消毒の徹底。屋内・屋外で使い分けられる用具は使い分ける。	4特養・老健
54	個別性。	4特養・老健
55	消毒。	4特養・老健
56	清潔保持と信頼。	4特養・老健
57	消毒、個別化。	4特養・老健
58	利用者の使用する福祉用具の個別化は考えていかなければと感じています。スライディングシートやカバーの簡易的商品など、最新の情報を取り入れながら試用を検討しています。	4特養・老健
59	福祉用具のほとんどが入所施設で準備しているが、できるだけ入所する本人に合う車いす等を利用者自身で用意できることが感染防止対策の意味も含めて必要になってくると考えている。	4特養・老健
60	費用や保管場所の問題があり、福祉用具を1人につき1つとはいかない状態であるので、器具の消毒が重要になってくる。消毒や洗浄がしやすい形態であることが重要になると考えられる。継ぎ目がないのと、不具合が出た場合には容易に交換できることは相反する事ではあるが、経済活動がままならない状態では、この2つの事が福祉用具に求められると思われる。クッションなどもなるべく洗浄・消毒しやすい材質が求められると考えられる。	4特養・老健

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【個別化、消毒・感染対策関連つづき】(80件)

No	記述内容	種別
61	福祉機器のハンドル部分を抗菌・抗ウイルス素材にして、感染のリスクが更に減ると良いと思う。	4特養・老健
62	感染症により人員不足になった場合、入居者様へのサービス提供レベルの維持と職員に掛かる心身の負担の軽減のためにも、福祉用具の活用は必要不可欠と考える。その方の身体状態に合わせて適切な用具を使用する個別性。共用使用機器の衛生面への配慮。	4特養・老健
63	共有使用は原則的に禁止とする。個人持ちにできるように補助制度を強化する。	4特養・老健
64	福祉用具の個別化の徹底。	4特養・老健
65	消毒のしやすさ。	4特養・老健
66	用具を共有する時の消毒。	4特養・老健
67	感染対策・抗菌・抗ウイルス対策・個別化。	4特養・老健
68	共有利用は避け、個人所有にするべきと思う。当施設では、実施済み。	4特養・老健
69	福祉用具が共用で使用されているものは、消毒等を都度行うことが重要で、できるだけ個別に占有して使用いただけること。	4特養・老健
70	清潔の保持。	4特養・老健
71	福祉用具の個別利用。清潔な状態の維持。小まめな清掃と消毒。	4特養・老健
72	個人専用の使用方法が衛生面や有事の際の情報の追跡が行いやすい。	4特養・老健
73	個別化。	4特養・老健
74	感染対策の観点からすれば、用具の個別化が望ましいが価格などにより、施設で複数購入することが困難なことが多い。	4特養・老健
75	福祉用具の個別化や共用する福祉用具の消毒作業が重要になると考えられる。	4特養・老健
76	感染症対策を行い、これからも用具が必要な方に、適切なタイミングで提供できる事かと思っています。	4特養・老健
77	福祉用具の消毒を徹底すること。	5種別不明
78	車いすや歩行器は外出用と室内用を分けて貸し出しできるようにすべき。室内にウイルスを持ち込まないことが重要と思われるが、タイヤなどの汚れは利用者や家族では落とし切ることが困難。	5種別不明
79	消毒方法の提示と、このような方法でいつ、消毒完了しているのかといった証明と提示を利用者に示したい(ホテルなどで便座などに消毒済となっているが、明確ではなくて掃除済という解釈だと思われるが、例えばの例でそういった事)。	5種別不明
80	器具の消毒の徹底 消毒物品の自宅内設置場所の確保。	5種別不明

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【用具の拡充と適正利用】(66件)

No	記述内容	種別
1	感染防止の観点から、外出や人との関わりを控える高齢者が増加していると考えます。居宅での時間が増えると居宅内での事故も増えると思うので、これを防ぐ為にも福祉用具の活用は重要だと思います。自粛による運動量の低下等、免疫力低下で逆効果も不安視されていることから、福祉用具選定の際には室内外で利用する用具を検討することが重要だと思います。	1区市町村
2	在宅で過ごされる方が増えることが予想されるので、これまで以上に、特殊寝台や付属品、車いすなどの需要が高まると思われます。	1区市町村
3	在宅介護を推進していく中で、感染症予防に引き続いて取り組んでいくほか、用具の拡充等の見直しと適正利用を図っていくことが重要だと考える。	1区市町村
4	福祉用具を安全に適切に利用するためには、継続的なモニタリングが大切であると考えます。「withコロナ時代」においても、アセスメント・モニタリングのうえで、適正な利用ができると良い。	1区市町村
5	外出機会の減少に伴うADLの低下があるため必要性は高くなる。	2地域包括
6	使えるものは使ってもらい、室内での運動機会確保につなげたい。	2地域包括
7	外出を控えることによって身体機能が低下し、歩行補助具が必要になった方が増えました。悪路でも歩きやすい歩行器などが増えると良いと思います。	2地域包括
8	誰でも使いやすい「誰でもタブレット」など集まらない事に対処出来るようにする。 耳の不自由な方へ、会話を文字化する端末の一般化(大きな声=飛沫が出やすいのと、そもそもコミュニケーションがとりにくいので)。	2地域包括
9	マスクやパネル等により声が聞こえにくくコミュニケーションがとりづらくなっている。それを緩和するような福祉用具があったらよいと思う。また、認知症でマスクを着けていられない方が多く、感染予防に対する不安が大きい。そういった方への感染予防に関する福祉用具があったら開発してもらいたい。	2地域包括
10	下肢筋力の低下などがあり歩行器のレンタルの希望が多い。	2地域包括
11	複数の人が利用する手すり等の素材の工夫(抗菌作用があるもの)消毒清掃しやすい素材のものでかつインテリアとしてもおしゃれな物が好まれるのではないかと思います。	2地域包括
12	コロナでの外出自粛による機能低下があるため、外出しやすい環境づくりやけがの防止の視点が重要。	2地域包括
13	消毒可能な素材や非接触スイッチ等、接触せずに使用できるもの。消毒しやすい形状。認知症高齢者や耳・目が不自由な方が使用しやすいコミュニケーションツール。	2地域包括

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【用具の拡充と適正利用つづき】(66件)

No	記述内容	種別
14	思うように外出や運動ができない状況なので、福祉用具を活用してADLの低下を防ぐことが重要。	2地域包括
15	今までの使用しやすいデザインの考え方の中に消毒しやすい構造も取り入れてほしい。(ユニバーサルデザイン)例えば使用した部位の分解ができて消毒しやすいサイズや形状等。	2地域包括
16	人との接触を避ける方も多く、物で寄り添う福祉用具を活用しての支援はますます増えると思う。	2地域包括
17	消毒予防の徹底をし、福祉用具を活用し、引きこもりや下肢能力低下を防ぐ。	3用具貸与
18	自宅内での生活時間が長くなるため、福祉用具の利用による自立支援の活用を詳しく説明していく。 (誤記修正)	3用具貸与
19	外出機会が減り、ADLは下がり、在宅、施設の需要が上がります。	3用具貸与
20	IoTの活用により、福祉用具を通して利用者さんのお体の状態を確認できる。	3用具貸与
21	コロナ感染を恐れてヘルパーさんやデイサービスを控えている方がおり、そういう方にこそ、自宅で福祉用具を上手に活用してADLの低下を予防できる効果があると感じています。	3用具貸与
22	自宅での生活を送る方が増えていくと思います。自宅での自立した生活を送る上で、福祉用具は欠かせないものとなると思われます。訪問が多くなるため、手指消毒、マスク、フェイスシールドを徹底して参ります。	3用具貸与
23	ベッドにセンサー等貸与事業所や居宅等に緊急連絡通報等出来る仕組み、AIやICT等の対応型福祉用具の発展が必要と感じます。	3用具貸与
24	車イスを室内室外共用での利用はできるだけ止めて、特に通院などでの利用が多い場合は、室内用と外出用と分けて使うことを提案。又、1台で共用する場合の消毒の重要性を説明する。	3用具貸与
25	人と接触しないよう、自力で移動できるように用具を用いる。	3用具貸与
26	施設やサービス等の集団で過ごす場所への出入りが厳しくなり、外出自粛によるADLの低下により、福祉用具の用途が増えると予想します。特に室内で使用できるものに需要が集中するのではと思います。	3用具貸与
27	介助者と密着しなくても使用できる用具。	3用具貸与
28	接触回数、接触時間を減らして行く為の電子化等(ITの活用)。	3用具貸与

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【用具の拡充と適正利用つづき】(66件)

No	記述内容	種別
29	利用者が減った要因は感染することが怖くデイサービスに行くことや外出することが難しく、自宅に一人きりにさせることが出来ないために施設等に入所された方がほとんどです。自宅で生活するにあたり福祉用具は無くしてはならないものです。介護保険でレンタルできない双方向通信が可能な機器や排泄感知、バイタルなどをモニタリングできるものなどがあれば、画面越しではありますが家族と食事を食べたり、外出困難な生まれたばかりのお孫さんなどの顔を見れたり、距離関係なしに利用者の様子・ご家族の様子を確認できる手段はもう当たり前の時代になっています。いち早くそういった技術を取り入れたものを介護保険で福祉用具と認めて使用できるようにしていかなければいけないのではなかと思います。今後もさらに幅広く介護保険で使用できる用具を拡充しいろいろなことに対処・対応できるようにしていくことが必要ではないでしょうか。	3用具貸与
30	自宅からでない方が増えている為、筋力が低下し動かない方もいらっしゃいます。杖や歩行器を活用し家の周り自宅内での運動に活用していただければと思います。	3用具貸与
31	抗菌仕様の用具の開発。	3用具貸与
32	用具を納品することで利用者の負担が軽減できるので、もっと柔軟な対応が出来た方がよい。支援の方に車いすや徘徊センサー、移動用リフトなど。	3用具貸与
33	福祉用具の活用はコロナ時代であっても重要視されるものと思います。在宅のあり方が見直されると同時に役立つ範囲は拡大すると思われます。	3用具貸与
34	転倒予防や自立支援に向けて安全に在宅生活が送れるように今後もサービス提供していきたいと考えております。	3用具貸与
35	双方の感染予防を図るためにも、これからは非接触での身体介護術が求められていくと思います。その中で福祉用具の活用の重要性が高まってくるため、私たち専門相談員が今まで以上に啓蒙活動に取り組んでいくべきと考えております。	3用具貸与
36	福祉用具を利用することで、ヘルパーや家族が接触しての介助を減らせるケースがある。	3用具貸与
37	人の手による身体介護が困難になる状況において、利用者本人の自立の可能性を広げる方向で福祉用具を活用していくこと重要であると考えます。	3用具貸与
38	マンパワーのサービス以外に福祉用具というモノのサービスが広がることを期待しています。	3用具貸与
39	筋力維持のために、自宅でのトレーニング機器に介護保険が使えればとも思います。福祉用具貸与事業所に限らず、訪問リハビリとセットとか。	3用具貸与
40	自宅での生活時間が長くなるので、転ばない環境づくりの必要性が今まで以上に必要と感じております。	3用具貸与

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【用具の拡充と適正利用つづき】(66件)

No	記述内容	種別
41	室内での生活時間が長くない方が良いが、助教に応じてはこれからも緊急事態宣言の発令などがあり自宅で過ごす時間等も増えていく可能性がある。自宅での生活の中で環境を整備できる福祉用具は必要だと考えている。	3用具貸与
42	福祉用具は介護サービスの中で唯一人と人が対面しなくも継続できるサービスである。高齢者も人との接触を自ら減らす中、福祉用具を活用する事でより自立した生活を構築出来ると考える。	3用具貸与
43	通所や施設に行くことに抵抗を感じる方が多くなっているのが居宅での生活での不便を解消したり、介護者の負担軽減をできることが用具が重要だと思う。	3用具貸与
44	在宅で過ごす時間が増えると思われるので、転倒等予防用具の様々な商品開発が必要と思われる。	3用具貸与
45	利用者・家族・病院・行政・福祉事業者との全ての連携が大事だと思ったが、コロナ患者の福祉用具選定や納品回収については、直接モニタリングできない為トップダウン方式で提案が良いように思った。映像での見守りシステムが発展していくと良いと思った。	3用具貸与
46	人力に頼らず自身の持てる力を引き出し、1人で行える動作を増やす、或いは抱きかかえず介助者と利用者の距離を保ちながら介助ができる福祉用具は、まさにWithコロナ時代にますます必要となり、活用されるべきサービスと考える。	3用具貸与
47	感染に強い用具(消毒しやすいウィルスが付着しづらい等)の開発や活用方法等の発信。	4特養・老健
48	感染症予防のためのマスクについては、要介護者向きに改良する余地があれば、質の向上が必要かと思えます。	4特養・老健
49	ご利用者に対する効能は勿論のこと、福祉用具を扱う側のメリットも重視した商品開発してほしい。	4特養・老健
50	施設内用と外出用との分別。	4特養・老健
51	体交クッションなど洗濯が行いやすい物を選定するなど、衛生管理という観点からさらに重要になってくると思えます。	4特養・老健
52	職員と利用者の接触の機会を極力減らすための福祉用具選定が重要と考える。	4特養・老健
53	見守りや様々なセンサーの利用が必要となってくるのではないかと思います。	4特養・老健
54	今までは手や人の温もりなどがケアに必要なポイントになっていたが、今後は身体の負担軽減に加え、接触回数の減少や距離の保持、清潔保持の観点から福祉用具の需要はより高まると考える。	4特養・老健
55	重症度の高い患者様が増えていく中で、体位変換に必要な機材(福祉用具を含む)を個別に活用することが増えていくと思われるので、より消毒の必要性が周知(どのように消毒するかも含む)されることが大事だと考えています。抗菌含め感染症対策がしやすい用具の活用についても重要であると考えています。	4特養・老健

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【用具の拡充と適正利用つづき】(66件)

No	記述内容	種別
56	施設の特性や介護度にあった福祉用具の台数の基準などがあればいいと思った。また、製品としても汚れにくい素材等を使ったものが今後選ばれていくと思う。少しずつでもそういった物を施設で揃えられたら感染の心配が減るのではないかと。	4特養・老健
57	介護現場における直接介護では要介護者と介護者の距離が非常に近くなりコロナ禍においてはリスクが高い状況と言える。ゼロの距離から少しでも距離をあけるには福祉用具の活用は必要だと考える。	4特養・老健
58	新型コロナウイルスの感染予防のためご家族からデイサービスに行かないでほしいと言われ、利用ができなくなりADLの低下や認知症状の進行した方が増えたと思われる。福祉用具を活用し在宅の環境整備を行い、介護予防を行っていく必要があると思います。	4特養・老健
59	福祉器具を使用して介助するうえで感染リスクなく使用するための工夫。	4特養・老健
60	感染疑いの時点で居室隔離が行われることや、食堂やサロンでの入居者の距離を取るようになるため、見守り機器やテーブルなどが必要となる。また、入居者との密着を避けるためにリフトの使用が進む。	4特養・老健
61	車いす、歩行器等の消毒において、専用の洗浄及び消毒のできる機器の導入が必要かと思えます。	4特養・老健
62	抗菌仕様の標準化。除菌・殺菌のしやすい構造(車いすのシート取り外し可能等)。	4特養・老健
63	洗浄、水切り、乾燥しやすい福祉用具が重要だと考える。	4特養・老健
64	効果はわからないが、滅菌、滅菌作用のある素材は喜ばれると思う(車椅子のシート等)。	4特養・老健
65	コロナ発生時に於いて居室での隔離が重要であるが、介護職員・看護職員の訪室回数をできるだけ少なくすることが重要。その意味でも見守り機器を活用することが重要であると感じている。	4特養・老健
66	福祉用具利用による人に頼らない部分でのQOLの改善。	5種別不明

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【サービス内容・業務内容の検討・見直し】(21件)

No	記述内容	種別
1	Q8同様、専門事業所の協力を得るなどし、包括からの業務から切り離す必要があると思う。	2地域包括
2	フレイル予防とコロナ感染予防のバランスを図り、個別計画に沿った活用のあり方を検討していくことが大切だと考えます。	2地域包括
3	退院調整が加速するので、スピーディーな用具調達が必要になっている。自宅でもる人も増えているので、用具のメンテナンスでの専門員訪問で体調等も一定アセスメントをできると良い。	2地域包括
4	在宅ワーク、在宅サービスリハ等との連携強化	3用具貸与
5	モニタリング手法の見直しや検討。	3用具貸与
6	訪問頻度を減らすために取得書類を減らすべき。取得しなければいけない書類が多すぎる。	3用具貸与
7	対面しての書類の交付(記入捺印含む)の省略やデジタル対応。	3用具貸与
8	外出する機会が減ってしまい、下肢筋力低下による転倒が心配です。ケアマネジャー・ご家族としっかり連携し、安全な在宅生活が送れるよう、用具屋としてのサポートを行います。	3用具貸与
9	ご逝去等での福祉用具の回収をすぐに希望される方が多いですが、1週間位その場に置いていただきたい。	3用具貸与
10	カンファレンスなど無理に行わず、出来るだけ少人数、短時間で終わる工夫が必要。	3用具貸与
11	モニタリング 訪問が電話主体になり、インシデントに発展しないよう用具が安全に活用できるように訪問を併用しておこなうことが必要と感じます。軽度者の例外給付申請について、必要な方にスムーズに行えるようコロナ禍で医師の意見書や担当者会議など遅れてしまう場合の対応もあるとよいと思います。	3用具貸与
12	福祉用具の自費レンタルサービス廃止。	3用具貸与
13	お試しの有り方や基本「送料は取らない」との部分。現在メーカーからの仕入れ時の送料は業者が負担し、利用者には送料を取らない状況ですが、商品配送形態の見直しが必須な中、送料を取っても良いとの法律の改正が必要です。	3用具貸与
14	継続的にサービスを提供出来る体制作り。	3用具貸与
15	退院調整にて今までは家屋調査やカンファレンスにより状態把握万全での準備が行えておりました。ここ一年で弊社が新規居宅様から依頼を沢山受けている部分は退院調整時の難しさにあると思っております。弊社はスタッフ全員国家資格やケアマネ資格を有するスタッフでの対応であり、介護医療の専門性が高いと思っております。今までは安さで勝負している事業所様もあったかと思いますが、商品指定での納品という時代ではなく、患者様に会えずとも病状を聞くだけである程度状況把握をし個別理解の元環境選定をしていくという面では、スタッフのスキルが試されるのだと感じております。	3用具貸与

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【サービス内容・業務内容の検討・見直しつづき】(21件)

No	記述内容	種別
16	少人数での納品や契約時の人数制限など、密にならない状況を増やしていきたい。	3用具貸与
17	担当者会議は極力利用者宅で行わず、ZOOMや照会票などで対応するよう、居宅事業所に働きかけている。利用者宅への不要不急の訪問は極力行わないようにしている。	3用具貸与
18	モニタリングや点検の方法などの再考(電話、オンラインの活用)、貸与品の消毒の徹底。	3用具貸与
19	インターネットを活用し、動画などで使用方法などが利用者が閲覧できる環境を整えると良いと考える。また他職種の方だけでなく福祉用具全体がデジタル化が進んでいなさすぎて業務効率が悪く訪問回数も多くなってしまっている。福祉業界は高齢の職員も多く、デジタル化への抵抗が強いと感じている。国が率先して進めて欲しい。	3用具貸与
20	陽性者へのサービス提供方法。	3用具貸与
21	感染し隔離対応となった場合でも福祉用具を使い続けられるようある程度の数を揃えておく必要がある。	4特養・老健

【情報提供・有効性のアピール】(10件)

No	記述内容	種別
1	利用者と介護者の密接を防ぐために、福祉用具が活用できることもあるという提案が重要(例えば移乗関連用具)。	1区市町村
2	正確な情報提供。	2地域包括
3	展示会の開催が難しくなっているため、安全な対応をした上で、体験したり、情報交換できる小さな場所で少人数での開催ができればいいと思います。	2地域包括
4	福祉用具を直に見る場所と共に、オンライン上でも杖や歩行器、手すりを見ることができるとよりいいと思います。	2地域包括
5	他者が入浴介助する際の注意点を広める。	2地域包括
6	自立支援のための福祉用具活用の視点は継続して必要性の判断、アセスメントの重要性の共通認識。	2地域包括
7	福祉用具業者から感染症対策についての説明を行うことで、安心して福祉用具貸与が行えると思います。	2地域包括
8	人の力に頼らない環境整備の方法とその推進。	2地域包括
9	全般的に言えることだが、相談自体を控える方がおられるため、感染症予防について安心して頂く努力が必要なのかもしれない。	2地域包括
10	物理的には接触を減らすために自助具の有効利用を利用者に携わる多くの人知ってもらう。	3用具貸与

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【コスト・時間・労力関連】(10件)

No	記述内容	種別
1	マスク、ご利用者様宅の入退出時の消毒等の感染対策は続けていく。またこれは厚労省の管轄でここでは関係ない話かもしれませんが、この状況下で4月より上限価格の再設定があり、上限価格が大きく下がった。弊社は都内で西日本は東京のレンタル価格の半額と言われている。そこで平均価格の算出をし上限価格を設けることはナンセンスはなはだしいし、他地区と違って経費も大きい。当然売り上げも下がることになる。ただでさえ利益、社員の給与が少ない福祉用具業界でなぜこのようなことをするのか理解できない。	3用具貸与
2	モニタリングの義務化、上限価格の設定等、厚労省の方針は正論ではあるが、現実を直視していない。零細事業所では、上記のモニタリング義務化や上限価格の修正作業等相当なマンパワー(コスト)が要求されており、採算悪化要因となっている。モニタリング報酬の検討、上限価格は偏差値ではなく絶対値±の幅提示に加え3年程度のインターバルで見直しなど現場への負担軽減策を積極的に考えるべきと思料する。	3用具貸与
3	外出自粛で在宅時間が長くなり、在宅勤務の浸透によって家に家族がいる時間が長くなる。更にはヘルパー等外部からの人の出入りを敬遠することが考えられることから、福祉用具の需要は益々増えると考えている。貸与事業所がより業務に集中できるように、駐車許可証の発行を認めることや、適正な感染対策をとっている事業所への加算も検討して頂きたい(上限価格の導入により、売上減となり厳しい事業所も見受けられるため。特に駐車スペースの関係から都心で2名体制としている事業所へは配慮して頂きたい)。	3用具貸与
4	福祉用具専門相談員の感染リスクと報酬が見合っていない。処遇の改善をしなければ担い手も少ない。	3用具貸与
5	福祉用具は価格が高いというイメージがあります。又、介入できる知識ある第三者が身近にいない場合、苦勞されてる方はたくさんいます。今時の手段でなくとも、老夫婦でも情報が得られる仕組みが重要と感じます。	4特養・老健
6	福祉用具の活用はとても有効だと思うが、金額も高い為、もう少し手に入れやすいようにしてほしい。	4特養・老健
7	サービス提供に必要な福祉用具の購入は介護報酬に含まれているが、車椅子やベッドはほぼ個人専用とする事が出来るが、共用せざるを得ない物品も少なからず生じる。「福祉用具の個別化」を完全に考えるのであれば、現介護報酬のみでは困難である。	4特養・老健
8	体位交換等、密着して行っている介助について、福祉用具を活用することによって改善できると考えています。しかし、福祉用具全般に言えることですが、コストの面でもっと導入しやすくなると難しい面があると感じます。	4特養・老健
9	収入は限られているが、利用者、職員を守るためにも安い粗悪品は使用できないのでそれなりの物品を使用することになるので、費用面も課題。	4特養・老健
10	リフトなどの一部の福祉用具の使用を推進するには、時間や手間がかかる物もある。スライディングシートすら、それを出す手間・時間が惜しいという意識も根強い。頻繁に使用する介護士が意識して使用を進めることが大切であると思う。	4特養・老健

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【コミュニケーション・情報共有】(8件)

No	記述内容	種別
1	感染予防に配慮しつつ、丁寧に利用者の声を聴くこと。	1区市町村
2	元々福祉用具類は個人で使用する物だが、歩行が不安な高齢者が外出先：公共施設等（市役所、市民会館や、デパート等）で使用する車イス等の感染予防対策（消毒等）は、公共施設も十分配慮していると思うが、個人での予防対策の知識も必要だと思う。	2地域包括
3	実際お客様に会わないと分からない事が増えており、各関係機関との透明性や正しく伝える事ができる状態になってほしい。	3用具貸与
4	福祉用具を利用することで、在宅生活が安全に出来る可能性はあると思うが、CMの訪問も控えていたり、担当者会議も行わない、利用者宅の訪問も限られている中では中々アセスメントが難しいと感じている。	3用具貸与
5	訪問(対面)せずに、モニタリング等の業務をする機会が増え、電話のみで福祉用具の不具合など聞き出す事が難しいので、じっくりとお話を伺い利用者様が感じている事を引き出すコミュニケーション能力の向上が求められると思います。	3用具貸与
6	コロナ感染情報の早期共有。	3用具貸与
7	情報共有。	3用具貸与
8	ソーシャルディスタンスをなるべく図れるようなもの：見守りセンサーやサイドテーブル、飛沫予防パーテーションなど工夫利用の例などの情報共有ができるとよいと思います。	4特養・老健

【レンタル化】(3件)

No	記述内容	種別
1	入所施設では施設の負担で標準の福祉機器はそろえなければなりません、利用者の状態像変化や個々の状態にマッチした福祉用具を適宜使用するために、一定の要件で施設入所者も介護保険の福祉用具レンタル対象に加えていただくと状態変化に合わせて適正な福祉機器を使えるようになると思います。	4特養・老健
2	施設入所中でも、一般的なものでは本人の体に合わない場合、割合を在宅と同様（1割）でレンタルできるようになってもらいたい。特殊なものは購入と言われても、購入の同意をもらうほうが難しい。	4特養・老健
3	特養でもレンタル可能にして欲しい。	4特養・老健

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(記述内容ごと)

【補助金・助成金】(2件)

No	記述内容	種別
1	抗菌コートされた福祉用具の普及とそれに対する助成金があると購入しやすいと思います。	4特養・老健
2	福祉用具の購入や見直しに関して、施設の持ち出しだけではなく、補助金や助成金があると施設運営の面でも助かる。	4特養・老健

【その他】(5件)

No	記述内容	種別
1	福祉用具購入でなく、福祉用具貸与となると、保険者が関わる機会がほとんどなく、詳細把握しておりません。	1区市町村
2	レンタルに関して消毒体制が整っていると認識しているので、改めてコロナだからと言って何か変える必要性感じない。	2地域包括
3	今まで通り、必要な方に迅速に提供できれば良いと思う。	2地域包括
4	コロナであろうと 必要な方がいたら対応していくのは変わらないので、コロナで在宅にすることが増えているので 色々な提案をして 安全にすごせるようサポートしていきたいです。	3用具貸与
5	感染予防は大切だが、ご利用者がストレス少なく、安心して生活できるよう、使い方を考えていかなければならない。	4特養・老健

■Q10 福祉用具に関する役立つと思われる情報について(記述内容ごと)

【用具関連】(17件)

No	記述内容	種別
1	特に歩行車(機)について、室内はよいが、室外で小回りがききにくい、直進しづらい等、利用者の声多い為、でこぼこ道、傾斜でも楽に押せるものの情報。	2地域包括
2	定期的に福祉用具を見ることができるとしたら、情報提供を頂けると助かります。	2地域包括
3	新しい用具の情報と、用具を活用した好事例。	2地域包括
4	身体的に不自由な部分や疾患別に、必要そうな用具がわかるフローチャート。	2地域包括
5	福祉用具活用が自立支援につながっている事例。	2地域包括
6	個々の福祉用具の子細な情報が欲しい。また、利用方法などのノウハウの発信もしてほしい。自助具などの情報提供。	2地域包括
7	運動を兼ねた福祉用具の提案。	2地域包括
8	感染対策やWithコロナにあった福祉用具の開発があれば情報提供してほしい。	2地域包括
9	新型コロナ感染症の予防の対策をとった、福祉用具の活用事例、その可能性の提案等。AIを利用したコミュニケーションツールの利用など。	2地域包括
10	お客様宅で行われる担当者会議の際、かなりの密となっており、感染リスクも高くなるので、前もって情報交換しておき、最小限の人数で短時間で行われるのが望ましいと思います。	3用具貸与
11	電動車イスやセニアカーの活用。	3用具貸与
12	取り扱いなど動画で見ることができれば、ご本人以外への説明も行うことができるため、増えるといいと思う。福祉用具機器の紹介なども、新規であればある程度期間を設け、事業所向けと一般向けとを分けることで、ネット環境のウィルス対策にもなるはず。	3用具貸与
13	多機能型電動車椅子は利用者の自立を促進できる可能性を有しています。	3用具貸与
14	正しい知識の提供、車イスのメンテナンス、故障の対応、部品の取り寄せ、廃棄について。	4特養・老健
15	福祉用具などが安価で購入しやすくなると良いです。	4特養・老健
16	最新の福祉用具の紹介の他、一工夫加えた福祉用具の活用など。	4特養・老健
17	自費の車イスやベッドの利用について。体位交換マット、エアーマットなど。	5種別不明

■Q10 福祉用具に関する役立つと思われる情報について(記述内容ごと)

【専門知識・研修】(9件)

No	記述内容	種別
1	罹患した高齢者が在宅復帰して元の生活に戻れた事例があれば教えてほしいです。	3用具貸与
2	個別の対策。例えば、福祉用具に特化した対策や福祉用具ならではの対策等。	3用具貸与
3	動画での研修がとても助かっている。空き時間に見ることができ、何度も見返すこともできる。今後もYouTube動画での情報提供を続けて行ってほしい。	3用具貸与
4	持ち上げない介護を実践しています。役立つ情報があればお願いします。	4特養・老健
5	「こんな時これを使用すると良い！」など専門的な視点から日常生活に活用できるものを提案すると良いと考えます。	4特養・老健
6	多種多様な移乗移動機器が市場にありますが、どの機器も同様な目的に使用可能なわけではなく対象者への向き、不向きがあります。しかし、施設で用意する機器は限られています。どの移乗移動機器でも効果的に活用できる方法を学びたいと思います。	4特養・老健
7	専門知識。	4特養・老健
8	情報提供などで研修に参加したいがコロナ禍のなかで都内まで行くのが難しい。	4特養・老健
9	福祉用具の対象者、基本の使用方法、管理方法等を動画で見られるようになれば、わからなくなった時に自分で確認できると思います。	4特養・老健

■Q10 福祉用具に関する役立つと思われる情報について(記述内容ごと)

【取組周知・有効性のアピール】(7件)

No	記述内容	種別
1	福祉用具貸与事業所の消毒環境等を評価し公表していれば、市民に分かるよう提示していく工夫が必要となると思います。	2地域包括
2	相談するときに、感染予防か転倒予防かどちらが優先度が高いのか考えると思うので、転倒がその後の生活に与えるリスクについて。	2地域包括
3	福祉用具が介護予防に役立つと宣伝すべきと思う。	3用具貸与
4	これは財団がする役目なのかどうかわかりませんが、介護保険サービスあるいは福祉用具レンタルのシステム等について一般にはあまり周知がされておらないと考えます。地域包括支援センター等も力を入れて頂いていると思いますが、介護保険サービスについてもっと周知ができれば高齢者などに普及が進むことは確実だと思います。普及が進めばフレイル等の予防にも十分繋がることになります。今後共、よろしくお願い申し上げます。	3用具貸与
5	福祉用具に関するパンフレットに施設入所中の取り扱いが記載が少ないように思います。入所した場合は、施設が用意といってもすべてではないことなど、説明ができて配布できるようなパンフレットがあると助かります。	4特養・老健
6	ご家族がレンタルの方法や福祉用具の種類や機種について情報を入手できるのが、主にケアマネからとなっている。そのためケアマネが持っている知識情報量に左右されてしまうので、もう少しご家族に直接情報が伝達されると良いと思います。	4特養・老健
7	アピール。知らないことも多い。移動式の福祉用具展示など（HCRのようなもの）。	5種別不明

【感染症関連】(6件)

No	記述内容	種別
1	感染症予防対策。	3用具貸与
2	感染対策の徹底。	3用具貸与
3	外出等で福祉用具が感染リスクが高まった際の、消毒箇所のガイドラインなどのエビデンスが欲しい。	4特養・老健
4	消毒。	4特養・老健
5	感染症の知識や福祉用具の活用から感染症対策に繋がる情報などありましたら役立ちます。	4特養・老健
6	福祉用具の消毒するべき要点、方法。	4特養・老健

■Q10 福祉用具に関する役立つと思われる情報について(記述内容ごと)

【法・ルール関連】(3件)

No	記述内容	種別
1	情報に関することではないが、人員基準（管理者の兼務）については、もう少し柔軟に考えられてはどうか。この点は、各県によって見解がまちまちだが、本来そうした相違があること自体が問題。現場は人材不足の状況下で、押し寄せる業務負担で悲鳴をあげている。もっと現場に寄り添った運営を望みたい。	3用具貸与
2	制度改正や、各保険者独自の施策について、取りまとめてくれると嬉しい。区によって障害含めて利用できるサービスが異なるので、利用者への案内が非常に複雑。	3用具貸与
3	介護保険改正等に係る情報は随時挙げていただきたい。	3用具貸与

【業務の簡略化、見直し】(2件)

No	記述内容	種別
1	居宅ケアマネとの連携が今まで多かったかと思います。これからは今まで以上に看護師やリハビリスタッフとの直接連携が必要になってくると思っております。弊社の取り組みとしては、24時間、お客様だけでなく多職種と電話連携を行える環境を作っております。訪問頻度が少なくなっている中、今までは全てケアマネを主とした連絡網でしたが、縦のつながりでなく、横のつながりになっていくとより良い提供が行えると思えます。最後に、、、担当者会議をしてからの納品という大前提がありますが、今の時代、患者様の状態変化に伴う迅速な対応が必要になってきております。照会や暫定プランにて即日対応させてくださるケアマネさんも多くいますが、今必要な福祉用具を担当者会議していないとの事で1週間程納品を待たされる事もあります。皆で集まる事も難しい中、その部分をもう少し見直して頂けると幸いです。	3用具貸与
2	居宅事業所において、いまだにメールも使えないような事業所があるのは信じがたい。いくらこちらが感染予防を訴えても、居宅事業所がそんな状態では話にならない。利用者宅への訪問スタイルを変化させる必要を、コロナ禍において改めて認識した。	3用具貸与

■Q10 福祉用具に関する役立つと思われる情報について(記述内容ごと)

【自治体の取り組み関連】(2件)

No	記述内容	種別
1	コロナに対し各自治体の取り組み、現状をわかりやすく。	2地域包括
2	各自治体それぞれ独自に行っている制度や給付事業の情報共有をしたいと考えております。	3用具貸与

【費用関連】(2件)

No	記述内容	種別
1	3割負担者がレンタル品の販売額に到達する負担期間を越えたら、そのまま買い取れてメンテナンスの費用を負担(自費)などする支給方法があると良いと思う。	2地域包括
2	毎年人件費は上がるのに、上限があることで、値下げや自費依頼が多く利益にならず、介護度が低い方の可否申請をしてくれない。計画書や感染予防など業務は増えるのに、それに見合った報酬になりづらい。	3用具貸与

【その他】(7件)

No	記述内容	種別
1	通所介護、訪問介護は新型コロナで休みになってしまう。 訪問看護、福祉用具は休まずサービス提供できたので助かった。	2地域包括
2	お待ちしております。	3用具貸与
3	今後ともよろしく願いいたします。	3用具貸与
4	高齢者の脚力低下は否めません。現場で驚いています。	3用具貸与
5	当社でも感染症予防に役立つ福祉用具の情報提供を行っております。	3用具貸与
6	正しい理解。	3用具貸与
7	お客様、特に高齢の方だとマスクを着用していないことがある為、マスク着用を促す事が難しい事があります。感染に不安がある。	5種別不明

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【市区町村】

No	記述内容	区分
1	消毒の徹底	1個別化関連、消毒・除菌関連
2	福祉用具展示場の展示品を毎日消毒しているが、完全に防止できているのかわからない。電話やオンライン等でモニタリングをする場合、十分に利用状況等を把握できない。	6実態・実情把握の課題
3	高齢者への感染は重度化するリスクが高いので、細心の注意を払う必要がある。	10その他
4	福祉用具そのものを取扱う部署ではありません	10その他

【地域包括】

No	記述内容	区分
1	消毒を利用者にも指導する。指導してほしい。	1個別化関連、消毒・除菌関連
2	使用ごとの消毒。	1個別化関連、消毒・除菌関連
3	消毒。	1個別化関連、消毒・除菌関連
4	自社での福祉用具、特に入浴関係については個別対応ができないものについての消毒。	1個別化関連、消毒・除菌関連
5	施設の場合でしたら、更に徹底が必要だと思いますが、在宅では個別にアルコールなどで定期的に消毒するなどの指導が必要かもしれません。	1個別化関連、消毒・除菌関連
6	消毒の徹底。	1個別化関連、消毒・除菌関連
7	車イス使用前後の消毒の徹底。	1個別化関連、消毒・除菌関連
8	車いす等貸出品の感染症対策は、燻蒸設備が無い中で、返却時に次亜塩素酸水の噴霧、乾燥、清拭を行っているが、完全な対策になっているか不安が残る。(貴財団の車いす歩行車など外出用具の除菌方法は確認済み)	1個別化関連、消毒・除菌関連
9	消毒を徹底させる。	1個別化関連、消毒・除菌関連
10	展示貸出し備品の、貸出す際、引き上げの際の消毒を、より徹底していく。	1個別化関連、消毒・除菌関連
11	複数人が同じ福祉用具を利用する際の感染症予防対策をどのようにしていくか。	1個別化関連、消毒・除菌関連
12	レンタル品の福祉用具の消毒方法を各福祉用具業者から周知して頂けると幸いです。	1個別化関連、消毒・除菌関連
13	消毒を行いながら感染予防を図っていく。	1個別化関連、消毒・除菌関連
14	複数人数で使用した際の消毒の徹底	1個別化関連、消毒・除菌関連
15	センターで一時貸し出しをしている車いすの消毒に気をつかうようになった。	1個別化関連、消毒・除菌関連
16	福祉用具に触る人は限定されるが、それでも適宜消毒等の対策は必要だと思います。	1個別化関連、消毒・除菌関連
17	特に福祉用具にこだわらず、感染予防に使用したものは消毒する事の徹底が一番の取り組みになると思います。	1個別化関連、消毒・除菌関連
18	新規の福祉用具貸与相談時に、消毒などの感染症対策を充分に行っているか不安の声がありました。	1個別化関連、消毒・除菌関連
19	貸出用具の消毒方法。	1個別化関連、消毒・除菌関連
20	救急時の対応用の車いすとトイレ内に見本として手すりを設置している。利用後の消毒(次亜塩素酸)はかかさず、感染症対策に努めている。	1個別化関連、消毒・除菌関連
21	当包括ではターミナルや臨時短期利用、購入までの期間利用への無償貸し出しを行ってきたが、ニーズはあるものの管理体制や役割から今後も行う必要があるのか疑問。	3サービス内容、業務内容
22	包括からのデモ品貸し出しは極力控えるようにしている。	3サービス内容、業務内容
23	訪問回数が減っている中で効果的に安全に用具利用が出来るモニタリング方法。さらに他事業所との連携が必要。	3サービス内容、業務内容
24	直接、肌に当たる物品については専門業者へ依頼している。消毒後までは貸し出しが出来ない状況であり、在庫の確保が難しい。	3サービス内容、業務内容
25	施設内の手すりや椅子テーブルなども、基本一人の相談が終了したら消毒します。その分、時間と手間はかかります。相談業務が込み合ってくると待ち時間等も長くなり、相談者に負担がかかります。感染症予防のためとご理解はいただいております。	3サービス内容、業務内容

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【地域包括つづき】

No	記述内容	区分
26	福祉用具のアンケートであるので、いたしかたなく思いつつも、福祉用具という点でとらえず、全体像として取り組む必要があると思います。別にコロナがあることで用具が壊れやすくなる、などではないので。	3サービス内容、業務内容
27	飛沫防止のパーテーション設置など安心して相談してくださるように対応を行っています。が、充分かが不安は続いている。	3サービス内容、業務内容
28	頻繁な来所による営業は避けていただきたい。	5接触リスク
29	サービス担当者会議、搬入出、モニタリング等、利用者と対面する機会が多いため、感染予防のより強化が大切だと考えます。	5接触リスク
30	リハビリ病院の家屋調査の行い方検討。 入院中の利用者の状況を家族が面会できないので把握できていない。 オンラインで本人の様子が確認できるようにしてほしい。	6実態・実情把握の課題
31	杖や歩行器を利用し、外出を楽しまれていた方々が、コロナ感染を恐れ外出しなくなり、体力、筋力が低下してきている。	7利用者側の課題
32	家族同居が居る利用者の場合、共用の場所で使用する福祉用具の(例:トイレの手すり、浴室内手すり等) 消毒方法や、感染予防の対応は家族の生活習慣等で様々である。	7利用者側の課題
33	福祉用具貸与している利用者の一部が、新型コロナウイルス感染症に過敏になっていて、貸与している用具の点検作業をずっと拒んでいる。	7利用者側の課題
34	在宅では、ご本人・ご家族の感染対策に関する、知識や理解力に格差がある。	7利用者側の課題
35	職員への意識づけ。	9職員に関する教育・心配
36	事業者さんがよく取り組んでくれています。	10その他
37	感染症予防と言っても、様々な種類や自宅内で利用する用具と外出時に利用するものとの、その取扱いに違いが出てくるため、それぞれのマニュアルを整備していくとなると膨大な量になるものと思われ、むしろ感染予防の取り組みが大変になってしまう可能性があるものだと懸念しています。	10その他
38	この地域では、福祉用具レンタルに際し、感染症を心配する声は全くないため、課題は特にない。	10その他

【用具貸与】

No	記述内容	区分
1	用具搬入時の基本的なマスク・消毒等の徹底をする。	1個別化関連、消毒・除菌関連
2	アルコール消毒を多くした。	1個別化関連、消毒・除菌関連
3	特定福祉用具選定時に持っていくデモ品の消毒を徹底してからお客様宅へ持っていつている。※レンタル品は以前より消毒をし、袋に詰めて持っていつている。	1個別化関連、消毒・除菌関連
4	事業者の大小により対応は多少異なると思いますが、予防については充分すぎるほど気をつかってやります。	1個別化関連、消毒・除菌関連
5	完全な感染リスク0は難しいが、少しでもリスクを少なくできるように卸し業者の倉庫の衛生管理を徹底する。	1個別化関連、消毒・除菌関連
6	現在行っている、感染対策(消毒等)の継続を周知徹底する事。	1個別化関連、消毒・除菌関連
7	貸し出した後の用具の除菌が、独居や寝たきりの場合に対応が難しいのではないと思う	1個別化関連、消毒・除菌関連
8	一日に複数件ご自宅をまわる時がありますので、入る前と出た時の消毒の徹底と車内の除菌。	1個別化関連、消毒・除菌関連
9	弊社は高齢者日常生活用具給付事業の給付事業者として、お客様へ新品未使用品を納品しておりますが、コロナウイルスが流行してからは納品前に消毒作業など今まで以上に気をつけるようになりました。 お客様へ納品してからは、お客様自身で消毒作業などをしなくてはならないので、そこまでフォローしきれないのが現状です。	1個別化関連、消毒・除菌関連
10	各社員、業務中はマスクを着用し、外出から戻る際は手洗い・消毒を徹底している。	1個別化関連、消毒・除菌関連

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【用具貸与つづき】

No	記述内容	区分
11	貸出前・引上げ後の消毒の徹底。	1個別化関連、消毒・除菌関連
12	用具の搬入や搬出時の人員および用具の消毒の徹底。	1個別化関連、消毒・除菌関連
13	大掛かりな装置を使用せずにきちんと消毒ができる方法を確立したい。主に訪問点検などでの措置に使用したい。	1個別化関連、消毒・除菌関連
14	複数人で使用する場合などの消毒、清潔をどう保っていけばよいか。	1個別化関連、消毒・除菌関連
15	用具の納品時は、消毒済みの用具を袋のままお届けする。回収時も同様。訪問時は必ず体温測定・手指消毒をする。	1個別化関連、消毒・除菌関連
16	月に100件以上訪問することもあるため、感染対策に限界がある。	2コスト・時間・労力関連
17	限界がある。お金がかかりすぎる	2コスト・時間・労力関連
18	納品・回収など消毒等に掛かる費用負担が大きい。	2コスト・時間・労力関連
19	人員や時間の確保の為資金が必要。	2コスト・時間・労力関連
20	福祉用具納品時（梱包してあるものも現地開封後）、引き上げ時に消毒をするので、納品時に時間がかかるようになった。感染者宅の緊急のレンタル引上げを受けにくくなった。しばらく日数をおいて引上げをしている。	2コスト・時間・労力関連
21	商品スペースの確保	2コスト・時間・労力関連
22	感染予防対策に今まで以上に時間を使い、通常業務に支障が出ないか心配です。	2コスト・時間・労力関連
23	「感染症対応ガイド」にしたがい、対策をきちんと実行することで感染症リスクを最小限に抑えていく。	3サービス内容、業務内容
24	利用者が逝去された際、新型コロナに感染していた可能性がある場合の回収手順などが明確でない。例)“事業所判断で逝去から2週間は回収しない”など	3サービス内容、業務内容
25	モニタリングは、基本電話対応としているが、往訪と同様不在や聞き取りにくさ等があり、相当時間がかかっているのが現状。コロナ前後に関係なく事業所に負担がかかる大きな要因である。モニタリングには相当のコストがかかっており、無償での義務化は机上の論理と考えられる。福祉用具事業採算を考えるうえでの最大のネックかと思われ、早期に法改正を望む。	3サービス内容、業務内容
26	弊社、人手が足りず、営業部が用具の手配・配送・ご利用者様への設置を行っているため、ご高齢の方やご家族・ケアマネジャーに移さない体制や個々の体調管理の徹底が課題です。	3サービス内容、業務内容
27	デモ品の取り扱い範囲の限定。特にポータブルトイレのデモはリスクが高く（コロナ以外にも）、営業手法として実施している事業所もあるが適切ではないと考える。条例で禁止にした方が良い。	3サービス内容、業務内容
28	訪問時または帰社時の手洗いうがいの励行、手指消毒の徹底、蜜を避ける、長時間滞在をしない、訪問時の時間帯をずらす。	3サービス内容、業務内容
29	福祉用具が必要だけど、本人家族では必要と判断できないケース。今までは様々な職種が訪問をし聴聞・アセスメントの中で必要性を理解してもらっていたが、現状ケアマネ自身も訪問が出来ておらず、気付いた時には今すぐに用具が必要ととにかく急ぎ案件が増大している。何とか利用者と簡易で繋がるツール開発を期待します。	3サービス内容、業務内容
30	通勤時の訪問	3サービス内容、業務内容

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【用具貸与つづき】

No	記述内容	区分
31	訪問時の感染対策、回収後の社内消毒、点検は電話だけでの実施は困難。	3サービス内容、業務内容
32	福祉用具での感染予防とは？福祉用具からコロナウイルスが発生しているわけではなく、身の回りのものと同じく、利用者本人、利用者に係る者がどのように除菌等の感染予防しているかによるのではないのでしょうか。車椅子や杖、歩行車なども靴や上着などと同じく屋外で使用したのであれば除菌スプレーや相応の除菌をしていただかなくては菌を屋内に持ち込んでしまうと思います。福祉用具とくくるのではなく身の回りのものと同じく感染リスクを下げる対応をすべてにしていたかなくてはけません。	3サービス内容、業務内容
33	メーカー等と相談し、コロナ感染の方の福祉用具の引取りのマニュアル等が必要と感じました。	3サービス内容、業務内容
34	コロナ感染も含め、感染症に対する情報交換	3サービス内容、業務内容
35	回収で在宅に向う際に手指消毒や手袋と予防・感染拡大防止は講じているが、決まったマニュアルがないため、正解がわからない。	3サービス内容、業務内容
36	施設内などで不特定多数の方々を使用する場合は、感染リスクが高いと感じる。	3サービス内容、業務内容
37	モニタリング訪問等、不可視の事象であり、安全性を判断しづらい	3サービス内容、業務内容
38	訪問は、避けられないので、予防対策をしていても濃厚接触になってしまうことも避けられないので、徹底してもおわりもなくこれであっているのか不安になることがあります	3サービス内容、業務内容
39	感染した際に、他の職員を含め、どのようにフォローしていくか。	4陽性者・感染との関わりについて
40	従業員がコロナに感染したときの手順について。	4陽性者・感染との関わりについて
41	社員の感染予防対策はできる限り行っているが、最近になって、利用者が退院後感染が判明したり、訪問リハビリのスタッフの感染により利用者が濃厚接触者になった事例が出ている。担当社員が感染はせずとも、出勤を控えたりしたので、業務をカバーするために大変だった。福祉用具は訪問して対応しないわけにはいかないので、感染しないように気をつけるしかない。	4陽性者・感染との関わりについて
42	コロナ感染されてしまったお客様の所に、情報が届かないまま訪問してしまうケースがある。 コロナ感染されてしまったお客様のレンタルされていた商品を引き上げる際、何日後訪問すれば安全性が保てるか。	4陽性者・感染との関わりについて
43	実際に訪問した後にお客様がPCR検査⇒陽性と出て現場の対応で苦勞したり、濃厚接触者になったりして精神的に疲れる。	4陽性者・感染との関わりについて
44	陽性者の解約引取商品の取り扱い方法	4陽性者・感染との関わりについて
45	コロナ罹患者への納品対応。退院時の検査にて陰性確認しない以上、エビデンスで証明されていても訪問したくないのが本音。	4陽性者・感染との関わりについて
46	感染利用者にレンタルいただいていた福祉用具の回収方法について。	4陽性者・感染との関わりについて
47	濃厚接触者の定義（基準）が曖昧。濃厚接触者（疑義）が発生している施設への搬入・搬出。	4陽性者・感染との関わりについて
48	感染者が利用した用具の引き揚げ手順	4陽性者・感染との関わりについて
49	罹患した利用者が利用していた福祉用具がどの程度感染リスクがあるか科学的根拠がないので、対応に苦慮する。	4陽性者・感染との関わりについて
50	解約引き上げ時には、コロナ感染者ではないことを確認して引上げ。	4陽性者・感染との関わりについて

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【用具貸与つづき】

No	記述内容	区分
51	感染者が利用していた用具の取り扱いについて、他引取品と車両混在を避けたり、洗浄消毒工場への直送を実施しており、必要以上に時間、コストがかかっている。	4陽性者・感染との関わりについて
52	感染され、契約終了となった利用者の用具回収の方法について。	4陽性者・感染との関わりについて
53	現状、手洗い・消毒・マスク・グローブ等の対応でも十分に予防可能と判断している部分があります。ただ、陽性患者様のお宅訪問等の際はどこまでの徹底が適切かが分りきっていない部分があります。特に、感染による死亡後の引き上げについてどの程度の期間をあければ問題がないのか、即日引き上げを希望される場合可能であれば防護服にて対応したいのですが、お客様も周りの目が為、完全防護服での対応の厳しさもあります。現状はある程度の期間をあけて対応出来ておりますが、その部分が社内として課題になっております。	4陽性者・感染との関わりについて
54	コロナ罹患者様の情報が少ない場合にこちら側の防止ができない。	4陽性者・感染との関わりについて
55	熱発された利用者宅への搬入出の見極め。	4陽性者・感染との関わりについて
56	納品、引取時の利用者や家族に接触する時の対策。	5接触リスク
57	物流なので人手が動くこととなります。	5接触リスク
58	リモートでは不可能な業務(納品等)なので、日常生活で常に意識する。	5接触リスク
59	訪問している、滞在している(出来る)時間等、明確な数字等無い為、不安に感じる利用者もあり、今後のモニタリングや相談時間が課題と感じる。	5接触リスク
60	利用者様宅への訪問。こちら側は感染対策を行っているが、利用者様が行っていないケースをどうするか。	5接触リスク
61	極力、密の回避。	5接触リスク
62	感染症対策のため定期モニタリングの実施が難しい。	5接触リスク
63	モニタリングは基本電話で行う。訪問の際は消毒やマスクの感染予防徹底。複数での訪問は避け、なるべく少人数での訪問。	5接触リスク
64	利用者宅で商品を試したりするのが長時間になるため検討中。	5接触リスク
65	長時間のご訪問滞在は避ける。	5接触リスク
66	サービス担当者会議などの簡略化を考えたい。	5接触リスク
67	特に新規の利用者の場合、自宅の現地調査などは欠くことはできないため、感染予防対策をしっかりとったうえで訪問するように心がけている。病院への搬入出は必ずエントランスで行うようにしている。	5接触リスク
68	フィッティングなどは利用者直に話さなければならないので、持ちこむリスクや、感染するリスクが高まる。	5接触リスク
69	デモ商品をお持ちしたときに利用者の方が直接触れてしまう機会が多い。毎回手指消毒していただいてから触れていただくが、時間のロスが大きい。デモの機会を減らしたいが、パンフレットだけの説明だと利用者の理解ができず難しい。	5接触リスク
70	難聴の方への用具の説明やコミュニケーションがとりづらくなった(耳のそばで大きな声が出せない)	6実態・実情把握の課題
71	在宅訪問(福祉用具の納入、引き上げ)の際に、個人情報の保護等により、ご利用者が感染状況(感染した、感染していない)が掴めないケースがあるが、こちらから確認を取ることが憚られることがあるので、連携先の関係者には情報共有がされる必要がある。もし、情報共有がない場合は当社だけでなく、卸業者にも大きな負担をかけてしまう。個人情報の保護と情報共有は契約書の中でもきちんと記載しているが、このようなケースに対して、積極的に質問することが容易でない気がします。	6実態・実情把握の課題
72	福祉用具の回収時に、ご利用者が感染しているかどうかの確認ができない場合がある。	6実態・実情把握の課題
73	貸与品回収時の対応について感染者の疑いがあるかどうかの確認が難しい場合がある。	6実態・実情把握の課題
74	福祉用具は利用者にとって日常生活の必需品なので、メンテナンスや修理対応は重要である。身体の接触を避けるために用具のみへの対応となりがちだが、利用者の直接の声を聴けないことは本来の福祉サービスの目標を達成できない。コロナ禍の中で、これをどのように解決するかが課題である。	6実態・実情把握の課題
75	コロナ禍の中、訪問を控えるために用具の点検ができていない状況がある。	6実態・実情把握の課題

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【用具貸与つづき】

種別	No	記述内容	区分
3用具貸与	76	利用者宅など訪問回数が減るため不具合などの早期発見が遅れないか心配である。正確なアセスメントが取れないことがある。	6実態・実情把握の課題
3用具貸与	77	体調不良で福祉用具が必要になった時、利用者宅訪問前に体調の聞き取りが十分にできていないか分からないことが不安でもあり課題でもあると考える。	6実態・実情把握の課題
3用具貸与	78	訪問機会が減り、利用者や家族との細かなやり取りができなくなった。	6実態・実情把握の課題
3用具貸与	79	マスクをしていると話がよく聞こえなかったり、顔が見えない不安感があるご様子。	7利用者側の課題
3用具貸与	80	利用者へ納品・回収の際、熱があるか等お聞きするが、利用者によっては、ウソをつき、のちのち熱があったなどの報告をうけるケースなどがある。従業員に感染させない為には訪問時にウソをつかれると感染リスクが高まるのでどうしたらいいかが課題。	7利用者側の課題
3用具貸与	81	コロナによる直接訪問できる方と、感染を警戒して訪問ができない方がでている。	7利用者側の課題
3用具貸与	82	利用者様や利用者様家族がマスクを着けていないことが多い。そっと促すが気付かないことが多い。	7利用者側の課題
3用具貸与	83	お客様のレンタルに対する（消毒）偏見	7利用者側の課題
3用具貸与	84	全ての方ではなかったのですが、業者の出入りによる感染を危惧される方がいらっしたので、実際に用具の確認ができない事に対してどのようにすることが良いか検討していきたい。	7利用者側の課題
3用具貸与	85	PCRを受けず疑いのある利用者からの商品引取り、疑いのある利用者 と接触した職員の安全確保について、日々悩みながら判断している。	7利用者側の課題
3用具貸与	86	抗ウィルスの機能を備えた用具の開発。	8用具の変更・用具への要望
3用具貸与	87	情報共有、職員へのフォロー(心、体、待遇)。	9職員に関する教育・心配
3用具貸与	88	従業者の定期的PCR検査を実施する。	9職員に関する教育・心配
3用具貸与	89	福祉用具に関しては「触る」ことを避けることができないので、消毒しやすい素材や、抗菌素材のニーズが高まるのではないかと考えています。	9職員に関する教育・心配
3用具貸与	90	コロナ禍での精神面の疲労から社員の不安、士気軽減の対策。	9職員に関する教育・心配
3用具貸与	91	ベッドなどの搬入の際に業者さんも以前からの方なので十分やってくれました。	10その他
3用具貸与	92	感染経路を把握する。	10その他
3用具貸与	93	レンタル商品に関してはその都度消毒管理している為、コロナ以前から安心して使用できていると思う。	10その他
3用具貸与	94	オゾンも使っているが、福祉機器展ではオゾンは認められてないようだがどうしてだろうか。	10その他
3用具貸与	95	行政と事業所との連携が取りにくいように思いました。	10その他
3用具貸与	96	迅速で正確な情報収集と情報共有のためのシステムを作り、感染症の予防、拡大防止につなげられるようにしたいと関係事業者とともに考えております。	10その他

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【特養・老健】

No	記述内容	区分
1	感染予防の為、個々の対応の為、個数の確保が必要	1個別化関連、消毒・除菌関連
2	個別に使用できるような数量の確保、それに伴うスペースの確保	1個別化関連、消毒・除菌関連
3	利用を固定にするので台数が足りなくなった。	1個別化関連、消毒・除菌関連
4	福祉用具自体の値段が高いため、個別に購入するのも限界があり十分な数をそろえるのは難しいと感じた。また、外出やレクなどの外部刺激の機会も減少したことにより、認知機能の低下を少なからず全員がきたしており、不穏や危険行動も多くセンサーなど感染に関係ない福祉用具での出費も増えている。	1個別化関連、消毒・除菌関連
5	できる限り、本人に合ったものを個人で使用していくようにすれば、感染のリスクを軽減できるが、施設入所者の福祉用具は施設で用意するため、個人にあったものを専用で貸し出しするほどの余裕がない。	1個別化関連、消毒・除菌関連
6	消毒の徹底、個別化の強化	1個別化関連、消毒・除菌関連
7	次亜塩素酸やアルコールでの消毒が適さない用具がある。 1つの機械を多利用者でシェアしなければならない事がある。	1個別化関連、消毒・除菌関連
8	用具類の消毒が必須となっているが、材質によっては劣化のスピードを速めてしまったり、機器の故障の原因にならないか疑問を感じる。用具の個別化が利用者への費用負担増にもなるのではないか。	1個別化関連、消毒・除菌関連
9	福祉用具の個別使用は困難な為、使いまわすことになるが消毒が不十分な場合がある。	1個別化関連、消毒・除菌関連
10	消毒方法の複雑化(次亜塩素酸ナトリウム使用不可のもの対応)。 用具、機器数の確保。	1個別化関連、消毒・除菌関連
11	個別化・感染対策の徹底	1個別化関連、消毒・除菌関連
12	福祉用具の個別利用の推進 福祉用具の清潔維持 定期的な清掃と消毒実施に向けての体制構築。	1個別化関連、消毒・除菌関連
13	個別に使用する為、ある程度数を揃える必要があること。 消毒に次亜塩素酸が使えないものもあり、適した消毒液を用意すること。	1個別化関連、消毒・除菌関連
14	福祉用具(共有)の消毒方法について調べる必要がある	1個別化関連、消毒・除菌関連
15	福祉用具の定期的な消毒 消毒管理の担当について	1個別化関連、消毒・除菌関連
16	用具の消毒に関して、アルコールで消毒すると曇ってしまう等のあることもあり、色々検討し、対応しています。	1個別化関連、消毒・除菌関連
17	今回のアンケートをみて、リフト、スライドボード等にもアルコール消毒などの対応が必要なのか、考えさせられた(現在は毎回の消毒はしていない) 触る職員は手指消毒を徹底している。福祉用具にも毎回の消毒は必要なのだろうか・・・。	1個別化関連、消毒・除菌関連
18	福祉用具の清潔を保てるように管理をしていく。	1個別化関連、消毒・除菌関連
19	アルコール消毒の徹底	1個別化関連、消毒・除菌関連
20	消毒の周知徹底をいかに進めていくか	1個別化関連、消毒・除菌関連
21	施設内で共用利用するものでは、スライディングシートなどあります。消毒の徹底を行っています。個別に準備することは現実的ではないと思われます。	1個別化関連、消毒・除菌関連
22	消毒の種類と頻度。	1個別化関連、消毒・除菌関連
23	消毒。	1個別化関連、消毒・除菌関連
24	全てにおいて清潔を保持することは、感染防止対策につながるため、生活していくうえで不可欠な福祉用具の点検とメンテナンスを徹底していくこと。	1個別化関連、消毒・除菌関連
25	施設の場合、特定の福祉用具多数のご入居者で使用することが多いため、使用後のアルコール消毒を徹底する必要があります。	1個別化関連、消毒・除菌関連

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【特養・老健つづき】

No	記述内容	区分
26	入居者様が共有で使用しているものに関して消毒など、感染予防対策徹底をすること。	1個別化関連、消毒・除菌関連
27	各福祉器具共に消毒対策の検討等。	1個別化関連、消毒・除菌関連
28	例えば車椅子介助でも複数人を連続して介助する場面がある。現時点では職員各々が「ワンケア・ワン手洗い、消毒」を実施していくしかないが、介護の状況としては困難な場合がある。	1個別化関連、消毒・除菌関連
29	消毒剤などの安定的な確保。	1個別化関連、消毒・除菌関連
30	移乗用リフトなどの大型の機器については現状さほど消毒などに意識が向いていないと思われます。フロア内の手で触れる箇所の消毒や職員の手洗いうがいなどはしっかり行っていると思いますが、こうした機器も消毒について実施するようにはしていく必要があると思います。	1個別化関連、消毒・除菌関連
31	複数人が使う福祉用具についての簡易的な消毒に関して、どの程度まで実施すれば良いのか迷うときがある。	1個別化関連、消毒・除菌関連
32	使用後は消毒をするように習慣化したい。ルーチン業務で一日が終わってしまって、新しい事への取り組みが難しい。福祉用具の管理をする職員を決めたほうがよいのか検討する。	1個別化関連、消毒・除菌関連
33	スライディングボードや床壮行式リフトも個人限定ではなく共同で使用しているため、汚染時の消毒や細目な交換が追い付いていない。	1個別化関連、消毒・除菌関連
34	都度消毒という方法以外に、よりよい消毒、感染症予防法があればよい。	1個別化関連、消毒・除菌関連
35	定期的な消毒、清掃の実施が欠かせない。	1個別化関連、消毒・除菌関連
36	福祉用具利用毎の消毒の手間の増加。	1個別化関連、消毒・除菌関連
37	今までより、こまめに消毒を行うことにより通常業務が疎かにならないよう人員整備が必要。	1個別化関連、消毒・除菌関連
38	ベッド等の福祉用具の消毒作業に職員の手が取られてしまう。	1個別化関連、消毒・除菌関連
39	通院などから戻ってきた際に、車いすの消毒をすべきなのか考えましたが、そこまでは出来ず、ハンドル部分程度、消毒をしています。	1個別化関連、消毒・除菌関連
40	複数人に同一用具を使用することは、減らせても、無くす事はできません。やはり原点は使用後の消毒などかと思いますがどこまでやれば適切かが、わからないので業務量は増えている状況です。どこかで、どこまでやれば適切という線引きがあるといいのかなと感じてしまいます。	1個別化関連、消毒・除菌関連
41	汚染時の取扱いに手間がかかること	2コスト・時間・労力関連
42	日常的に多くの人が触れる手すりやドア等は消毒を実施できているが、福祉用具にまでは手がまわらない状況にある。	2コスト・時間・労力関連
43	マンパワーの問題もあり、全てに完全に手を伸ばすことは難しいため、必須な点、方法を見極めていく必要がある。	2コスト・時間・労力関連
44	限られた用具数で使い回さざるを得ない。	2コスト・時間・労力関連
45	感染予防のためには共有物を減らすことが大切だが、予算の関係もあり、多くの用具を揃えることが困難であり、どうしても共有してしまう事がある。	2コスト・時間・労力関連
46	消毒の手間時間がかかる 職員に周知しても実践が不十分に感じている。	2コスト・時間・労力関連
47	通常業務にさらに消毒などの追加的業務が発生することは職員配置上の問題から困難である。	2コスト・時間・労力関連
48	福祉用具消毒、洗浄時の代替用具	2コスト・時間・労力関連
49	福祉用具を複数の利用者が使用した場合、その都度消毒をすることになるため、通常より時間がかかること、それから消毒をすることで用具がはやく傷むのではないかと考える。	2コスト・時間・労力関連
50	予算等の関係上、共有することが多い。(個人専用にはできない)	2コスト・時間・労力関連

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【特養・老健つづき】

No	記述内容	区分
51	福祉用具の消毒に係る時間と手間が介護職員の負担になっている。	2コスト・時間・労力関連
52	洗浄・消毒の負担が軽減できればと思います。	2コスト・時間・労力関連
53	都度消毒を実施しており、業務量が増大。	2コスト・時間・労力関連
54	入所施設のため、機器の種類によっては一つのを複数の入所者に使いまわすことがありましたが、コロナ禍では、その都度、消毒をしなければならない手間を考え、できるだけ入所者固定で使用しています。しかし、入所者の状態像変化や重度化に伴い、福祉機器も多様なものが必要となり、それを入所者人数分そろえるのは、経営状態を圧迫しています。	2コスト・時間・労力関連
55	予防のための消毒等にかかる時間、物資、労力等が大変（人物金）	2コスト・時間・労力関連
56	定期的に福祉用具の清掃を行いたいが、人間的に困難である。	2コスト・時間・労力関連
57	感染対策物品高騰による費用の増大	2コスト・時間・労力関連
58	限られた個数の中で感染予防に取り組む難しさがある。必要な個数を準備するためには、予算と保管スペースに課題がある。	2コスト・時間・労力関連
59	完全な個別対応品には、購入の費用不足 消毒の手間がかかる	2コスト・時間・労力関連
60	車いすの個別化が望ましいが予算の関係で難しい。	2コスト・時間・労力関連
61	予防策を継続するうえでのコストの増。	2コスト・時間・労力関連
62	購入費用や収納場所の問題。	2コスト・時間・労力関連
63	ユニットが閉鎖した場合、福祉用具や感染キットを配備するが、どれだけ足りなくなるか不明(まだ事案がないため)。	3サービス内容、業務内容
64	清掃についてのマニュアルはありますが、感染症対策としてはありませんので、事例などができると参考にできると思います。	3サービス内容、業務内容
65	特殊入浴おける感染症対策について。	3サービス内容、業務内容
66	設置型リフトなど、業者によるメンテナンス、点検があり、どうしても外部から施設へ入っていただく機会が出てくる。外部からの感染を防止していく為、業者の方の感染有無には注意が必要である。また、共有でのスライディングボード等は個別に用意し対応が必要である。個別で用意できていない事あり、購入の検討をしていく。	5接触リスク
67	清掃、消毒が行いやすい構造だとありがたいです。	8用具の変更・用具への要望
68	車いすや歩行器などの洗浄や消毒を行う機械があるとよいと思います。	8用具の変更・用具への要望
69	消毒しやすい器具の普及。	8用具の変更・用具への要望
70	福祉用具を購入する際、値段があまり変わらないのであれば、抗菌機能のある福祉用具を選択すると思う。	8用具の変更・用具への要望
71	個別使用が全員に行き渡ればよいとは思いますが、身体機能の衰えなどから使用機種の変更などが生じた際に、在庫を抱える余裕が無いので、安価なレンタルができればよいのかもしれない。	8用具の変更・用具への要望
72	車いすの消毒がしやすい型が多数あり、今後は感染予防を考えた車いすに変えていかなければならないと思った。	8用具の変更・用具への要望
73	アルコール消毒が可能な材質への変更（プラスチック、布などの素材では変色をきたす）。	8用具の変更・用具への要望
74	消毒には限界があるため車椅子など丸洗いできるものが今後必要になると思います。	8用具の変更・用具への要望
75	どんなことも習慣だと思うので、従事者の教育が課題	9職員に関する教育・心配
76	福祉用具の消毒方法の説明や感染症予防に対する理解を福祉用具を提供する側からされる側へしっかり説明することが必要だと思う。	9職員に関する教育・心配
77	専門的な相談や、入院できるコロナ病床のバックアップ	10その他
78	車椅子などは補助金に適用されないことに困っている。	10その他
79	施設内で台数に限りがある福祉用具を使用している場合、感染予防のために使い回しができず困ったことがあった。(汚染等で洗濯し数日使用できない、台数に余剰がない)。	10その他
80	介護に於いての1ケア1手洗い、消毒、マスク、ゴーグルの徹底が強化される中、福祉用具についてはそれに比べ厳重な徹底はされていません。福祉用具の数に限りがあるので、複数の利用者に活用している現状です。今後、感染対策や衛生面を考えると改めて取り組まなくてはいけない課題です。	10その他

■Q8 福祉用具の感染症予防に取り組んでいくうえでの課題(種別ごと)

【種別不明】

No	記述内容	区分
1	意識の低下することなく、消毒をこまめに行い感染予防を行う。	1個別化関連、消毒・除菌関連
2	消毒液による製品の劣化が気になります。	1個別化関連、消毒・除菌関連
3	コロナ患者が使用したベッドなどのレンタル品回収について統一されたガイドラインが必要。(作業者の安全のため重装備で訪問させたいが、本人や家族に説明しづらいため)	4陽性者・感染との関わりについて
4	自宅への訪問を控えてほしいとの依頼から、実態の把握が難しく、実際は生活に困りがでてきているも、対応ができない自宅もある。	6実態・実情把握の課題
5	デイケアにおける入浴支援に対し、家庭環境に適応できる福祉用具の検討・導入を早急に進める必要を感じている。	8用具の変更・用具への要望
6	福祉用具事業所に任せており、対策をしている事業所を聞かれた時には伝えている。	10その他
7	倉庫での保管 デモ対応品の増加。	10その他

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【区市町村】

No	記述内容	区分
1	接触感染を防ぐため、使用後に消毒すること。	1個別化、消毒・感染対策関連
2	人の手洗いと同様に福祉用具もアルコール消毒等を徹底する必要がある。	1個別化、消毒・感染対策関連
3	感染防止の観点から、外出や人との関わりを控える高齢者が増加していると考えます。居宅での時間が増えると居宅内での事故も増えると思うので、これを防ぐ為に福祉用具の活用は重要だと思います。自粛による運動量の低下等、免疫力低下で逆効果も不安視されていることから、福祉用具選定の際には室内外で利用する用具を検討することが重要だと思います。	2用具の拡充と適正利用
4	在宅で過ごされる方が増えることが予想されるので、これまで以上に、特殊寝台や付属品、車いすなどの需要が高まると思われます。	2用具の拡充と適正利用
5	在宅介護を推進していく中で、感染症予防に引き続いて取り組んでいくほか、用具の拡充等の見直しと適正利用を図っていくことが重要だと考える。	2用具の拡充と適正利用
6	福祉用具を安全に適切に利用するためには、継続的なモニタリングが大切であると考えます。「withコロナ時代」においても、アセスメント・モニタリングのうえで、適正な利用ができると良い。	2用具の拡充と適正利用
7	利用者との密接を防ぐために、福祉用具が活用できることもあるという提案が重要（例えば移乗関連用具）。	4情報提供・有効性のアピール
8	感染予防に配慮しつつ、丁寧に利用者の声を聴くこと。	6コミュニケーション・情報共有
9	福祉用具購入でなく、福祉用具貸与となると、保険者が関わる機会がほとんどなく、詳細把握しておりません。	9その他

【地域包括】

No	記述内容	区分
1	徹底したコロナ対策。	1個別化、消毒・感染対策関連
2	訪問時のマスク着用等の感染症対策。	1個別化、消毒・感染対策関連
3	居宅に関してはリースを勧めている。 施設は車イス、杖等、個別で使用するものは個別化。	1個別化、消毒・感染対策関連
4	感染予防の徹底。	1個別化、消毒・感染対策関連
5	消毒対応等の徹底かと・・・。	1個別化、消毒・感染対策関連
6	抗菌対策や手入れや掃除のしやすさなどが求められていくと思う。	1個別化、消毒・感染対策関連
7	清潔が保てるか（掃除のしやすさやコンパクトにすることで室内で管理がしやすい等）。	1個別化、消毒・感染対策関連
8	他人が使ったモノに対して、敏感にとらえる人が出てくる。貸与の用具については、一定の消毒・洗浄の基準がはっきりしていた方が良いと思われる。	1個別化、消毒・感染対策関連
9	貸出用の物品の数量を限定すること。消毒の取り扱いについて責任者を設け、職員間での周知徹底すること。そのことに対し、予算が生じるため、予算計上すること。	1個別化、消毒・感染対策関連
10	抗菌されていると安心です。	1個別化、消毒・感染対策関連
11	適宜消毒や、大勢の人が触らないように個人に限定して利用するなど、利用の仕方は、感染症予防以外、普段でも参考になると思います。	1個別化、消毒・感染対策関連
12	外出機会の減少に伴うADLの低下があるため必要性は高くなる。	2用具の拡充と適正利用
13	使えるものは使ってもらい、室内での運動機会確保につなげたい。	2用具の拡充と適正利用
14	外出を控えることによって身体機能が低下し、歩行補助具が必要になった方が増えました。悪路でも歩きやすい歩行器などが増えると良いと思います。	2用具の拡充と適正利用
15	誰でも使いやすい「誰でもタブレット」など集まらない事に対処出来るようにする。 耳の不自由な方へ、会話を文字化する端末の一般化(大きな声=飛沫が出やすいのと、そもそもコミュニケーションがとりにくいので)。	2用具の拡充と適正利用

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【地域包括つづき】

No	記述内容	区分
16	マスクやパネル等により声が聞こえにくくコミュニケーションがとりづらくなっている。それを緩和するような福祉用具があったらよいと思う。また、認知症でマスクを着けていられない方が多く、感染予防に対する不安が大きい。そういった方への感染予防に関する福祉用具があったら開発してもらいたい。	2用具の拡充と適正利用
17	下肢筋力の低下などがあり歩行器のレンタルの希望が多い。	2用具の拡充と適正利用
18	複数の人が利用する手すり等の素材の工夫(抗菌作用があるもの)消毒清掃しやすい素材のものでかつインテリアとしてもおしゃれな物が好まれるのではないかと思います。	2用具の拡充と適正利用
19	コロナでの外出自粛による機能低下があるため、外出しやすい環境づくりやけがの防止の視点が重要。	2用具の拡充と適正利用
20	消毒可能な素材や非接触スイッチ等、接触せずに使用できるもの。消毒しやすい形状。認知症高齢者や耳・目が不自由な方が使用しやすいコミュニケーションツール。	2用具の拡充と適正利用
21	思うように外出や運動ができない状況なので、福祉用具を活用してADLの低下を防ぐことが重要。	2用具の拡充と適正利用
22	今までの使用しやすいデザインの考え方の中に消毒しやすい構造も取り入れてほしい。(ユニバーサルデザイン)例えば使用した部位の分解ができて消毒しやすいサイズや形状等。	2用具の拡充と適正利用
23	人との接触を避ける方も多く、物で寄り添う福祉用具を活用しての支援はますます増えると思う。	2用具の拡充と適正利用
24	Q8同様、専門事業所の協力を得るなどし、包括からの業務から切り離す必要があると思う。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
25	フレイル予防とコロナ感染予防のバランスを図り、個別計画に沿った活用のあり方を検討していくことが大切だと考えます。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
26	退院調整が加速するので、スピーディーな用具調達が必要になっている。自宅でも人も増えているので、用具のメンテナンスでの専門員訪問で体調等も一定アセスメントをできると良い。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
27	正確な情報提供。	4情報提供・有効性のアピール
28	展示会の開催が難しくなっているため、安全な対応をした上で、体験したり、情報交換できる小さな場所で少人数での開催ができればいいと思います。	4情報提供・有効性のアピール
29	福祉用具を直に見る場所と共に、オンライン上でも杖や歩行器、手すりを見ることができるとよりいいと思います。	4情報提供・有効性のアピール
30	他者が入浴介助する際の注意点を広める。	4情報提供・有効性のアピール
31	自立支援のための福祉用具活用の視点は継続して必要性の判断、アセスメントの重要性の共通認識。	4情報提供・有効性のアピール
32	福祉用具業者から感染症対策についての説明を行うことで、安心して福祉用具貸与が行えると思います。	4情報提供・有効性のアピール
33	人の力に頼らない環境整備の方法とその推進。	4情報提供・有効性のアピール
34	全般的に言えることだが、相談自体を控える方がおられるため、感染症予防について安心して頂く努力が必要なのかもしれない。	4情報提供・有効性のアピール
35	元々福祉用具類は個人で使用する物だが、歩行が不安な高齢者が外出先：公共施設等(市役所、市民会館や、デパート等)で使用する車イス等の感染予防対策(消毒等)は、公共施設も十分配慮していると思うが、個人での予防対策の知識も必要だと思う。	6コミュニケーション・情報共有
36	レンタルに関して消毒体制が整っていると認識しているので、改めてコロナだからと言って何か変える必要性を感じない。	9その他
37	今まで通り、必要な方に迅速に提供できれば良いと思う。	9その他

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【用具貸与】

No	記述内容	区分
1	選定や申込み、契約等を出来るだけ1度に出来るようにし、なるべく訪問の回数を減らす。	1個別化、消毒・感染対策関連
2	ITでのやりとり、担会も良いと考えました。研修も同様です。	1個別化、消毒・感染対策関連
3	事業所内での身体、用具の消毒の徹底。 利用者宅訪問前後の手、用具の消毒の徹底。	1個別化、消毒・感染対策関連
4	Web電話での現地確認。	1個別化、消毒・感染対策関連
5	アルコール消毒。	1個別化、消毒・感染対策関連
6	弱者対象なので、家庭訪問が全てと思うので、我が社は小さい事業所のため、Q8の通り(予防について、充分すぎるほど気をつけてやること)です。	1個別化、消毒・感染対策関連
7	抗菌作用のある用具の開発。	1個別化、消毒・感染対策関連
8	抗菌・抗ウイルス製品の普及。	1個別化、消毒・感染対策関連
9	定期モニタリングの際にしっかりとした衛生面の管理も欠かさず行っていく必要がある。	1個別化、消毒・感染対策関連
10	利用者さんには、レンタル商品お届けの際に、用具の洗浄、消毒済の事を充分伝える必要あり。でないと、他人の使用したものを嫌がる人もいますので。	1個別化、消毒・感染対策関連
11	貸与品の感染に対する安全性を確保する事。	1個別化、消毒・感染対策関連
12	福祉用具に関しては「触る」ことを避けることができないので、消毒しやすい素材や、抗菌素材のニーズが高まるのではないかと考えています。	1個別化、消毒・感染対策関連
13	感染防止の徹底。	1個別化、消毒・感染対策関連
14	点検時などベッド下や用具を触るので、相手に不快感を与えない程度に、マスク等感染予防と、点検時に簡易的な消毒・除菌を行う。	1個別化、消毒・感染対策関連
15	予防の徹底。	1個別化、消毒・感染対策関連
16	感染症が流行しているからと言って必要な福祉用具を導入しないわけにはいきません。ご利用者・事業所共に感染防止の意識をしっかりと持ちお互いに、うつさない・うつらないようしていかなければならない。	1個別化、消毒・感染対策関連
17	今まで行ってきたことは、コロナだけでなく免疫力や抵抗力の低い、ご利用者様にとっては必要なことなので、続けることが重要。	1個別化、消毒・感染対策関連
18	納品時の密、用具の除菌を徹底すること。	1個別化、消毒・感染対策関連
19	レンタルではなく、一人ひとりが自身の福祉用具を持つことが理想です。ですが、それも難しいこともあると思います。利用される方が気持ちよく使えるように、消毒作業を徹底することはもちろん、レンタルの場合は、一緒にアルコールウエットティッシュなどをお渡しするというのも一つの手かな、と考えます。	1個別化、消毒・感染対策関連
20	ご利用者様と接する機会が多いので出来る限り感染予防に気を付ける。	1個別化、消毒・感染対策関連
21	材質の見直し。抗菌・メンテナンス。	1個別化、消毒・感染対策関連
22	福祉用具使用方法の説明だけにとどまらず、消毒アピールも併せてきちんと行っていく必要があると考えます。	1個別化、消毒・感染対策関連
23	除菌消毒等のできる様、備品は準備。	1個別化、消毒・感染対策関連
24	今後も感染症対策でご利用者宅、事務所に入るときは必ず手指の消毒とマスクの着用を徹底する。	1個別化、消毒・感染対策関連
25	マスク着用や消毒等、今迄の対策を続ける事でコロナ以外の感染も防げる。	1個別化、消毒・感染対策関連

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【用具貸与つづき】

No	記述内容	区分
26	マスク着用と体温の確認。訪問前の除菌も必要。また福祉用具もしっかり梱包しコロナが付着しないようにする。	1個別化、消毒・感染対策関連
27	今までにも、いろんな商品に「抗菌」がついていますが、福祉用具ではあまり目にしません。アルコール消毒も大変必要ですが、アルコールによる肌荒れに悩む方も多いため、少しでも減らしていけるとよいと思います。	1個別化、消毒・感染対策関連
28	高齢者・疾患がある方が主なご利用者なので、コロナにならない・うつさない。が重要と考えます。	1個別化、消毒・感染対策関連
29	消毒予防の徹底をし、福祉用具を活用し、引きこもりや下肢能力低下を防ぐ。	2用具の拡充と適正利用
30	自宅内での生活時間が長くなるため、福祉用具の利用による自立支援の活用を詳しく説明していく。 (誤記修正)	2用具の拡充と適正利用
31	外出機会が減り、ADLは下がり、在宅、施設の需要が上がります。	2用具の拡充と適正利用
32	IoTの活用により、福祉用具を通して利用者さんのお体の状態を確認できる。	2用具の拡充と適正利用
33	コロナ感染を恐れてヘルパーさんやデイサービスを控えている方がおり、そういう方にこそ、自宅で福祉用具を上手に活用してADLの低下を予防できる効果があると感じています。	2用具の拡充と適正利用
34	自宅での生活を送る方が増えていくと思います。自宅での自立した生活を送る上で、福祉用具は欠かせないものとなると思われます。訪問が多くなるため、手指消毒、マスク、フェイスシールドを徹底して参ります。	2用具の拡充と適正利用
35	ベッドにセンサー等貸与事業所や居宅等に緊急連絡通報等出来る仕組み、AIやICT等の対応型福祉用具の発展が必要と感じます。	2用具の拡充と適正利用
36	車イスを室内室外共用での利用はできるだけ止めて、特に通院などでの利用が多い場合は、室内用と外出用と分けて使うことを提案。又、1台で共用する場合の消毒の重要性を説明する。	2用具の拡充と適正利用
37	人と接触しないよう、自力で移動できるように用具を用いる。	2用具の拡充と適正利用
38	施設やサービス等の集団で過ごす場所への出入りが厳しくなり、外出自粛によるADLの低下により、福祉用具の用途が増えると予想します。特に室内で使用できるものに需要が集中するのではと思います。	2用具の拡充と適正利用
39	介助者と密着しなくても使用できる用具。	2用具の拡充と適正利用
40	接触回数、接触時間を減らして行く為の電子化等（ITの活用）。	2用具の拡充と適正利用
41	利用者が減った要因は感染することが怖くデイサービスに行くことや外出することが難しく、自宅に一人きりにさせることが出来ないために施設等に入所された方がほとんどです。自宅で生活するにあたり福祉用具は無くしてはならないものです。介護保険でレンタルできない双方向通信が可能な機器や排泄感知、バイタルなどをモニタリングできるものなどがあれば、画面越しではありますが家族と食事を食べた り、外出困難な生まれたばかりのお孫さんなどの顔を見れたり、距離関係なしに利用者の様子・ご家族の様子を確認できる手段はもう当たり前の時代になっています。いち早くそういった技術を取り入れたものを介護保険で福祉用具と認めて使用できるようにしていかなくてはならないのではなからずと思います。今後もさらに幅広く介護保険で使用できる用具を拡充しいろいろなことに対処・対応できるようにしていくことが必要ではないでしょうか。	2用具の拡充と適正利用
42	自宅からでない方が増えている為、筋力が低下し動かない方もいらっしゃいます。杖や歩行器を活用し家の周り自宅内での運動に活用していただければと思います。	2用具の拡充と適正利用
43	抗菌仕様の用具の開発。	2用具の拡充と適正利用
44	用具を納品することで利用者の負担が軽減できるので、もっと柔軟な対応が出来た方がよい。支援の方に車いすや徘徊センサー、移動用リフトなど。	2用具の拡充と適正利用
45	福祉用具の活用はコロナ時代であっても重要視されるものと思います。在宅のあり方が見直されると同時に役立たせる範囲は拡大すると思われます。	2用具の拡充と適正利用

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【用具貸与つづき】

No	記述内容	区分
46	転倒予防や自立支援に向けて安全に在宅生活が送れるように今後もサービス提供していきたいと考えております。	2用具の拡充と適正利用
47	双方の感染予防を図るためにも、これからは非接触での身体介護術が求められていくと思います。その中で福祉用具の活用の重要性が高まってくるため、私たち専門相談員が今まで以上に啓蒙活動に取り組んでいくべきと考えております。	2用具の拡充と適正利用
48	福祉用具を利用することで、ヘルパーや家族が接触しての介助を減らせるケースがある。	2用具の拡充と適正利用
49	人の手による身体介護が困難になる状況において、利用者本人の自立の可能性を広げる方向で福祉用具を活用していくこと重要であると考えます。	2用具の拡充と適正利用
50	マンパワーのサービス以外に福祉用具というモノのサービスが広がることを期待しています。	2用具の拡充と適正利用
51	筋力維持のために、自宅でのトレーニング機器に介護保険が使えればとも思いますが。福祉用具貸与事業所に限らず、訪問リハビリとセットとか。	2用具の拡充と適正利用
52	自宅での生活時間が長くなるので、転ばない環境づくりの必要性が今まで以上に必要と感じております。	2用具の拡充と適正利用
53	室内での生活時間が長くない方が良いが、助教に応じてはこれからも緊急事態宣言の発令などがあり自宅で過ごす時間等も増えていく可能性がある。自宅での生活の中で環境を整備できる福祉用具は必要だと考えている。	2用具の拡充と適正利用
54	福祉用具は介護サービスの中で唯一人と人が対面しなくも継続できるサービスである。高齢者も人との接触を自ら減らす中、福祉用具を活用する事でより自立した生活を構築出来ると考える。	2用具の拡充と適正利用
55	通所や施設に行くことに抵抗を感じる方が多くなっているので居宅での生活での不便を解消したり、介護者の負担軽減をできることが用具が重要だと思う。	2用具の拡充と適正利用
56	在宅で過ごす時間が増えると思われるので、転倒等予防用具の様々な商品開発が必要と思われる。	2用具の拡充と適正利用
57	利用者・家族・病院・行政・福祉事業者との全ての連携が大事だと思ったが、コロナ患者の福祉用具選定や納品回収については、直接モニタリングできない為トップダウン方式で提案が良いように思った。映像での見守りシステムが発展していくと良いと思った。	2用具の拡充と適正利用
58	人力に頼らず自身の持てる力を引き出し、1人で行える動作を増やす、或いは抱きかかえず介助者と利用者の距離を保ちながら介助ができる福祉用具は、まさにWithコロナ時代にますます必要となり、活用されるべきサービスと考える。	2用具の拡充と適正利用
59	在宅ワーク、在宅サービスリハ等との連携強化	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
60	モニタリング手法の見直しや検討。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
61	訪問頻度を減らすために取得書類を減らすべき。取得しなければいけない書類が多すぎる。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
62	対面しての書類の交付(記入捺印含む)の省略やデジタル対応。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
63	外出する機会が減ってしまい、下肢筋力低下による転倒が心配です。ケアマネージャー・ご家族としっかり連携し、安全な在宅生活が送れるよう、用具屋としてのサポートを行います。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
64	ご逝去等での福祉用具の回収をすぐに希望される方が多いですが、1週間位その場に置いていただきたい。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
65	カンファレンスなど無理に行わず、出来るだけ少人数、短時間で終わる工夫が必要。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【用具貸与つづき】

No	記述内容	区分
66	モニタリング訪問が電話主体になり、インシデントに発展しないよう用具が安全に活用できるよう訪問を併用しておこなうことが必要と感じます。軽度者の例外給付申請について、必要な方にスムーズに行えるようコロナ禍で医師の意見書や担当者会議など遅れてしまう場合の対応もあるとよいと思います。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
67	福祉用具の自費レンタルサービス廃止。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
68	お試しの有り方や基本「送料は取らない」との部分。現在メーカーからの仕入れ時の送料は業者が負担し、利用者には送料を取らない状況ですが、商品配送形態の見直しが必須な中、送料を取っても良いとの法律の改正が必要です。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
69	継続的にサービスを提供出来る体制作り。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
70	退院調整にて今までは家屋調査やカンファレンスにより状態把握万全での準備が行えておりました。ここ一年で弊社が新規居宅様から依頼を沢山受けている部分は退院調整時の難しさにあると思っております。弊社はスタッフ全員国家資格やケアマネ資格を有するスタッフでの対応であり、介護医療の専門性が高いと思っております。今までは安さで勝負している事業所様もあったかと思いますが、商品指定での納品という時代ではなく、患者様に会えずとも病状を聞くだけである程度状況把握をし個別理解の元環境選定をしていくという面では、スタッフのスキルが試されるのだと感じております。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
71	少人数での納品や契約時の人数制限など、密にならない状況を増やしていきたい。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
72	担当者会議は極力利用者宅で行わず、ZOOMや照会票などで対応するよう、居宅事業所に働きかけている。利用者宅への不要不急の訪問は極力行わないようにしていく。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
73	モニタリングや点検の方法などの再考（電話、オンラインの活用）、貸与品の消毒の徹底。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
74	インターネットを活用し、動画などで使用方法などが利用者が閲覧できる環境を整えると良いと考える。また他職種の方だけでなく福祉用具全体がデジタル化が進んでいなさすぎて業務効率が悪く訪問回数も多くなっている。福祉業界は高齢の職員も多く、デジタル化への抵抗が強いと感じている。国が率先して進めて欲しい。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
75	陽性者へのサービス提供方法。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し
76	物理的には接触を減らすために自助具の有効利用を利用者に携わる多くの人に知ってもらう。	4情報提供・有効性のアピール
77	マスク、ご利用者様宅の入退出時の消毒等の感染対策は続けていく。またこれは厚労省の管轄でここまでは関係ない話かもしれませんが、この状況下で4月より上限価格の再設定があり、上限価格が大きく下がった。弊社は都内で西日本は東京のレンタル価格の半額と言われている。そこで平均価格の算出をし上限価格を設けることはナンセンスはなほだし、他地区と違って経費も大きい。当然売り上げも下がることになる。ただでさえ利益、社員の給与が少ない福祉用具業界でなぜこのようなことをするのか理解できない。	5コスト・時間・労力関連
78	モニタリングの義務化、上限価格の設定等、厚労省の方針は正論ではあるが、現実を直視していない。零細事業所では、上記のモニタリング義務化や上限価格の修正作業等相当なマンパワー（コスト）が要求されており、採算悪化要因となっている。モニタリング報酬の検討、上限価格は偏差値ではなく絶対値±の幅提示に加え3年程度のインターバルで見直しなど現場への負担軽減策を積極的に考えるべきと史料する。	5コスト・時間・労力関連

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【用具貸与つづき】

No	記述内容	区分
79	外出自粛で在宅時間が長くなり、在宅勤務の浸透によって家に家族がいる時間が長くなる。更にはヘルパー等外部からの人の出入りを敬遠することが考えられることから、福祉用具の需要は益々増えると考えている。貸与事業所がより業務に集中できるように、駐車許可証の発行を認めることや、適正な感染対策をとっている事業所への加算も検討して頂きたい(上限価格の導入により、売上減となり厳しい事業所も見受けられるため。特に駐車スペースの関係から都心で2名体制としている事業所へは配慮して頂きたい)。	5コスト・時間・労力関連
80	福祉用具専門相談員の感染リスクと報酬が見合っていない。処遇の改善をしなければ担い手も少ない。	5コスト・時間・労力関連
81	実際お客様に会わないと分からない事が増えており、各関係機関との透明性や正しく伝える事ができる状態になってほしい。	6コミュニケーション・情報共有
82	福祉用具を利用することで、在宅生活が安全に出来る可能性はあると思うが、CMの訪問も控えていたり、担当者会議も行わない、利用者宅の訪問も限られている中では中々アセスメントが難しいと感じている。	6コミュニケーション・情報共有
83	訪問(対面)せずに、モニタリング等の業務をする機会が増え、電話のみで福祉用具の不具合など聞き出す事が難しいので、じっくりとお話を伺い利用者様が感じている事を引き出すコミュニケーション能力の向上が求められると思います。	6コミュニケーション・情報共有
84	コロナ感染情報の早期共有。	6コミュニケーション・情報共有
85	情報共有。	6コミュニケーション・情報共有
86	コロナであろうと 必要な方がいたら対応していくのは変わらないので、コロナで在宅にすることが増えているので 色々な提案をして 安全にすごせるようサポートしていきたいです。	9その他

【特養・老健】

No	記述内容	区分
1	各福祉用具の消毒方法のマニュアルがあったら便利だと思います。	1個別化、消毒・感染対策関連
2	消毒しやすい、洗浄しやすい構造だと助かる。	1個別化、消毒・感染対策関連
3	車イスの隙間の清掃がなかなかできないので、対応を考えてもらいたい。	1個別化、消毒・感染対策関連
4	全てが消毒可能な材質であることを望みます。	1個別化、消毒・感染対策関連
5	消毒のしやすさ。	1個別化、消毒・感染対策関連
6	何より使い回しは感染の恐れが大です。個別化を強化していこうと思います。	1個別化、消毒・感染対策関連
7	消毒や清掃しやすい形態や材質だと使用しやすく、衛生的にも良いと思う。	1個別化、消毒・感染対策関連
8	共有ではなく、個別での使用が望ましいが、共有であっても個別であっても適宜消毒が必須と考えられる。	1個別化、消毒・感染対策関連
9	在宅は個別使用ですが、施設内では物品によっては共用使用になるものがあります。消毒の徹底以外に、抗ウイルスかに何か有効な対策があればと思います。	1個別化、消毒・感染対策関連
10	目に見える形(消毒を行うと一時的にその場所の色が変わる等)消毒を行ったことがわかること。	1個別化、消毒・感染対策関連

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【特養・老健つづき】

No	記述内容	区分
11	今以上に用具の個別化が必要。ICT、IoT化が進んでいく過程の中で、職員だけでなく利用者にも分かりやすい機器であってほしい(便利すぎて使いにくい、繊細過ぎて故障が多いなど)。人との接点を残しつつ感染予防ができる機器の活用が望ましいと思う。	1個別化、消毒・感染対策関連
12	用具の個別化(自分専用)や用具の使用前後の手指・用具の消毒の徹底。屋内・屋外で使い分けられる用具は使い分ける。	1個別化、消毒・感染対策関連
13	個別性。	1個別化、消毒・感染対策関連
14	消毒。	1個別化、消毒・感染対策関連
15	清潔保持と信頼。	1個別化、消毒・感染対策関連
16	消毒、個別化。	1個別化、消毒・感染対策関連
17	利用者の使用する福祉用具の個別化は考えていかなければと感じています。スライディングシートやカバーの簡易的商品など、最新の情報を取り入れながら試用を検討しています。	1個別化、消毒・感染対策関連
18	福祉用具のほとんどが入所施設で準備しているが、できるだけ入所する本人に合う車いす等を利用者自身で用意できることが感染防止対策の意味も含めて必要になってくると考えている。	1個別化、消毒・感染対策関連
19	費用や保管場所の問題があり、福祉用具を1人につき1つとはいかない状態であるので、器具の消毒が重要になってくる。消毒や洗浄がしやすい形態であることが重要になると考えられる。継ぎ目がないのと、不具合が出た場合には容易に交換できることは相反する事ではあるが、経済活動がままならない状態では、この2つの事が福祉用具に求められると思われる。クッションなどもなるべく洗浄・消毒しやすい材質が求められると考えられる。	1個別化、消毒・感染対策関連
20	福祉機器のハンドル部分を抗菌・抗ウイルス素材にして、感染のリスクが更に減ると良いと思う。	1個別化、消毒・感染対策関連
21	感染症により人員不足になった場合、入居者様へのサービス提供レベルの維持と職員に掛かる心身の負担の軽減のためにも、福祉用具の活用は必要不可欠と考える。その方の身体状態に合わせて適切な用具を使用する個別性。共用使用機器の衛生面への配慮。	1個別化、消毒・感染対策関連
22	共有使用は原則的に禁止とする。個人持ちにできるように補助制度を強化する。	1個別化、消毒・感染対策関連
23	福祉用具の個別化の徹底。	1個別化、消毒・感染対策関連
24	消毒のしやすさ。	1個別化、消毒・感染対策関連
25	用具を共有する時の消毒。	1個別化、消毒・感染対策関連
26	感染対策・抗菌・抗ウイルス対策・個別化。	1個別化、消毒・感染対策関連
27	共有利用は避け、個人所有にするべきと思う。当施設では、実施済み。	1個別化、消毒・感染対策関連
28	福祉用具が共用で使用されているものは、消毒等を都度行うことが重要で、できるだけ個別に占有して使用いただけること。	1個別化、消毒・感染対策関連
29	清潔の保持。	1個別化、消毒・感染対策関連
30	福祉用具の個別利用。清潔な状態の維持。小まめな清掃と消毒。	1個別化、消毒・感染対策関連
31	個人専用の使用方法が衛生面や有事の際の情報の追跡が行いやすい。	1個別化、消毒・感染対策関連
32	個別化。	1個別化、消毒・感染対策関連
33	感染対策の観点からすれば、用具の個別化が望ましいが価格などにより、施設で複数購入することが困難なことが多い。	1個別化、消毒・感染対策関連
34	福祉用具の個別化や共用する福祉用具の消毒作業が重要になると考えられる。	1個別化、消毒・感染対策関連
35	感染症対策を行い、これからも用具が必要な方に、適切なタイミングで提供できる事かと思っています。	1個別化、消毒・感染対策関連

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【特養・老健つづき】

No	記述内容	区分
36	感染に強い用具(消毒しやすいウィルスが付着しづらい等)の開発や活用方法等の発信。	2用具の拡充と適正利用
37	感染症予防のためのマスクについては、要介護者向きに改良する余地があれば、質の向上が必要かと思えます。	2用具の拡充と適正利用
38	ご利用者に対する効能は勿論のこと、福祉用具を扱う側のメリットも重視した商品開発してほしい。	2用具の拡充と適正利用
39	施設内用と外出用との分別。	2用具の拡充と適正利用
40	体交クッションなど洗濯が行いやすい物を選定するなど、衛生管理という観点からさらに重要になってくると思えます。	2用具の拡充と適正利用
41	職員と利用者の接触の機会を極力減らすための福祉用具選定が重要と考える。	2用具の拡充と適正利用
42	見守りや様々なセンサーの利用が必要となってくるのではないかと思います。	2用具の拡充と適正利用
43	今までは手や人の温もりなどがケアに必要なポイントになっていたが、今後は身体の負担軽減に加え、接触回数の減少や距離の保持、清潔保持の観点から福祉用具の需要はより高まると考える。	2用具の拡充と適正利用
44	重症度の高い患者様が増えていく中で、体位変換に必要な機材(福祉用具を含む)を個別に活用することが増えていくと思われるので、より消毒の必要性が周知(どのように消毒するかも含む)されることが大事だと考えています。抗菌含め感染症対策がしやすい用具の活用についても重要であるとと考えています。	2用具の拡充と適正利用
45	施設の特性や介護度にあった福祉用具の台数の基準などがあればいいと思った。また、製品としても汚れにくい素材等を使ったものが今後選ばれていくと思う。少しずつでもそういった物を施設で揃えられたら感染の心配が減るのではないかと。	2用具の拡充と適正利用
46	介護現場における直接介護では要介護者と介護者の距離が非常に近くなりコロナ禍においてはリスクが高い状況と言える。ゼロの距離から少しでも距離をあげるには福祉用具の活用は必要だと考える。	2用具の拡充と適正利用
47	新型コロナウイルスの感染予防のためご家族からデイサービスに行かないでほしいと言われ、利用ができなくなりADLの低下や認知症状の進行した方が増えたと思われれます。福祉用具を活用し在宅の環境整備を行い、介護予防を行っていく必要があると思えます。	2用具の拡充と適正利用
48	福祉器具を使用して介助するうえで感染リスクなく使用するための工夫。	2用具の拡充と適正利用
49	感染疑いの時点で居室隔離が行われることや、食堂やサロンでの入居者の距離を取るようになるため、見守り機器やテーブルなどが必要となる。また、入居者との密着を避けるためにリフトの使用が進む。	2用具の拡充と適正利用
50	車いす、歩行器等の消毒において、専用の洗浄及び消毒のできる機器の導入が必要かと思えます。	2用具の拡充と適正利用
51	抗菌仕様の標準化。除菌・殺菌のしやすい構造(車いすのシート取り外し可能等)。	2用具の拡充と適正利用
52	洗浄、水切り、乾燥しやすい福祉用具が重要だと考える。	2用具の拡充と適正利用
53	効果はわからないが、滅菌、滅菌作用のある素材は喜ばれると思う(車椅子のシート等)。	2用具の拡充と適正利用
54	コロナ発生時に於いて居室での隔離が重要であるが、介護職員・看護職員の訪室回数をできるだけ少なくすることが重要。その意味でも見守り機器を活用することが重要であると感じている。	2用具の拡充と適正利用
55	感染し隔離対応となった場合でも福祉用具を使い続けられるようある程度数を揃えておく必要がある。	3サービス内容、業務内容の検討・見直し

■Q9 これからの福祉用具の活用やあり方についての重要点について(種別ごと)

【特養・老健つづき】

No	記述内容	区分
56	福祉用具は価格が高いというイメージがあります。又、介入できる知識ある第三者が身近にいない場合、苦勞されてる方はたくさんいます。今時の手段でなくとも、老夫婦でも情報が得られる仕組みが重要と感じます。	5コスト・時間・労力関連
57	福祉用具の活用はとても有効だと思うが、金額も高い為、もう少し手に入れやすいようにしてほしい。	5コスト・時間・労力関連
58	サービス提供に必要な福祉用具の購入は介護報酬に含まれているが、車椅子やベッドはほぼ個人専用とする事が出来るが、共用せざるを得ない物品も少なからず生じる。「福祉用具の個別化」を完全に考えるのであれば、現介護報酬のみでは困難である。	5コスト・時間・労力関連
59	体位交換等、密着して行っている介助について、福祉用具を活用することによって改善できると考えています。しかし、福祉用具全般に言えることですが、コストの面でもっと導入しやすくなると難しい面があると感じます。	5コスト・時間・労力関連
60	収入は限られているが、利用者、職員を守るためにも安い粗悪品は使用できないのでそれなりの物品を使用することになるので、費用面も課題。	5コスト・時間・労力関連
61	リフトなどの一部の福祉用具の使用を推進するには、時間や手間がかかる物もある。スライディングシートすら、それを出す手間、時間が惜しいという意識も根強い。頻繁に使用する介護士が意識して使用を進めることが大切であると思う。	5コスト・時間・労力関連
62	ソーシャルディスタンスをなるべく図れるようなもの：見守りセンサーやサイドテーブル、飛沫予防パーテーションなど工夫利用の例などの情報共有ができるとよいと思います。	6コミュニケーション・情報共有
63	入所施設では施設の負担で標準の福祉機器はそろえなければなりません、利用者の状態像変化や個々の状態にマッチした福祉用具を適宜使用するために、一定の要件で施設入所者も介護保険の福祉用具レンタル対象に加えていただけると状態変化に合わせて適正な福祉機器を使えるようになると思います。	7レンタル化
64	施設入所中でも、一般的なものでは本人の体に合わない場合、割合を在宅と同様（1割）でレンタルできるようになってもらいたい。特殊なものは購入と言われても、購入の同意をもらうほうが難しい。	7レンタル化
65	特養でもレンタル可能にして欲しい。	7レンタル化
66	抗菌コートされた福祉用具の普及とそれに対する助成金があると購入しやすいと思います。	8補助金・助成金
67	福祉用具の購入や見直しに関して、施設の持ち出しだけではなく、補助金や助成金があると施設運営の面でも助かる。	8補助金・助成金
68	感染予防は大切だが、ご利用者がストレス少なく、安心して生活できるよう、使い方を考えていかなければならない。	9その他

【種別不明】

No	記述内容	区分
1	福祉用具の消毒を徹底すること。	1個別化、消毒・感染対策関連
2	車いすや歩行器は外出用と室内用を分けて貸し出しできるようにすべき。室内にウイルスを持ち込まないことが重要と思われるが、タイヤなどの汚れは利用者や家族では落とし切ることが困難。	1個別化、消毒・感染対策関連
3	消毒方法の提示と、このような方法でいつ、消毒完了しているのかといった証明と提示を利用者に示したい（ホテルなどで便座などに消毒済となっているが、明確ではなくて掃除済という解釈だと思われるが、例えばの例でそういった事）。	1個別化、消毒・感染対策関連
4	器具の消毒の徹底 消毒物品の自宅内設置場所の確保。	1個別化、消毒・感染対策関連
5	福祉用具利用による人に頼らない部分でのQOLの改善。	2用具の拡充と適正利用

■Q10 福祉用具に関して役立つと思われる情報について(種別ごと)

【地域包括】

No	記述内容	区分
1	特に歩行車(機)について、室内はよいが、室外で小回りがききにくい、直進しづらい等、利用者の声多い為、でこぼこ道、傾斜でも楽に押せるものの情報。	1用具関連
2	定期的に福祉用具を見ることが出来る機会がありましたら、情報提供を頂けると助かります。	1用具関連
3	新しい用具の情報と、用具を活用した好事例。	1用具関連
4	身体的に不自由な部分や疾患別に、必要そうな用具がわかるフローチャート。	1用具関連
5	福祉用具活用が自立支援につながっている事例。	1用具関連
6	個々の福祉用具の子細な情報が欲しい。また、利用方法などのノウハウの発信もしてほしい。自助具などの情報提供。	1用具関連
7	運動を兼ねた福祉用具の提案。	1用具関連
8	感染対策やWithコロナにあった福祉用具の開発があれば情報提供してほしい。	1用具関連
9	新型コロナウイルスの予防の対策をとった、福祉用具の活用事例、その可能性の提案等。AIを利用したコミュニケーションツールの利用など。	1用具関連
10	福祉用具貸与事業所の消毒環境等を評価し公表していれば、市民に分かるよう提示していく工夫が必要となると思います。	3取組周知・有効性のアピール
11	相談するときに、感染予防か転倒予防かどちらが優先度が高いのか考えると思うので、転倒がその後の生活に与えるリスクについて。	3取組周知・有効性のアピール
12	コロナに対し各自治体の取り組み、現状をわかりやすく。	7自治体の取り組み関連
13	3割負担者がレンタル品の販売額に到達する負担期間を越えたら、そのまま買い取れてメンテナンスの費用を負担(自費)などする支給方法があると良いと思う。	8費用関連
14	通所介護、訪問介護は新型コロナで休みになってしまう。 訪問看護、福祉用具は休まずサービス提供できたので助かった。	9その他

【用具貸与】

No	記述内容	区分
1	お客様宅で行われる担当者会議の際、かなりの密となっており、感染リスクも高くなるので、前もって情報交換しておき、最小限の人数で短時間で行われるのが望ましいと思います。	1用具関連
2	電動車イスやセニアカーの活用。	1用具関連
3	取り扱いなど動画で見ることができれば、ご本人以外への説明も行うことができるため、増えるといいと思う。福祉用具機器の紹介なども、新規であればある程度期間を設け、事業所向けと一般向けとを分けることで、ネット環境のウィルス対策にもなるはず。	1用具関連
4	多機能型電動車椅子は利用者の自立を促進できる可能性を有しています。	1用具関連
5	罹患した高齢者が在宅復帰して元の生活に戻れた事例があれば教えてほしいです。	2専門知識・動画研修

■Q10 福祉用具に関して役立つと思われる情報について(種別ごと)

【用具貸与つづき】

No	記述内容	区分
6	個別の対策。例えば、福祉用具に特化した対策や福祉用具ならではの対策等。	2専門知識・動画研修
7	動画での研修がとても助かっている。空き時間に見ることができ、何度も見返すこともできる。今後もYouTube動画での情報提供を続けていってほしい。	2専門知識・動画研修
8	福祉用具が介護予防に役立つと宣伝すべきと思う。	3取組周知・有効性のアピール
9	これは財団がする役目なのかどうかわかりませんが、介護保険サービスあるいは福祉用具レンタルのシステム等について一般にはあまり周知がされておらないと考えます。地域包括支援センター等も力を入れて頂いていると思いますが、介護保険サービスについてもっと周知ができれば高齢者などに普及が進むことは確実だと思います。普及が進めばフレイル等の予防にも十分繋がることとなります。今後共、よろしくお願ひ申し上げます。	3取組周知・有効性のアピール
10	感染症予防対策。	4感染症関連
11	感染対策の徹底。	4感染症関連
12	情報に関することではないが、人員基準（管理者の兼務）については、もう少し柔軟に考えられてはどうか。この点は、各県によって見解がまちまちだが、本来そうした相違があること自体が問題。現場は人材不足の状況下で、押し寄せる業務負担で悲鳴をあげている。もっと現場に寄り添った運営を望みたい。	5法、ルール関連
13	制度改正や、各保険者独自の施策について、取りまとめてくれると嬉しい。区によって障害含めて利用できるサービスが異なるので、利用者への案内が非常に複雑。	5法、ルール関連
14	介護保険改正等に係る情報は随時挙げていただきたい。	5法、ルール関連
15	居宅ケアマネとの連携が今まで多かったかと思ひます。これからは今まで以上に看護師やリハビリスタッフとの直接連携が必要になってくると思ひておひます。弊社の取り組みとしては、24時間、お客様だけでなく多職種と電話連携を行える環境を作っておひます。訪問頻度が少なくなっている中、今までは全てケアマネを主とした連絡網でしたが、縦のつながりでなく、横のつながりになっていくとより良い提供が行えると思ひます。最後に、、、担当者会議をしてからの納品という大前提がありますが、今の時代、患者様の状態変化に伴う迅速な対応が必要になってきておひます。照会や暫定プランにて即日対応させてくださるケアマネさんも多くおひますが、今必要な福祉用具を担当者会議してないとの事で1週間程納品を待たされる事もおひます。皆で集まる事も難しい中、その部分をもう少し見直して頂けると幸いです。	6業務の簡略化、見直し
16	居宅事業所において、いまだにメールも使えないような事業所があるのは信じてたい。いくらこちらが感染予防を訴えても、居宅事業所がそんな状態では話にならない。利用者宅への訪問スタイルを変化させる必要を、コロナ禍において改めて認識した。	6業務の簡略化、見直し
17	各自治体それぞれ独自に行っている制度や給付事業の情報共有をしたいと思ひておひます。	7自治体の取り組み関連
18	毎年人件費は上がるのに、上限があることで、値下げや自費依頼が多く利益にならず、介護度が低い方の可否申請をしてくれない。計画書や感染予防など業務は増えるのに、それに見合った報酬になりづらい。	8費用関連
19	お待ちしてます。	9その他
20	今後ともよろしくお願ひいたします。	9その他
21	高齢者の脚力低下は否めません。現場で驚いています。	9その他
22	当社でも感染症予防に役立つ福祉用具の情報提供を行っておひます。	9その他
23	正しい理解。	9その他

■Q10 福祉用具に関して役立つと思われる情報について(種別ごと)

【特養・老健】

No	記述内容	区分
1	正しい知識の提供、車イスのメンテナンス、故障の対応、部品の取り寄せ、廃棄について。	1用具関連
2	福祉用具などが安価で購入しやすくなると良いです。	1用具関連
3	最新の福祉用具の紹介の他、一工夫加えた福祉用具の活用など。	1用具関連
4	持ち上げない介護を実践しています。役立つ情報があればお願いします。	2専門知識・動画研修
5	「こんな時これを使用すると良い！」など専門的な視点から日常生活に活用できるものを提案すると良いと考えます。	2専門知識・動画研修
6	多種多様な移乗移動機器が市場にありますが、どの機器も同様な目的に使用可能なわけではなく対象者への向き、不向きがあります。しかし、施設で用意する機器は限られています。どの移乗移動機器でも効果的に活用できる方法を学びたいと思います。	2専門知識・動画研修
7	専門知識。	2専門知識・動画研修
8	情報提供などで研修に参加したいがコロナ禍のなかで都内まで行くのが難しい。	2専門知識・動画研修
9	福祉用具の対象者、基本の使用方法、管理方法等を動画で見られるようになれば、わからなくなった時に自分で確認できると思います。	2専門知識・動画研修
10	福祉用具に関するパンフレットに施設入所中の取り扱いが記載が少ないように思っています。入所した場合は、施設が用意といってもすべてではないことなど、説明ができて配布できるようなパンフレットがあると助かります。	3取組周知・有効性のアピール
11	ご家族がレンタルの方法や福祉用具の種類や機種について情報を入手できるのが、主にケアマネからとなっている。そのためケアマネが持っている知識情報量に左右されてしまうので、もう少しご家族に直接情報が伝達されると良いと思います。	3取組周知・有効性のアピール
12	外出等で福祉用具が感染リスクが高まった際の、消毒箇所のガイドラインなどのエビデンスが欲しい。	4感染症関連
13	消毒。	4感染症関連
14	感染症の知識や福祉用具の活用から感染症対策に繋がる情報などありましたら役立ちます。	4感染症関連
15	福祉用具の消毒するべき要点、方法。	4感染症関連

【種別不明】

No	記述内容	区分
1	自費の車イスやベッドの利用について。体位交換マット、エアーマットなど。	1用具関連
2	アピール。知らないことも多い。移動式の福祉用具展示など（HCRのようなもの）。	3取組周知・有効性のアピール
3	お客様、特に高齢の方だとマスクを着用していないことがある為、マスク着用を促す事が難しい事があります。感染に不安がある。	9その他